

令和6年度

年 報



令和7年12月

九州大学大学院医学研究院保健学部門



# 目 次

1. 保健学部門の活動	・・・・・・・・	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・・・・・・・・	5
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・・・・・・・・	9
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・・・・・・・・	12
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・・・・・・・・	15
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・・・・・・・・	57
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・・・・・・・・	93
4. 教員組織および委員会一覧		
4-1. 教員人員及び教員配置表	・・・・・・・・	119
4-2. 部内委員一覧	・・・・・・・・	120
4-3. 病院地区委員会	・・・・・・・・	122
4-4. 全学委員会	・・・・・・・・	124



# 1. 保健学部門の活動



## ❖ 保健学部門の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月	新部門長の就任	保健学部門長として諸隈誠一教授が就任した。 任期は令和6年4月1日～令和8年3月31日	

### 2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月3日	学部入学式	新入生138名（看護：69、放射：35、検査：34）が入学した。	学生係資料
令和6年4月3日	大学院入学式	修士28名（看護：2、助産学：6、医用量子：13、検査技術：7）、博士7名（看護：3、医療技術：4）が入学した。	学生係資料
令和6年4月3日	学部在学生ガイダンス	学科長挨拶をオンライン配信し、専攻毎で開催した。	学生係資料
令和6年4月4日	大学院新入生ガイダンス	専攻長挨拶をオンライン配信し、分野毎で開催した。	学生係資料
令和6年4月5日	学部新入生ガイダンス	新入生138名（看護：69、放射：35、検査：34）が入学した。 病院キャンパスで開催した。	学生係資料
令和6年5月10日	修士課程アジア保健学コース入試 博士後期課程保健学国際コース入試	修士2名、博士2名が出願した。	学生係資料
令和6年6月3日	国立大学保健医療学系代表者協議会	オンライン（Zoom）会議で開催された。（幹事校：信州大学）	協議会議事録
令和6年8月19日	修士課程入学試験	40名（看護：3名、助産学：13名、医用量子：16名、検査技術：8名）が志願した。	学生係資料
令和6年9月10日	博士後期課程入学試験	11名（看護：3名、医療技術：8名）が志願した。	学生係資料
令和6年9月12日	保健学部門FD	テーマ：「教育におけるハラスメント」 基調講演：ハラスメント対策推進室 七田千穂先生  開会の挨拶（部門長：諸隈先生） 講演（質疑応答含む） グループディスカッション（発表準備含む） 発表（各グループ5～8分程度） 講師からの講評 閉会の挨拶（FD実行委員長：疋田先生）・全体写真撮影  54名が参加した。	保健学部門FD報告書
令和6年9月26日	秋期学位記授与式	博士2名（看護：1、医療技術：1）	保健学専攻学年暦

令和6年10月1日	秋期入学式	修士 アジア保健学コース 2名 博士 保健学国際コース 1名	保健学専攻 学年暦
令和6年10月1日 令和7年3月27日	就職セミナー（放射・ 検査）	参加： 2年生から4年生 遠隔及び対面形式で、講師から就職活動に重要なエ ントリーシート、自己PR及びマナーを中心とした研 修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和7年1月18～19日	大学入学共通テスト		保健学科 学年暦
令和7年2月1日	入学者選抜：総合型選 抜Ⅱ〔第2次選抜〕	73名（看護：44名、放射：14名、検査：15名）が志願 した。	学生係 資料
令和7年1月29日、2 月3日	修士論文発表会	修士2年28名（看護：11名、医用量子：12名、検 査：5名）が発表を行った。	保健学専攻 学年暦
令和7年2月25～26日	入学者選抜：個別学力 検査（前期日程）	271名（看護：117名、放射：89名、検査：65名）が志 願した。	学生係 資料
令和7年3月24日 令和7年3月27日	就職セミナー（看護）	参加： 3年生 遠隔及び対面形式で、講師から就職活動に重要なマ ナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和7年3月25日	卒業式・学位記授与式	学士122名（看護：65名、放射：30名、検査：27 名） 修士 28名（看護：5名、助産：6名、医用量子：12 名、検査：5名） 博士 5名（看護：2名、医療技術：3名）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年 暦

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	学生受入	看護：タイから学部生3名2週間、香港から学部生3 名2週間 放射：タイから学部生6名1ヵ月、インドネシアから 大学院生1名約2ヵ月半、韓国から学部生1名約1か 月	
令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	学生派遣	看護：タイのマヒドン大学へ学部生5名約2週間、台 湾の台北医学大学へ学部生1名約2週間、オーストラ リアへ学部生1名約1ヵ月、ベルギーへ学部生1名9日 間、カンボジアへ学部生1名約1週間、カナダへ学部 生1名約1ヵ月半、タイのマヒドン大学へ大学院生3 名約1ヵ月および2名約役1週間、モンゴルのモンゴ ル国立医科大学へ大学院生1名9日間、フィリピンへ 大学院生1名学会参加 放射：カナダへ学部生1名1ヵ月、韓国へ大学院生6 名3日間、マレーシアへ大学院生7名学会参加、イン ドネシアへ大学院生1名学会参加、オーストリアへ 大学院生1名学会参加 検査：スウェーデンのカロリンスカ研究所へ学部生 4名10日間	

### 4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年6月	大学院入試説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要 についての説明会を対面及びオンライン配信で開催 した。61名から参加申し込みがあった。	保健学部門会議 事録 入試実施委員会議 事録

令和6年7月4日	高校への出前講義	福岡県立城南高等学校（寺岡 佐和 教授）	
令和6年8月4日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者：約1,150名 全体説明会場：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館で展示	学生委員会 議事録
令和6年11月15日	第19回九州大学保健学国際フォーラム開催	会場：コラボレーション I 視聴覚ホール 開会の挨拶（部門長：諸隈先生） 第一部：特別講演 講師：東京大学名誉教授 佐々木敏先生 テーマ：「Science to see the world without bias」	第19回九州大学保健学国際フォーラム報告書
		第二部：Student Meeting（専攻毎） 【看護学専攻】 会場：5番講義室およびオンライン（Zoom） 学生のプレゼンテーション 特別講演 講師：台北医学大学准教授 Dr. Fu-Chih Lai テーマ：「The Choice and Behavior that are related with health information: Examples from Receiving Vaccines in Taiwan」 閉会の挨拶（分野長：藤田先生）  【放射線技術科学専攻】 会場：基礎研究B棟258室 特別講演 講師：Hacettepe University教授 Dr. Pervin Hürmüz テーマ：「Advances Radiation oncology」 招聘講演 講師：Clinical Application Specialist Mr. Fumiya Nakamura テーマ：「Career Development: Embracing Change and Seizing Opportunities」 学生のプレゼンテーション 閉会の挨拶（藤淵先生）  【検査技術科学専攻】 会場：3・4番講義室 Karolinska Instituteへの派遣プログラムに参加した学部生のプレゼンテーション 閉会の挨拶（重藤先生）	
令和6年9月29日	第20回医学部保健学科公開講座	「健康を創る最先端の技術と知識」をテーマに高校生を主な対象に、対面とzoomのオンラインのハイブリッド開催とした。 講演1. 相原正宗講師「感染症検査の最新技術と知識」、講演2 馬場眞吾教授「がん治療の未来：放射性薬剤の可能性」、講演3 植木慎悟准教授「小児看護からみた「やさしさ」の意味」 参加登録者：対面44名、オンライン106名 会場：保健学科本館第5番講義室	広報委員会資料

## 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料

7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料

## 2. 各分野の活動



## ❖ 看護学分野の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月22日 令和6年5月20日 令和6年6月25日 令和6年7月30日 令和6年9月24日 令和6年10月21日 令和6年11月27日 令和6年12月25日 令和7年1月29日 令和7年2月26日 令和7年3月25日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

### 2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月3日	学部生（第22期）の入学	担任: 疋田直子教授、前野有佳里准教授 道面千恵子助教、杉浦圭子助教	分野会議議事録
令和7年2月4日	看護学分野FD	「看護学教育における生成AIの活用について」のテーマでグループワークを行った（公衆衛生・在宅・老年看護学ユニット担当）	令和6年度看護学分野FD報告書

### 2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月23日 令和6年5月27日 令和6年6月24日 令和6年7月29日 令和6年9月18日 令和6年10月22日 令和7年1月20日 令和7年2月17日 令和7年3月24日 (令和6年11月12月は開催なし)	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
令和6年度 通年	臨地実習に関する説明(九大病院以外)	老年、小児、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 老年看護学実習は、2つの外部施設と電話やメールで打ち合わせを行った。 小児看護学実習Ⅰは、5月に9ヶ所の実習施設を訪問し、打ち合わせを行った。 在宅看護論実習は、4～8月と12月～3月に、11ヶ所の実習施設と打ち合わせを行った。 公衆衛生看護学実習は、5月に4ヶ所の自治体を訪問し、打ち合わせを行った。 助産学実習は、9～11月に3ヶ所、12～1月に2ヶ所の実習施設を訪問し、打ち合わせを行った。	実習要項
令和6年10月31日	3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議(オンライン)	九州大学病院で実習予定の他校（福岡女学院、福岡看護大学）と九州大学病院看護部とで、令和7年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。	3校合同会議議事録
令和6年度 4月～7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項

令和6年8月21日 令和6年10月21日	福岡県公衆衛生看護学実習連絡協議会	公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、保健師課程を置く県内大学等が加盟する協議会に出席した。各大学の次年度各自治体実習配置と、宿泊を伴う遠隔地実習配置について協議した。	福岡県公衆衛生看護学実習連絡協議会議事録
令和6年12月4日	在宅看護実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護論実習に関して、実習施設（訪問看護ステーション）の実習指導者に、オンラインにて説明を行った。	実習指導者連絡会議資料

## 2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和7年2月18日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

## 2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年9月～11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
令和6年11月26日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
令和7年1月29日	修士課程 看護学特別研究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
令和7年1月30日	博士後期課程 特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
令和7年1月30日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

## 2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年度 通年	国家試験学内模擬試験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。看護師国家試験模試計6回、保健師国家試験模試計3回	分野会議議事録
令和7年2月13日 令和7年2月14日 令和7年2月16日	第108回助産師国家試験 第111回保健師国家試験 第114回看護師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験98.4%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率であった。	分野会議議事録

## 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年9月1日～9月15日	学生派遣	タイのマヒドン大学に、学部4年生2名、学部2年生3名、計5名を派遣した。	
令和6年7月7日～7月20日	留学生受入れ	タイのマヒドン大学から3名、香港の香港大学から3名、計6名を14日間受入れした。	2024 Exchange Program for Nursing Students

令和6年11月15日	保健学国際フォーラム	第1部は、コラボステーションI 視聴覚ホールで東京大学名誉教授の佐々木敏先生による特別講演を開催した。 第2部は、台北医学大学のFu-Chih Lai先生による特別講義、および本学学生とマヒドン大学学生による学生発表・意見交換が5番講義室で対面とオンラインのハイブリッドで行われた。	第19回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2024
令和7年3月3日～4月7日	学生派遣	タイのマヒドン大学へ、修士課程助産学コース1年生3名を36日間派遣した。	JASSO海外留学支援制度
令和7年3月9日～3月22日	学生派遣	台湾の台北医科大学へ、学部2年生1名を派遣した。	

#### 4. 社会連携 1) 病院連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年7月18日 令和6年9月9日 令和7年3月14日	九州大学看護共創・実装研究拠点運営委員会	九州大学看護共創・実装研究拠点の運営に関する事項を審議した。	九州大学看護共創・実装研究拠点運営委員会 議事録
令和6年10月23日 令和6年11月27日 令和6年12月26日 令和7年1月23日 令和7年2月27日 令和7年3月12日	九州大学看護共創・実装研究拠点運営委員会	九州大学病院看護職員を対象に、「看護研究セミナー基礎編I」を開催した(オンデマンド配信あり)。合計61名の参加があった。 ＜研修講師＞ ①橋口暢子：看護実践における看護研究の意義 ②甲斐梓：文献活用に必要となる基礎知識 ③成儒彬：統計解析1(記述統計) ④成儒彬：統計解析2(推測統計) ⑤成儒彬：統計解析3(散布図と相関分析) ⑥成儒彬：統計解析4(回帰分析)	九州大学看護共創・実装研究拠点運営委員会 議事録  九州大学病院資料(令和6年度看護キャリアセンター報告書)
令和6年5月10日 令和6年9月13日 令和7年1月10日 令和7年3月14日 (令和6年7月11日は開催なし)	看護キャリアセンター会議	九州大学病院で行われる看護学実習および看護キャリアセンター活動に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。	看護キャリアセンター会議議事録
令和6年6月3日 令和6年7月3日 令和6年9月6日	九州大学病院臨地実習指導者研修(新規+アドバンス)	九州大学病院看護部の新たな臨地実習指導者48名アドバンス21名を対象に実施した。 ＜研修講師＞ ①藤田君支：看護基礎教育課程、実習指導の原理 ②橋口暢子：看護学生の動向、看護過程 ③青本さとみ：カンファレンスの指導方法	九州大学病院資料(令和6年度看護キャリアセンター報告書)
令和6年4月26日 令和6年9月27日 令和6年10月25日 令和6年11月22日 令和7年2月28日 (令和6年5月24日、令和6年6月28日、令和6年7月26日は実習指導者連絡連絡会)	実習指導者会議	九州大学病院における実習内容および実習指導者に関する事項について討議した。	実習指導者会議議事録
令和6年5月24日 令和6年7月26日 令和6年9月27日 令和6年10月25日 令和6年11月22日 令和7年1月24日 令和7年2月28日	教育研究推進ワーキング	九州大学病院における看護研究の推進に関わる検討および研究相談支援を行った。	教育研究推進WG議事録

#### 4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年9月14日～9月15日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会	全国保健師教育機関協議会の報告を受け、九州・沖縄地区の加盟校間で新カリキュラムへの対応や教員人材確保等について協議および意見交換を行った。	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会資料
令和6年6月15日～6月16日	全国助産師教育協議会定時社員総会	公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会が開催された。	全国助産師教育協議会定時社員総会資料
令和6年6月28日	国立大学助産師教育専任教員会議 (Web開催)	大学院における助産師教育の現状と課題についてと、各大学の特徴的な助産師教育の内容や工夫について、協議および意見交換を行った。	国立大学助産師教育専任教員会議資料
令和6年8月3日	九州・沖縄地区助産師教育協議会 (Web開催)	九州・沖縄地区の加盟校により、助産師国家試験プール問題作成・登録協力員選出や、無痛分娩の分娩介助について、分娩介助実習前の技術試験について、協議および意見交換を行った。	九州・沖縄地区助産師教育協議会資料

#### 4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年9月29日	第20回九州大学医学部保健学科公開講座	地域住民の方を対象に講演会を実施した。 テーマ：小児看護学からみた「やさしさ」の意味 講師：植木慎悟教授 参加者：91名 (内訳：対面：33名、オンライン：58名)	公開講座資料
令和7年3月14日	令和6年度 九州大学看護共創・実装研究拠点シンポジウム (ハイブリッド開催)	九州大学看護共創・実装研究拠点シンポジウムを開催した。産学連携についての特別講演および令和6年度に実施された研究の報告を行い、報告者をシンポジストとしたシンポジウムを開催した。さらにDXを活用した研究が報告された。  テーマ：産学官の共創で拓く看護研究の展望 参加者：101名 (内訳：対面52名、オンライン参加49名) <特別講演> 『看護理工学研究によるケアのものづくりイノベーション』 東京大学大学院医学系研究科 仲上豪二郎教授 <シンポジウム発表者> クリニカル看護ケア開発ユニット：藤田君支教授 母子・家族健康支援開発ユニット：疋田直子教授 コミュニティ健康支援開発ユニット：岩木三保講師 看護マネジメント開発ユニット：橋口暢子教授 <研究報告> DXを活用した研究の報告：後藤健一教授	

#### 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

#### 6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

## ❖ 医用量子線科学分野の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月15日 令和6年5月13日 令和6年6月12日 令和6年7月10日 令和6年9月12日 令和6年10月7日 令和6年11月13日 令和6年12月16日 令和7年1月22日 令和7年2月17日 令和7年3月12日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

### 2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月3日	学部生(第22期)の入学	主担任:近藤雅敏教授 副担任:小島幸助教 オリエンテーション実施	分野会議議事録 学生便覧
令和6年4月3日	大学院生(第18期)の入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
令和6年4月8日 令和6年6月3日 令和6年7月22日 令和6年9月10日 令和6年11月18日 令和7年1月14日 令和7年2月4日	第1回模試(学内) 第2回模試(学内) 第3回模試(業者) 第4回模試(学内) 第5回模試(業者) 第6回模試(業者) 第7回模試(学内)	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に、 国家試験対策として学内模擬試験および外部模擬試験 を実施した。	分野会議議事録
令和6年7月1日, 8日	修士および博士課程 中間発表会	修士課程および博士後期課程大学院生の研究進捗状況 について、中間発表会を実施した。	分野会議議事録
令和6年6月11日	先端技術セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻および医学系学府 保健学専攻修士課程の学生を対象に、最新医療機器の 先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナー プログラム
令和6年9月28日	2024年度医学物理士 認定試験	大学院生5名中3名が合格	一般財団法人医学 物理士認定機構
令和6年9月18, 19日	九重研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生を対象に、 卒業研究紹介説明会および進路相談を九重山の家にて 実施した。	分野会議議事録 R6九重研修しおり
令和6年11月28, 29日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生により、卒 業研究の成果発表が行われた。	分野会議議事録 卒業研究発表会プ ログラム
令和6年12月21日, 22日	第19回九州放射線医療技術学術大会	学部4年生が参加し、講演を聴講した。併せて教員、 大学院生、学部生が筆頭発表者として学術研究発表を 行った。	第19回 九州放射 線医療技術学術大 会プログラム
令和7年2月3日	修士課程論文審査会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士課程の 大学院生を対象に、修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録 卒業研究発表会プ ログラム
令和7年2月20日	第77回診療放射線技師国家試験	30名が受験し30名が合格した。 合格者は100%(30/30名)であった。	厚生労働省

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年7月10日	5th Symposium on Intelligent Data Science for Radiological Imaging (iDSRI) between Universiti Malaya and Kyushu University	マラヤ大学と九州大学が共同で第5回知的データサイエンスと放射線画像シンポジウム (iDSRI) を開催し、25名が参加した。 両大学の代表者(それぞれの大学から2人の教員と2人の大学院生)が、医療画像と放射線治療に関する幅広いトピックについて議論した。	開催プログラム
令和6年11月15日	保健学科国際フォーラム	第一部は3専攻合同で実施し、Special Lectureとして東京大学大学院名誉教授の佐々木敏先生に講演いただき、第二部では医用量子線内でトルコ共和国Hacettepe大学のPervin Hürmüz 先生、本学卒業生のFumiya Nakamura 先生より講演をいただいた。その後、学生間の国際交流を推進する企画としてStudent Meetingを開催し、当分野の大学院生3名が研究紹介を行った。教員と学生を合わせた会全体の参加者は184名であった。	第19回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2024
令和7年2月12日	6th Symposium on Intelligent Data Science for Radiological Imaging (iDSRI) between Universiti Malaya and Kyushu University	マラヤ大学と九州大学が共同で第6回知的データサイエンスと放射線画像シンポジウム (iDSRI) を開催し、56名が参加した。 両大学の代表者(それぞれの大学から2人の教員と2人の大学院生)が、医療画像と放射線治療に関する幅広いトピックについて議論した。	開催プログラム

### 4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年6月28日	第25回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	現地にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容および就職等について協議を行った。(藤淵俊王教授, 近藤雅敏教授)	分野会議議事録 会議報告書
令和6年6月28日	第69回全国診療放射線技師教育施設協議会	現地にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容および就職等について協議を行った。(藤淵俊王教授, 近藤雅敏教授)	分野会議議事録 会議報告書
令和6年9月29日	令和6年度 保健学部門 公開講座	馬場眞吾教授が放射線技術科学専攻、および診療放射線技師を紹介した。	開催プログラム

## 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年8月21日, 22日	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	学部2年生1名、学部3年生9名、大学院生4名が合格した。	官報
令和6年7月20日	令和6年度第1回次世代の九州がんプロ養成プラン医用量子線データサイエンティストコース講演会	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会を開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。  <講演者> ・熊本大学病院 中央放射線部：清水 紀恵 先生 「乳がん検査について ～総合判定を含めて～」 ・福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科：宮司 典明 先生 「核医学画像を用いた高精度ながん治療へのアプローチ」 ・筑波大学 陽子線医学利用研究センター：榮武二 先生 「がん細胞死の新しいモデルの提案」	開催プログラム
令和7年2月8日	令和6年度第2回次世代の九州がんプロ養成プラン医用量子線データサイエンティストコース講演会	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会を開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。  <講演者> ・鹿児島大学大学院医歯学総合研究科講師：内匠浩二 先生 「頭頸部腫瘍のMRI診断」 ・東京都立大学健康福祉学部放射線学科助教：大平新吾 先生 「Dual energy CTを活用した個別化放射線治療」 ・杏林大学保健学部診療放射線技術学科助教：深見光葉 先生 「核医学検査で正確な骨転移診断を行うための技術的アプローチ」	開催プログラム

## 6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

## ❖ 検査技術科学分野の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月24日 令和6年5月22日 令和6年6月26日 令和6年8月28日 令和6年9月25日 令和6年10月30日 令和6年11月27日 令和6年12月25日 令和7年1月29日 令和7年2月26日 令和7年3月26日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

### 2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年4月5日	新入生オリエンテーション	新入生に対し入学時ガイダンスおよび研修を実施した。	分野会議議事録
令和6年9月27日	大学院博士課程・ 修士課程中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
令和6年12月10日	九大病院検査部との臨地 実習反省会	九州大学病院検査部部長、技師長、副技師長、臨地実習担当の臨床検査技師の部署責任者と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、令和6年度臨地実習の実施状況報告、令和7年度臨地実習前技能評価試験に向けた対応、新カリキュラムにおける従来からの変更点（総時間数の変更 7→12単位）について討議した。	臨地実習反省会議事録
令和6年12月18日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
令和6年4月18日 令和6年8月11日 令和6年9月17日 令和6年11月11日 令和7年1月14日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、2回の校内模試と3回の国試業者模試(医歯薬出版社)を実施した。	分野会議議事録
令和6年7月19日 令和6年10月30日 令和6年12月26日	国家試験対策	検査技術科学専攻4年生の希望者を対象に、臨床検査技師国家試験対策として模擬試験を行った。	分野会議議事録 Moodleコース ( <a href="https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=55924">https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=55924</a> )
令和7年1月29日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年9月21日～9月30日	Karolinska Institute Department of Laboratory Medicine 学生派遣プログラム	学部学生4名と引率教員1名が訪問し、Department of Laboratory Medicineでの講義および実習に参加し、九大生による専攻教育等のプレゼンテーションを通じて現地の学生と交流を図った（言語は英語）。また、Karolinska Hospitalの見学、日本人の研究者および医療従事者との意見交換を行った。	分野会議議事録
令和6年11月15日	保健学国際フォーラム	第1部は3専攻合同で行い、東京大学名誉教授の佐々木敏先生による特別講演を開催した。 第2部のStudent Meetingでは、Karolinska Instituteへの派遣プログラムに参加した学部生が、研修で学んだ内容について発表し、参加者と共有した。	第19回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2024

### 4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年9月29日	令和6年度 保健学部門 公開講座	相原正宗 講師が臨床検査、臨床検査技師を紹介した。	開催プログラム

### 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年8月17日	福岡県タスクシフト講習会	実務委員として運営に携わった（栗崎宏憲 講師, 木村朋子 助教, 安田洋子 助教）	開催要項
令和6年12月20日	福岡県タスクシフト講習会	実務委員として運営に携わった（栗崎宏憲 講師）	開催要項

### 6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料



### 3-1. 教員の活動：看護学分野



## 看護学分野

### 《統合基礎看護学》

教授	藤田 君支
教授	後藤 健一
教授	橋口 暢子
講師	青本 さとみ
講師	能登 裕子
講師	松尾 和枝
講師	丸山 マサ美
講師	潮 みゆき
助教	木原 深雪
助教	道面 千恵子
助教	松本 美晴
助教	田中 さとみ
助教	吉田 恵美
助教	竹下 里実
助教	明野 由里奈
助教	甲斐 梓
助教	久保 葵
助教	成 儒彬

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

保健学研究論(分担)	藤田 君支	前期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	藤田 君支	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	藤田 君支	通年
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	後藤 健一	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	後藤 健一	通年
ヘルスサイエンス論(分担)	後藤 健一	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	後藤 健一	後期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	橋口 暢子	春学期
看護教育論(分担)	橋口 暢子	前期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	橋口 暢子	前期
看護教育方法開発学Ⅰ	橋口 暢子	前期
看護組織・マネジメント論(分担)	橋口 暢子	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	橋口 暢子	後期
看護組織・マネジメント論(分担)	能登 裕子	後期
看護教育論(分担)	能登 裕子	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	能登 裕子	春学期

看護組織・マネジメント論(分担)	松尾 和枝	後期
看護教育論(分担)	松尾 和枝	前期
看護学特別研究(丸山講師)	丸山 マサ美	通年
生命倫理学	丸山 マサ美	春学期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	丸山 マサ美	前期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	丸山 マサ美	後期
医療と生命倫理	丸山 マサ美	後期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	明野 由里奈	前期

## 2. 大学院実験・実習 なし

## 3. 大学院演習

保健学研究論(分担)	藤田 君支	前期
看護学特別研究	藤田 君支	通年
保健学特別研究	藤田 君支	通年
国際プレゼンテーション(分担)	藤田 君支	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	藤田 君支	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	藤田 君支	後期
看護学特別研究	後藤 健一	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	後藤 健一	前期
国際プレゼンテーション(分担)	後藤 健一	通年
看護学特別研究	橋口 暢子	通年
保健学特別研究	橋口 暢子	通年
国際プレゼンテーション(分担)	橋口 暢子	通年
看護教育方法開発学Ⅰ	橋口 暢子	通年
看護教育方法開発学Ⅱ	橋口 暢子	後期

## 4. 大学院修士課程修了者

中山 杏	精神疾患患者ケアに関わる看護師のコミュニケーション研究 ーマイクロカウンセリング技法の観点からー
未崎 美風	女性生殖器手術を受ける患者における身体活動量の前向き観察研究
森下 怜美	採血における静脈の視認性、触知性、穿刺困難と静脈特性との関連
林田 菜穂	感染症個人防護具着用が生理心理反応におよび認知課題パフォーマンスに及ぼす影響:ガウンとエプロンの比較

## 5. 大学院博士課程修了者

森 万純	Validation of the Japanese Version of Algoplus® for the Assessment of Acute Postoperative Pain in Older Patients With Cancer
相良 空美	Medication adherence and associated factors in newly diagnosed hypertensive patients in Japan: the LIFE study

## 6. 学部講義

成人看護学概論(分担)	藤田 君支	秋学期
看護倫理(分担)	藤田 君支	夏学期
がん看護論(分担)	藤田 君支	夏学期
成人慢性看護学各論Ⅰ(分担)	藤田 君支	春学期
成人慢性看護学各論Ⅱ(分担)	藤田 君支	前期
国際保健と医療(分担)	後藤 健一	後期
3年生系統医学Ⅱ(腎高血圧)(分担)	後藤 健一	後期
人体の構造と機能Ⅰ(分担)	後藤 健一	前期
公衆衛生学(分担)	後藤 健一	春学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	後藤 健一	秋学期
臨床病態学(分担)	後藤 健一	後期
医学総論Ⅰ(分担)	後藤 健一	秋学期
老年保健・疾病論(分担)	後藤 健一	秋学期
看護学概論(分担)	橋口 暢子	春学期
看護理論(分担)	橋口 暢子	夏学期
看護教育論	橋口 暢子	秋学期
臨床倫理(分担)	橋口 暢子	後期
国際保健と医療(分担)	橋口 暢子	後期
看護過程論(分担)	橋口 暢子	冬学期
精神看護学各論Ⅱ(分担)	青本 さとみ	前期
精神看護学概論(分担)	青本 さとみ	春学期
精神疾病論(分担)	青本 さとみ	夏学期
看護情報論	能登 裕子	秋学期
看護過程論(分担)	能登 裕子	冬学期
看護研究Ⅰ(分担)	能登 裕子	春学期
看護理論(分担)	能登 裕子	夏学期
看護過程論(分担)	松尾 和枝	後期
看護研究Ⅱ(分担)	松尾 和枝	前期
看護学概論(分担)	松尾 和枝	前期
看護管理(分担)	松尾 和枝	秋学期
公衆衛生看護管理論	松尾 和枝	秋学期
バイオエシックス入門	丸山 マサ美	夏学期
コミュニケーション論	丸山 マサ美	冬学期
バイオエシックス入門(春)集中講義	丸山 マサ美	前期
インフォームド・コンセント	丸山 マサ美	前期
バイオエシックス入門(夏学期)	丸山 マサ美	前期
基幹教育セミナー	丸山 マサ美	夏学期
医療倫理学Ⅰ	丸山 マサ美	秋学期
医療倫理学Ⅱ	丸山 マサ美	冬学期
課題協学	丸山 マサ美	後期
成人看護学概論(分担)	潮 みゆき	秋学期
看護過程論(分担)	道面 千恵子	後期
看護学概論(分担)	道面 千恵子	春学期
看護研究Ⅰ(分担)	道面 千恵子	春学期

看護理論(分担)	道面 千恵子	夏学期
看護過程論(分担)	松本 美晴	後期
看護管理(分担)	松本 美晴	秋学期
看護研究Ⅰ(分担)	松本 美晴	春学期
看護理論(分担)	松本 美晴	夏学期
成人看護学概論(分担)	田中 さとみ	秋学期
成人急性看護学各論Ⅱ(分担)	田中 さとみ	前期
がん看護論	田中 さとみ	夏学期
成人慢性看護学各論Ⅱ(分担)	田中 さとみ	前期
成人慢性看護学各論Ⅰ(分担)	田中 さとみ	春学期
クリティカルケア論(分担)	吉田 恵美	秋学期
成人慢性看護学各論Ⅱ(分担)	吉田 恵美	前期
成人急性看護学各論Ⅱ(分担)	吉田 恵美	前期
成人急性看護学各論Ⅰ(分担)	吉田 恵美	春学期
精神看護学各論Ⅱ(分担)	竹下 里実	前期
精神看護学概論(分担)	竹下 里実	前期
精神疾病論(分担)	竹下 里実	前期
看護倫理(分担)	甲斐 梓	夏学期
成人慢性看護学各論Ⅰ(分担)	甲斐 梓	春学期
成人慢性看護学各論Ⅱ(分担)	甲斐 梓	前期
クリティカルケア論(分担)	甲斐 梓	秋学期
成人急性看護学各論Ⅱ(分担)	甲斐 梓	前期
成人慢性看護学各論Ⅱ(分担)	久保 葵	前期
成人急性看護学各論Ⅱ(分担)	久保 葵	前期
成人急性看護学各論Ⅰ(分担)	久保 葵	春学期

## 7. 学部の実験・実習・演習

成人急性看護学実習(分担)	藤田 君支	後期
成人慢性看護学実習(分担)	藤田 君支	後期
成人看護学統合実習(分担)	藤田 君支	後期
総合実習(分担)	藤田 君支	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	橋口 暢子	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	橋口 暢子	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	橋口 暢子	後期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	橋口 暢子	後期
総合実習(分担)	橋口 暢子	前期
精神看護学実習Ⅰ、Ⅱ(分担)	青本 さとみ	後期
総合実習(分担)	青本 さとみ	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	能登 裕子	後期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	能登 裕子	後期
看護研究Ⅲ(分担)	能登 裕子	通年
総合実習(分担)	能登 裕子	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	能登 裕子	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	能登 裕子	前期
看護研究Ⅲ(分担)	松尾 和枝	通年

総合実習(分担)	松尾 和枝	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松尾 和枝	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	松尾 和枝	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松尾 和枝	後期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松尾 和枝	後期
基幹教育セミナー	丸山 マサ美	夏学期
医療倫理学Ⅰ	丸山 マサ美	秋学期
医療倫理学Ⅱ	丸山 マサ美	冬学期
課題協学	丸山 マサ美	後期
成人慢性看護学実習(分担)	潮 みゆき	後期
成人看護学統合実習(分担)	潮 みゆき	後期
総合実習(分担)	道面 千恵子	通年
看護研究Ⅲ(分担)	道面 千恵子	通年
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	道面 千恵子	後期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	道面 千恵子	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	道面 千恵子	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	道面 千恵子	前期
総合実習(分担)	松本 美晴	通年
看護研究Ⅲ(分担)	松本 美晴	通年
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松本 美晴	後期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	松本 美晴	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松本 美晴	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松本 美晴	前期
総合実習(分担)	田中 さとみ	前期
老年看護学実習(分担)	田中 さとみ	前期
成人急性看護学実習(分担)	田中 さとみ	後期
成人慢性看護学実習(分担)	田中 さとみ	後期
成人看護学統合実習(分担)	田中 さとみ	後期
総合実習(分担)	吉田 恵美	前期
成人慢性看護学実習(分担)	吉田 恵美	後期
成人急性看護学実習(分担)	吉田 恵美	後期
成人看護学統合実習(分担)	吉田 恵美	後期
老年看護学実習(分担)	吉田 恵美	前期
精神看護学実習(分担)	竹下 里実	後期
総合実習(分担)	竹下 里実	前期
総合実習(分担)	甲斐 梓	前期
成人急性看護学実習(分担)	甲斐 梓	後期
成人慢性看護学実習(分担)	甲斐 梓	後期
成人看護学統合実習(分担)	甲斐 梓	後期
老年看護学実習(分担)	甲斐 梓	前期
総合実習(分担)	久保 葵	前期
成人急性看護学実習(分担)	久保 葵	後期
成人慢性看護学実習(分担)	久保 葵	後期
成人看護学統合実習(分担)	久保 葵	後期
老年看護学実習(分担)	久保 葵	前期

## 8. 卒業論文作成者

才田 俊輔	高齢者の家庭内における入浴事故死の現状、要因に関する文献検討
重村 美結	Advance Care Planning を踏まえた終末期がん患者への看護実践に関する文献検討 －患者・家族の価値観を尊重できる看護実践に焦点を当てて－
堀崎 葵衣	高齢 2 型糖尿病患者の自己管理に影響を与える要因と看護に関する文献研究 －食事・運動・服薬のコントロールに焦点を当てて－
尾谷 桜子	看護と Information and Communication Technology に関する文献研究 －看護情報学に焦点を当てて－
有田 ルナ	被災地の支援活動に従事する医療者の包括的な健康状態に関する文献検討
松隈 彩愛	看護師による慢性心不全患者の自己管理指導の実態について
松藤 瑞歩	子育て中の女性看護師の就労継続要因に関する文献検討
山野 遥果	看護学生の看護技術修得の実態と技術修得のための教育法に関する文献検討
内山 咲季	看護師の健康対策の把握と腰痛対策の効果
田中 茉耶	看護師のヘルスニーズの現状に関する文献検討
牛嶋 小雪	血液透析患者の勤労継続に対する看護支援－保存期・導入期・維持期に着目して－
橋本 悠里	医療的ケア児の退院支援において小児病棟看護師に求められること－多職種連携に着目して－
小松 和葉	若年性認知症患者に対する就労支援の現状と課題
中村 光里	看護基礎教育における採血の技術教育に関する文献検討
宮本 海里	新人看護師の離職と取り組みについての文献検討
高田 あめり	腎代替療法における意思決定の背景要因についての文献検討
山里 真穂	慢性腎不全患者におけるヘルスリテラシーの実態と関連要因に関する文献検討
今村 のどか	がん患者の倦怠感に対する補完代替療法の効果に関する文献検討
高田 純奈	自己調整鎮痛法による術後疼痛管理の有効性を検討した文献研究
今泉 日菜	看護ケア提供モデルと患者・看護師アウトカムの関連についての文献検討
尾崎 佳奈子	ALS 患者の障害受容段階における QOL に関する文献研究
古澤 美月	成人白血病患者におけるセルフケアのアドヒアランス向上のための支援に関する文献研究
三宮 歩乃佳	保健指導における ICT 活用の現状とか今後の課題に関する文献検討
井上 美優	外来がん患者の電子媒体を活用した症状管理についての文献検討
新井 花奈	成人女性におけるストッキング着用による下肢のむくみの軽減効果とむくみの評価指標に関する研究
尾山 桃菜	重度精神疾患患者における共同意思決定支援の活用とその効果についての文献検討
中本 美睦	幼少期から青年期の養育態度が成人期の首尾一貫感覚(SOC)に与える影響についての文献研究
中本 百香	児に遺伝学的検査を行った家族への遺伝カウンセリングの効果と意思決定についての文献研究

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導

道面 千恵子 保健学バスケットボール

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	人工股関節術後の身体活動量とQOL	藤田 君支
2	周術期口腔ケアと術後感染症	藤田 君支
3	患者報告アウトカム尺度(PROMs)の開発と評価	藤田 君支
4	生活習慣病予防のためのデータベース利活用研究	後藤 健一
5	家庭血圧と臓器障害に関する研究	後藤 健一
6	心血管疾患発症予防につながる危険因子・防御因子の同定に関する研究	後藤 健一
7	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口 暢子
8	女性の下肢疲労、むくみ発生に関する研究	橋口 暢子
9	医薬品添付文書の活用における実態とその要因	橋口 暢子
10	医療従事者における個人防護衣着用と熱ストレス	橋口 暢子
11	看護職者の身体動作に関連したヘルスニーズに関する研究	橋口 暢子
12	新人看護師の社会化プロセスに関する研究	橋口 暢子
13	高齢者の転倒予防に向けた運動感覚・日常生活動作モニターによる運動機能評価	能登 裕子
14	医療従事者(看護職)が抱えるヘルスニーズに対する新たな実装策と人間工学	能登 裕子
15	新人看護職員の離職防止に関する研究	松尾 和枝
16	緑内障患者の視線動向に関する研究	松尾 和枝
17	緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究	松尾 和枝
18	看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討	松尾 和枝
19	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山 マサ美
20	死生観の国際比較研究	丸山 マサ美
21	古医書・貴重書の書誌的研究－史料を活用した倫理教育・研究－(九州大学医学部における史料研究－新しい「医の倫理」教育方法論の構築－)	丸山 マサ美
22	コミュニケーション教育・研究－看護のためのマイクロカウンセリング－	丸山 マサ美
23	『告知に関する死生観研究－高校生を対象として－』	丸山 マサ美
24	コミュニケーション研究－日本におけるインフォームド・コンセントを中心に－	丸山 マサ美
25	臓器移植患者のセルフマネジメントに関する研究	潮 みゆき
26	精神障がい者の家族のリカバリー	青本 さとみ
27	家族心理教育	青本 さとみ
28	依存症中間施設通所者の回復促進方法の検討	木原 深雪
29	アルコール依存症者の感情体験	木原 深雪
30	看護の教育的関わりとモデル概念の検討	道面 千恵子
31	末梢静脈カテーテル留置における効果的な静脈怒張を促すための研究	松本 美晴

32	肝移植・がん患者の身体活動量と QOL に関する研究	田中 さとみ
33	腎不全患者の身体活動量と自己効力感	吉田 恵美
34	看護師が行う認知行動療法	竹下 里実
35	非感染性疾患に関するデータベース研究	明野 由里奈
36	周術期口腔ケアによる頭頸部癌の術後感染症に対する予防効果	甲斐 梓
37	食道がん患者における術後肺炎予防のための周術期口腔ケアに関する研究	久保 葵
38	生活習慣病の予防に関する研究	成 儒彬

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

藤田 君支

- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証, 藤田(代表)
- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発, 藤田(分担)
- 「基盤研究(C)」高齢糖尿病患者における座位行動改善への介入方法の開発と検証, 藤田(分担)
- 「基盤研究(C)」腎代替療法における治療満足度の評価指標の開発と影響因子の検証, 藤田(分担)
- 「基盤研究(C)」日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証, 藤田(分担)
- 「基盤研究(C)」働き盛り世代の仕事と認知症介護の両立への備えを促す VR 学習プログラムの開発と検証, 藤田(分担)

後藤 健一

- 「基盤研究(C)」炎症性腸疾患患者の病状と身体活動量の関連－生活習慣病に着目した患者・家族支援－, 後藤(分担)
- 「基盤研究(B)」心房細動における脳心血管病予防のための降圧目標を解明する国際共同大規模臨床試験, 後藤(分担)
- 「基盤研究(C)」ビッグデータを活用した降圧薬服薬アドヒアランスのエビデンス構築と保健指導への展開, 後藤(代表)
- 「基盤研究(C)」透析患者の健康増進のためのコモンリスクアプローチ手法の開発, 後藤(分担)

橋口 暢子

- 「基盤研究(B)」社会実装を目指した看護師を熱ストレスから守るための个人防护具着用指針の開発, 橋口(代表)
- 「基盤研究(C)」末梢静脈穿刺の穿刺難易度の予測に向けた触動作の定量化手法の開発と検証, 橋口(分担)
- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開, 橋口(代表)
- 「基盤研究(C)」成人女性のライフサイクルにおける下肢のむくみと月経周期の関連, 橋口(分担)

能登 裕子

- 「基盤研究(C)」リスクゼロ段階からの転倒予防介入指針の開発－身体感覚と運動機能のズレによる層別化, 能登(代表)

- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開, 能登(分担)

松尾 和枝

- 「若手研究」原発開放隅角緑内障患者の主観的・客観的視覚を基盤とした治療支援プログラムの開発, 松尾(代表)
- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開, 松尾(分担)

潮 みゆき

- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発, 潮(代表)
- 「基盤研究(C)」長期療養施設で高齢者ケアを提供する看護・介護職の倫理問題へのアプローチ方法の開発, 潮(分担)

木原 深雪

- 「基盤研究(C)」アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラムの開発と有効性の検討, 木原(代表)

道面 千恵子

- 「基盤研究(C)」地域で暮らす統合失調症患者への薬物治療ケアのタスクシフト/シェアの実用化と検証, 道面(分担)

松本 美晴

- 「基盤研究(C)」慢性心不全の増悪時に看護師が携帯エコーで内頸静脈を測定することの有用性, 松本(分担)
- 「基盤研究(C)」末梢静脈穿刺の穿刺難易度の予測に向けた触動作の定量化手法の開発と検証, 松本(代表)

田中 さとみ

- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証, 田中(分担)
- 「若手研究」消化器がん高齢者の座位中心ライフスタイルを予防する術前包括的プログラムの開発, 田中(代表)
- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発, 田中(分担)

吉田 恵美

- 「基盤研究(C)」腎代替療法における治療満足度の評価指標の開発と影響因子の検証, 吉田(代表)

明野 由里奈

- 「研究活動スタート支援」保健医療データのリンケージ解析による社会経済的地位と健康に関するエビデンスの創出, 明野(代表)
- 「基盤研究(C)」判別困難な不顕性誤嚥における嚥下障害スクリーニングモデルと測定機器の開発, 明野(分担)

甲斐 梓

- 「研究活動スタート支援」術後せん妄予防および COVID-19 流行期のせん妄発生への影響に関する研究, 甲斐(代表)

久保 葵

- 「研究活動スタート支援」食道がん患者における術後肺炎予防のための周術期口腔ケアの前向き観察研究, 久保(代表)

### 3. 学内研究経費の受入れ なし

### 4. 奨学寄付金の受入れ なし

### 5. その他の外部研究資金の受入れ

後藤 健一: 日本医療研究開発機構 (AMED), 高血圧発症予防に向けた先制保健介入モデルの開発(分担)

### 6. 受託研究員・研修員の受入れ

丸山 マサ美: 九州大学務部学務企画課(QFC-SP オフィス), 九州大学未来創成科学者育成プロジェクト

### 7. 研究成果の報告

#### ○ 学会誌・学術専門誌

- Kumi Sagara, Kenichi Goto, Megumi Maeda, Haruhisa Fukuda: Medication adherence and associated factors in newly diagnosed hypertensive patients in Japan: the LIFE study, *Journal of Hypertension*, 42, 4, 2024 年 4 月.
- Aoi Kubo, Kumiko Sakai, Shingo Ueki, Kimie Fujita: Effect of perioperative oral care on postoperative infections in patients with cancer: A systematic review and meta-analysis, *Japan Journal of Nursing Science*, 21, 3, 2024 年 5 月.
- Minako Inoue, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, Ikumi Yamato, Emi Oishi, Ai Ibaraki, Kenichi Goto, Takanari Kitazono : Sleep-related breathing disorder in a Japanese occupational population and its association with hypertension-stratified analysis by obesity status, *HYPERTENSION RESEARCH*, 47, 6, 2024 年 6 月.
- Rika Matsuo, Kimie Fujita, Mami Miyazono, Keiko Miyasaka, Tomi Yamanaka, Kanako Yakushiji, Atsushi Nagai: Validating the short-version European Health Literacy Survey Questionnaire for community-dwelling older adults in Japan, *Health Promotion International*, 39, 4, 2024 年 8 月.
- Masumi Mori, Eri Ikeda, Kimie Fujita: Validation of the Japanese version of Algoplus® for the assessment of acute postoperative pain in older patients with cancer, *Japan Journal of Nursing Science*, 21, 4, 2024 年 9 月.
- Satomi Tanaka, Kimie Fujita, Kanako Yakushiji, Yuki Bekki, Takeo Toshima, Yasuhiro Okabe: Depression and Quality of Life in Transplant Recipients During the COVID-19 Pandemic, *Transplantation Proceedings*, 56, 8, 2024 年 9 月.
- Satomi Takeshita, Yuko Shiraishi: Perspectives of Nurses Practicing Cognitive Behavioral Therapy: A Psychotherapy Implemented Collaboratively with Physicians and Eligible for Medical Reimbursement, *international nursing Care Research*, 23, 1, 2024 年 10 月.

- Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Harri Sintonen, Heidi Siira, Yuriko Matsunaga-Myoji, Yasuko Tabuchi, Pirjo Kaakinen, Maria Kääriäinen, Kimie Fujita: Psychometric Properties of Japanese version15D and Cultural Characteristics of Quality of Life undergoing patients with hip and knee arthroplasty, *International Journal of Orthopaedic and Trauma Nursing*, 55, 2024 年 11 月.
- Ikumi Yamato, Yasuo Kansui, Kiyoshi Matsumura, Minako Inoue, Ai Ibaraki, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, Kenichi Goto, Takanari Kitazono: Impact of smoking status on incident hypertension in a Japanese occupational population, *Hypertension Research*, 48, 1, 2025 年 1 月.
- Minako Inoue, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, Ikumi Yamato, Emi Oishi, Ai Ibaraki, Takanari Kitazono, Kenichi Goto : Sleep-related breathing disorder in a Japanese occupational population and its association with exercise-induced blood pressure elevation, *Hypertension Research*, 48, 2, 2025 年 2 月.
- Nobuko Hashiguchi: Residential Thermal Environment for the Elderly, *Anthropology and Environmental Ergonomics*, 2025 年 3 月.
- Kubo A, Fujita K, Tanaka S, Kimura Y, Wada N: The impact of perioperative oral care on postoperative infection in patients with esophageal cancer: a retrospective cohort study before and during COVID-19, *Surgery Today*, 55, 9, 2025 年 3 月.
- 橋口 暢子: 家庭内の温熱環境が及ぼす健康影響, *看護人間工学会誌*, 6, 2025 年 3 月.
- 中尾 久子, 金岡 麻希, 潮 みゆき, 佐藤 宣子, 山本 弘恵: 看護職がとらえる高齢者のストレスに関する文献検討, *第一薬科大学研究年報*, 41, 2025 年 3 月.

#### ○ 国内学会での講演、発表

- 酒井 真美, 平田 能子, 甲斐 梓: 家族性 ALS の診断期における患者の思いと看護支援, 第 65 回日本神経学会, 2024 年 6 月, 東京国際フォーラム.
- 能登 裕子, 村木 里志: 地域高齢者の運動感覚と運動機能・転倒リスクとの関連, 日本人間工学会第 65 回大会, 2024 年 6 月, 公立千歳科学技術大学.
- 大川 貴子, 福田 紀子, 澤田 いずみ, 田中 浩二, 柳澤 美紀, 山岡 由実, 藤代 知美, 岩切 真砂子, 青本 さとみ, 加藤 郁子: 被災地では何が起こり、何が求められるのか 能登半島地震での体験を共有し“これから”に備える, 日本精神保健看護学会第 34 回学術集会・総会プログラム, 2024 年 6 月, 国際医療福祉大学成田キャンパス.
- 石井 恵, 平岩 ひろみ, 渡邊 則子, 濱田 正美, 橋口 暢子: A 大学病院看護部看護キャリアセンターにおける人事交流活動とその教育効果, 第 28 回日本看護管理学会学術集会, 2024 年 8 月, 名古屋国際会議場.
- 藤田 君支, 橋口 暢子, 鳩野 洋子, 寺岡 佐和, 甲斐 梓, 渡邊 則子, 江口 恭世: 看護研究を社会実装するための大学と病院看護部との協働, 第 50 回学術集会 日本看護研究学会, 2024 年 8 月, 奈良県コンベンションセンター.
- 三重野 愛子, 山口 多恵, 橋口 暢子: 高齢者を対象とした嚥下体操に関する英語論文の内容分析, 第 30 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会, 2024 年 8 月, 福岡国際会議場 マリンメッセ福岡 B 館.
- 橋口 暢子: 家庭内の温熱環境が及ぼす健康影響, 第 6 回看護人間工学会学術集会, 2024 年 9 月, 宮崎県立看護大学.

- 井上 智恵, 大澤 栄実, 河口 てる子, 安酸 史子, 小林 貴子, 岡 美智代, 小平 京子, 道面 千恵子, 他 12 名: 口数が少ない患者さんへの関わりを一緒に振替ってみませんか〜関係をつなぐための「看護の教育的関わりモデル」の活用, 第 29 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2024 年 9 月, 京都国際会議場.
- 能登 裕子: 地域高齢者の運動機能維持に向けたモニタリング指標の検討, 第 6 回看護人間工学会学術集会, 2024 年 9 月, 宮崎県立大学.
- 吉川 はな, 稲田 明美, 富永 真生, 甲斐 梓, 石橋 千亜紀, 河内 聡美, 林田 菜穂, 森下 怜美, 能登 裕子, 橋口 暢子: 臨床における个人防护具(ガウン)着用が体温および主観申告に及ぼす影響, 第 6 回看護人間工学会学術集会, 2024 年 9 月, 宮崎県立看護大学.
- 相良空美, 後藤健一, 前田恵, 村田典子, 能登真一, 福田治久: EQ-5D-5L を用いた主観的健康観と関連疾患の包括的分析:LIFE Study, 第 83 回日本公衆衛生学会総会, 2024 年 10 月, 札幌コンベンションセンター.
- 相良空美, 後藤健一, 福田治久: Life's Essential 8 における健康行動と新規高血圧発症の関連性:LIFE Study, 第 46 回日本高血圧学会総会, 2024 年 10 月, 福岡国際会議場.
- 本田和也, 後藤健一, 福田治久: 高血圧患者の受療状況と脳内出血発症との関連性についての検討:LIFE Study, 第 46 回日本高血圧学会総会, 2024 年 10 月, 福岡国際会議場.
- 明野由里奈, 後藤健一, 前田恵, 村田典子, 福田治久: 高齢者における所得水準と健康行動との関連:LIFE Study, 第 83 回日本公衆衛生学会総会, 2024 年 10 月, 札幌コンベンションセンター.
- 大森将, 松村潔, 大坪俊夫, 富永光裕, 鍵山俊太郎, 川崎純也, 赤崎卓, 藤島八重, 阿部功, 二宮利治, 後藤健一, 土橋卓也, 北園孝成: 治療中高血圧者において、室温は家庭血圧値に影響する:福岡高血圧コホート研究, 第 46 回日本高血圧学会総会, 2024 年 10 月, 福岡国際会議場.
- 井上美奈子, 坂田智子, 有馬久富, 大石絵美, 大和いくみ, 茨木愛, 後藤健一, 北園孝成: 日本人職域集団における睡眠関連呼吸障害と運動負荷後の血圧上昇との関連, 第 46 回日本高血圧学会総会, 2024 年 10 月, 福岡国際会議場.
- 立石 礼望, 松尾 和枝, 橋口 暢子: 医薬品情報取得時の看護師の視線の特徴, 第 45 回大会 日本人間工学会九州・沖縄支部会, 2024 年 11 月, 長崎大学 坂本キャンパス ポンペ会館.
- 後藤健一: 高血圧の予防と改善 ～生活習慣の修正～, 令和 6 年度福岡県医師会生活習慣病健診等従事者講習会, 2024 年 11 月, Web 開催.
- 松本美晴, 立石礼望, 小林宏光, 橋口暢子: 静脈の視認性と触知性が採血時の触診における触動作に及ぼす影響, 第 12 回看護理工学会学術集会, 2024 年 11 月, 石川県立看護大学.
- 久保日南子, 杉谷唯, 松田美由紀, 恒吉章治, 中野敏昭, 吉田恵美: 腹膜透析患者の療養生活の満足感と自己効力感の関連, 第 30 回日本腹膜透析医学会学術集会, 2024 年 11 月, 福岡国際会議場.
- 林田菜穂, 森下怜美, 能登裕子, 橋口暢子: 模擬看護ケア実施時の感染症个人防护具着用が体温調節反応および主観申告へ及ぼす影響, 第 12 回看護理工学会, 2024 年 11 月, 石川県立看護大学.
- 中尾久子, 潮みゆき, 金岡麻希: 移植医療における看護倫理に関する国内文献の動向と看護職への支援の検討, 第 19 回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2024 年 11 月, 宮崎大学.
- 潮みゆき, 田中さとみ, 金岡麻希: 肝移植患者の身体活動と睡眠の関連性, 第 19 回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2024 年 11 月, 宮崎大学.

- 三重野 愛子, 山口 多恵, 橋口 暢子: ロボット活用による嚥下体操の継続に影響する要因—使用した学生へのインタビュー調査より—, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール 3F.
- 橋口 暢子: 環境の人工化と健康影響:格差社会で現代人が安全に快適に生きるために 人工環境下における温熱環境と健康影響, 第 44 回 日本看護科学学会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 酒井 久美子, 久保 葵, 手柴 萌, 荒木 菜結, 藤岡 智恵子, 渡邊 則子, 藤田 君支: 高齢口腔がん患者の口腔関連 QOL の変化と術後の症状・思い, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 甲斐 梓, 藤田 君支: 周術期口腔ケアによる頭頸部癌術後感染症の予防効果 COVID-19 流行前後における後ろ向き調査, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 加藤 典子, 中島 紀江, 橋口 暢子: 成人女性の下肢のむくみに対する着圧ストッキングの着用効果に関する検討, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール 3F.
- 青本さとみ: 精神障害者の家族と生活する家族のリカバリー, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 渡邊則子, 藤田君支, 酒井久美子, 松村美奈, 久保葵, 永渕美佳, 池田大作, 四ヶ所美穂, 小野綺華: 頭頸部がん術後の看護師による口腔ケア実施と術後感染の発症と関連について, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 渡邊 則子, 藤田 君支, 酒井 久美子, 松村 美奈, 久保 葵, 永渕 美佳, 池田 大作, 四ヶ所 美穂, 小野 綺華: 頭頸部がん術後の看護師による口腔ケア実施と術後感染の発症と関連について, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 松村美奈, 藤田君支, 渡邊則子, 永渕美佳: 頭頸部がん術後患者の症状や障害, 口腔セルフケアの問題に関する調査, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 坂梨 左織, 藤田 君支, 西尾 美登里: 認知症介護における先取り介護の特徴, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 山田 春奈, 藤田 君支: 脳卒中患者における口腔衛生状態と急性期合併症の肺炎との関連, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 中尾久子, 金岡麻希, 潮みゆき: 長期療養高齢者施設勤務の看護職が感じる高齢者の倫理的問題のジレンマ, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本城ホール.
- 濱田芹菜(宮崎県立宮崎西高等学校)・丸山マサ美: 九州大学医学部資料研究, 第 43 回日本医史学会福岡地方会, 2025 年 2 月, 福岡市.
- 相楽空美, 後藤健一, 上田瑛美, 福田治久: 生活習慣と眼底検査による新規高血圧発症の予測モデルの検討:LIFE Study, 第 35 回日本疫学会学術総会, 2025 年 2 月, 高知.
- 田中 るみ, 久保 五月, 藤田 君支: 大腸がんサバイバーの強度別の身体活動時間と QOL の関連, 第 39 回日本がん看護学会学術集会, 2025 年 2 月, 神戸国際展示場, 神戸国際会議場.
- 松尾和枝: 緑内障患者の点眼アドヒアランス—看護アセスメントを点眼アドヒアランス改善に活かす—, 日本視機能看護学会第 25 回情報交換会セミナー交流会, 2025 年 2 月, オンライン.
- 丸山マサ美, 濱田芹菜: 九州大学医学部資料研究-第 1 報-, 第 44 回日本医史学会福岡地方会, 2025 年 2 月, 九州大学医学歴史館.
- 後藤健一: DX を活用した研究の報告, 令和 6 年度九州大学看護共創・実装研究拠点シンポジウム, 2025 年 3 月, 九州大学医学部百年講堂.

- 三重野 愛子, 山口 多恵, 橋口 暢子: 看護学生を対象としたコミュニケーションロボットの介入による嚥下体操実施の阻害要因: 紙媒体を用いた介入との比較, 第 29 回 日本看護研究学会 九州・沖縄地方会 学術集会, 2025 年 3 月, 宮崎大学医学部講義実習棟.
- 石橋 千亜紀, 河内 聡美, 甲斐 梓, 稲田 明美, 鳥羽 好和, 能登 裕子, 橋口 暢子: 看護師における个人防护具(ガウン・エプロン)着用による熱ストレス発生状況, 第 29 回 日本看護研究学会 九州・沖縄地方会 学術集会, 2025 年 3 月, 宮崎大学医学部講義実習棟.
- 甲斐梓, 吉田恵美: 新型コロナウイルス流行下における頭頸部癌患者の周術期口腔ケアによる術後感染症予防に関する研究, 第 29 回日本看護研究学会 九州・沖縄地方会, 2025 年 3 月, 宮崎大学医学部講義実習棟.
- 阿部清美, 藤野ユリ子, 潮 みゆき: 臨地実習のリフレクションにおける看護学生の気づきとそれを促す教員のかかわりに関する文献検討, 第 29 回 日本看護研究学会 九州・沖縄地方会 学術集会, 2025 年 3 月, 宮崎大学.
- 丸山マサ美: 九州大学におけるコミュニケーション教育と大学院研究の実績－医療倫理学の視点から－, 第 15 回日本マイクロカウンセリング学会, 2025 年 3 月, 東京プリンスホテル.
- 中尾久子, 金岡麻希, 潮みゆき, 権藤 多栄: 長期療養高齢者施設勤務の看護職が排泄の援助で感じる高齢者に対する倫理的問題, 第 29 回 日本看護研究学会 九州・沖縄地方会 学術集会, 2025 年 3 月, 宮崎大学.

#### ○ 国際学会での講演、発表

- Hisako Nakao, Maki Kanaoka, Miyuki Ushio: Ethical Issues that Nurses Perceived Working for a Long-term Care Facility in Supporting Older Adults to Have Sufficient Food Intake, The 15th INC & 28th EAFONS, 2025 年 3 月, Seoul, Korea.

#### ○ 学会以外での講演、発表 なし

## 著作

### 1. 単行本

- 丸山マサ美, 木村利人, 足立智孝, 吉住朋晴, 宮坂義浩, 佐々木典康, 三成寿作, 瀬戸山晃一: (編集・共著)生命倫理学概論, 2024 年 6 月, 大学教育出版会.
- Nobuko Hashiguchi: (共著)The thermal Environment from Viewpoints of Physiological Anthropology and Environmental Ergonomics, 2025 年 3 月, Springer Nature.

### 2. 総説

- 田中 さとみ: 若手研究者のバトン, 2024 年 8 月, 看護研究 vol.57 No.4・医学書院.

### 3. 解説, 書評など

- Yoshihiro SAIRO, Ko SASAKI, Satomi TAKESHITA, Kayo MORITA: (共著)Usefulness of Cognitive Behavioural Therapy for Sports Athletes in the Orthopedic Field:A Systematic Review, 2024年5月, Open Access Journal of Nursing.
- 丸山マサ美: 第11回歴史のうねりセミナー「平和への祈り:ピアノの夕べ」第一部グローバル・エシックスの視点から見た人間の尊厳-『健康』『人権』『平和』-, 2025年3月, 九州大学医学部同窓会誌.

### 受賞

- Kanako Yakushiji, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi, Yuriko Matsunaga-Myoji, Satomi Tanaka, Masaaki Mawatari: Wiley Publishers selected it as one of the most influential Wiley collection articles in nursing in honor of International Nursing Day, Nurses Week 2024 Content Collection, Wiley社, 2024年4月.
- 本田和也, 後藤健一, 福田治久: 高血圧患者の受療状況と脳内出血発症との関連性についての検討:LIFE Study, 日本高血圧学会 Young Investigator Promotion 賞 最優秀賞, 日本高血圧学会, 2024年10月.
- Kanako Yakushiji, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi, Yuriko Matsunaga-Myoji, Satomi Tanaka, Masaaki Mawatari: Long-term health-related quality of life of total hip arthroplasty patients and cost-effectiveness analysis in the Japanese universal health insurance system, 日本看護科学学会学術論文賞奨励賞, 日本看護科学学会, 2024年12月.

報道 なし

### 4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

- 丸山 マサ美, 福岡県高校生知の創造力育成セミナー事業, ふくおか高校生知の創造塾 ファッションリテータ.
- 丸山 マサ美, 兵庫県立姫路東高等学校 SSH, 運営指導委員.

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ なし
3. 留学生の受入れ なし
4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 橋口 暢子 学生支援委員会委員
- 丸山 マサ美 九州大学学務部学務企画課(QFC-SP オフィス), 九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(Life Science&Health Care)副コース長.

### 2. 部局委員

- 橋口 暢子 模擬患者養成部会委員
- 丸山 マサ美 九州大学ピアノの会病院キャンパス特別顧問
- 能登 裕子 百人部会委員

### 3. 部門・コース内委員

- 藤田 君支, 看護学分野長.
- 藤田 君支, 総務委員会委員.
- 藤田 君支, 財務委員会委員.
- 藤田 君支, 将来計画、点検・評価・年報委員会委員.
- 藤田 君支, 人事委員会・教育活動評価委員会委員.
- 藤田 君支, 入学試験実施委員会委員.
- 藤田 君支, 実装研究拠点運営委員会委員長.
- 後藤 健一, 大学院委員会副委員長.
- 後藤 健一, 広報委員会委員長.
- 橋口 暢子, 学生委員委員長.
- 橋口 暢子, 統合基礎看護学講座 講座長.
- 橋口 暢子, 実装研究拠点運営委員会委員.
- 橋口 暢子, 実習委員.
- 能登 裕子, 卒業研究委員.
- 道面 千恵子, 広報委員.
- 道面 千恵子, 実習委員.
- 田中 さとみ, 担任.
- 田中 さとみ, 分野会計.
- 吉田 恵美, 担任.

- 吉田 恵美, 実習委員.
- 吉田 恵美, 地域国際・FD 連携委員.
- 甲斐 梓, 実習委員.
- 甲斐 梓, 看護共創・実装研究拠点運営委員会.
- 久保 葵, 看護研究委員.

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 青本 さとみ, 福岡看護高等線専修学校, 非常勤講師.
- 能登 裕子, 福岡県看護協会新人看護職員教育担当者研修, 集中講義.
- 松尾 和枝, 福岡県保健医療介護部医療指導課医師・看護職員確保室/福岡県専任教員養成講習会, 講師.
- 松尾 和枝, 公益社団法人福岡県看護協会「認定看護管理者教育課程」, 講師.
- 松尾 和枝, 放送大学, 講師.
- 丸山 マサ美, 聖マリア学院大学大学院修士課程, 非常勤講師.
- 丸山 マサ美, 日本赤十字九州国際看護大学修士課程, 非常勤講師.
- 吉田 恵美, 東京情報大学, 非常勤講師.
- 潮 みゆき, 福岡女学院看護大学大学院修士課程, 非常勤講師.

### 2. 学協会

- 藤田 君支, 日本老年看護学会, 評議員.
- 藤田 君支, 日本看護研究学会, 理事 表彰・奨励賞委員会.
- 藤田 君支, 日本糖尿病教育・看護学会, 編集委員、代議員.
- 藤田 君支, 日本看護科学学会, 代議員.
- 藤田 君支, 日本看護科学学会, 英文誌編集委員.
- 後藤 健一, 日本高血圧学会, 診療・保険委員会委員.
- 後藤 健一, 日本高血圧学会, 専門医制度委員会委員.
- 後藤 健一, 日本高血圧学会, 専門医資格・施設認定・カリキュラム小委員会委員.
- 後藤 健一, 日本高血圧学会, JHS2025 執筆委員.
- 後藤 健一, 日本高血圧学会, 第 46 回日本高血圧学会演題選考委員.
- 橋口 暢子, 日本看護技術学会, 編集委員.
- 橋口 暢子, 日本看護科学学会, 代議員.
- 橋口 暢子, 日本看護科学学会学術集会, 企画委員.
- 橋口 暢子, 人間-生活環境系学会, 理事.
- 橋口 暢子, 日本看護科学学会, 和文誌専任査読委員.
- 橋口 暢子, 日本看護技術学会, 日本看護技術学会編集委員会委員.
- 橋口 暢子, 日本看護技術学会, 日本看護技術学会評議員.
- 橋口 暢子, 公益社団法人福岡県看護協会, 公益社団法人福岡県看護協会 80 周年記念誌編纂委員会.

- 橋口 暢子, 一般社団法人 日本生理人類学会, 評議員.
- 青本 さとみ, 日本精神保健看護学会, 災害対策委員.
- 能登 裕子, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 評議員.
- 能登 裕子, 日本人間工学会, 理事.
- 能登 裕子, 日本人間工学会, 査読委員.
- 能登 裕子, バイオメディカル・ファジィ・システム学会, 評議員.
- 能登 裕子, 看護人間工学会, 評議員.
- 松尾 和枝, 福岡県看護協会, 認定看護管理者教育運営委員会.
- 田中 さとみ, 日本看護科学学会, 若手の会 九州・沖縄エリアコーディネータ.
- 吉田 恵美, 日本腎不全看護学会, 代議員.
- 吉田 恵美, 日本腎不全看護学会, 研究委員.
- 吉田 恵美, 日本腎不全看護学会, 認定委員.
- 吉田 恵美, 日本腎不全看護学会, 専任査読委員.
- 丸山 マサ美, 日本看護歴史学会, 監事.
- 丸山 マサ美, 日本看護歴史学会, 査読委員.
- 丸山 マサ美, 日本生命倫理学会, 代議員.
- 丸山 マサ美, 日本生命倫理学会, 査読委員.
- 丸山 マサ美, 日本医学哲学倫理学会, 評議員.
- 丸山 マサ美, 日本医学哲学倫理学会, 査読委員.
- 丸山 マサ美, 日本看護研究学会, 査読委員.
- 丸山 マサ美, 日本医史学会, 査読委員.
- 丸山 マサ美, 日本医学哲学倫理学会国際誌 Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 査読委員.
- 丸山 マサ美, 西日本生命倫理研究会, 事務局.

### 3. 官界 なし

### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

### 5. 公開講座・公開講演会

- 橋口 暢子, 漢方がわかる看護師養成レッスン.
- 青本 さとみ, 精神科訪問看護研修会.
- 松尾 和枝, 九州大学看護共創・実装研究拠点事業・看護研究セミナー.
- 甲斐 梓, 九州大学看護共創・実装研究拠点事業・看護研究セミナー.
- 成 儒彬, 九州大学看護共創・実装研究拠点事業・看護研究セミナー.

### 6. 初等中等教育への貢献

- 丸山 マサ美, QFC-SP プロジェクト Life Science & Health Care 副コース長.
- 丸山 マサ美, 令和6年度『ふくおか高校生知の創造塾』ファシリテータ.
- 丸山 マサ美, 令和6年度兵庫県立姫路東高等学校 SSH 運営指導委員会委員.

## 看護学分野

### 《広域生涯看護学》

教授	鳩野 洋子
教授	諸隈 誠一
教授	寺岡 佐和
教授	疋田 直子
准教授	植木 慎悟
准教授	前野 有佳里
講師	宮田 潤子
講師	末次 美子
講師	岩木 三保
助教	酒井 久美子
助教	佐藤 洋子
助教	藤田 貴子
助教	松藤 尋幹
助教	長友 恵莉
助教	杉浦 圭子
助教	池田 すばる
助教	田代 恵理

## 1. 教育活動

### 1. 大学院講義

看護研究方法論 I	鳩野 洋子	春学期
地域母子保健 I (分担)	鳩野 洋子	後期
母子発達ケアシステム論 I	諸隈 誠一	前期
基礎助産学 I (分担)	諸隈 誠一	前期
基礎助産学 II	諸隈 誠一	前期
看護研究方法論 I (分担)	諸隈 誠一	春学期
先端医療論	諸隈 誠一	前期
発達看護学特論 II	諸隈 誠一	後期
助産診断・技術学 V	諸隈 誠一	後期
看護研究方法論 I (分担)	寺岡 佐和	春学期
ヘルスサイエンス論(分担)	寺岡 佐和	前期
基礎助産学 I	疋田 直子	前期
助産診断・技術学 II (分担)	疋田 直子	前期
助産診断・技術学 III (分担)	疋田 直子	前期
助産管理 I (分担)	疋田 直子	後期
助産管理 II (分担)	疋田 直子	後期
地域母子保健 I (分担)	疋田 直子	後期

周産期の薬理学(分担)	疋田 直子	冬学期
国際社会とチーム医療(分担)	疋田 直子	前期
看護学特別研究(疋田教授)	疋田 直子	通年
看護研究方法論Ⅱ	植木 慎悟	前期
基礎助産学Ⅱ(分担)	植木 慎悟	前期
看護学特別研究(植木准教授)	植木 慎悟	通年
発達看護学特論Ⅰ	植木 慎悟	前期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	植木 慎悟	後期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	前野 有佳里	春学期
先端医療論(分担)	宮田 潤子	前期
周産期の薬理学(分担)	宮田 潤子	冬学期
基礎助産学Ⅰ(分担)	宮田 潤子	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	宮田 潤子	前期
地域母子保健Ⅱ(分担)	末次 美子	春学期
助産診断・技術学Ⅰ	末次 美子	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	末次 美子	前期
看護学特別研究(末次講師)	末次 美子	通年
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	末次 美子	夏学期
助産管理Ⅰ(分担)	末次 美子	後期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	末次 美子	前期
助産管理Ⅱ(分担)	末次 美子	後期
地域母子保健Ⅰ(分担)	末次 美子	後期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	岩木 三保	前期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	杉浦 圭子	前期
地域母子保健Ⅱ(分担)	佐藤 洋子	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	長友 恵莉	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	池田 すばる	春学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	池田 すばる	夏学期
地域母子保健Ⅱ(分担)	池田 すばる	前期

## 2. 大学院実験・実習

助産学実習Ⅰ(分担)	疋田 直子	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	疋田 直子	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	疋田 直子	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	疋田 直子	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	末次 美子	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	末次 美子	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	末次 美子	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	末次 美子	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	佐藤 洋子	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	佐藤 洋子	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	佐藤 洋子	後期

助産学実習Ⅰ(分担)	松藤 尋幹	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	松藤 尋幹	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	松藤 尋幹	前期

### 3. 大学院演習

保健学特別研究	鳩野 洋子	通年
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	疋田 直子	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	疋田 直子	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	末次 美子	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	末次 美子	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	末次 美子	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	末次 美子	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	佐藤 洋子	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	佐藤 洋子	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	佐藤 洋子	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	佐藤 洋子	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	松藤 尋幹	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	松藤 尋幹	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	松藤 尋幹	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	松藤 尋幹	前期
助産診断・技術学Ⅴ(分担)	松藤 尋幹	秋学期

### 4. 大学院修士課程修了者

執行 美帆	予防接種を受ける子どもの行動分析
善明 愛希	日本語版子宮頸がん検診意向尺度の信頼性・妥当性の検証
柴田 晏奈	妊娠糖尿病既往褥婦における母乳栄養選択の関連要因
古川 結惟	生後1、3、6か月の睡眠形成と生後6か月の発達との関連
仁田原 風花	分娩時の母体へのオキシトシン投与が産後の母児のオキシトシン分泌および母乳育児、産後うつ、ボンディングに与える影響
古賀 さくら	自然妊娠した妊婦と不妊治療後に妊娠した妊婦の妊娠中期・後期における身体活動量の実態:前向き観察研究
東原 藍子	モンゴル国における助産師の妊娠中の体重増加に関する知識と保健指導の実態:横断観察研究

### 5. 大学院博士課程修了者

王丸 真知子	Impact of intrapartum oxytocin administration on neonatal sucking behavior and breastfeeding
--------	--

### 6. 学部講義

疫学(分担)	鳩野 洋子	秋学期
公衆衛生看護学概論(分担)	鳩野 洋子	後期
公衆衛生看護管理論(分担)	鳩野 洋子	秋学期

公衆衛生看護活動展開論 I	鳩野 洋子	夏学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	鳩野 洋子	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	鳩野 洋子	前期
国際保健と医療(分担)	鳩野 洋子	後期
在宅看護論各論(分担)	鳩野 洋子	前期
母性疾病論	諸隈 誠一	春学期
人体の構造と機能Ⅱ	諸隈 誠一	前期
臨床病態学(分担)	諸隈 誠一	後期
臨床医学論 I	諸隈 誠一	後期
国際保健と医療(分担)	諸隈 誠一	後期
老年看護論各論 I(分担)	寺岡 佐和	冬学期
公衆衛生看護管理論(分担)	寺岡 佐和	秋学期
老年保健・疾病論(分担)	寺岡 佐和	秋学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	寺岡 佐和	春学期
老年看護学概論(分担)	寺岡 佐和	夏学期
公衆衛生看護学概論(分担)	寺岡 佐和	後期
国際保健と医療(分担)	寺岡 佐和	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	寺岡 佐和	前期
老年看護論各論Ⅱ(分担)	寺岡 佐和	前期
母性看護学概論	疋田 直子	秋学期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	疋田 直子	前期
国際保健と医療(分担)	疋田 直子	後期
世界が仕事場(分担)	疋田 直子	後期
小児看護学概論(分担)	植木 慎悟	秋学期
小児看護学各論Ⅰ(分担)	植木 慎悟	冬学期
小児看護学各論Ⅱ(分担)	植木 慎悟	前期
看護研究Ⅱ(分担)	植木 慎悟	夏学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	植木 慎悟	秋学期
医療倫理・看護倫理(分担)	植木 慎悟	夏学期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	前野 有佳里	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担)	前野 有佳里	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	前野 有佳里	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	前野 有佳里	前期
公衆衛生看護管理論(分担)	前野 有佳里	秋学期
公衆衛生看護支援論Ⅰ(分担)	前野 有佳里	春学期
保健医療福祉行政論Ⅰ	前野 有佳里	春学期
看護研究Ⅰ(分担)	前野 有佳里	春学期
医学総論Ⅱ(分担)	宮田 潤子	後期
医学総論Ⅰ(分担)	宮田 潤子	後期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	宮田 潤子	後期
看護研究Ⅱ	宮田 潤子	夏学期
漢方医薬学	宮田 潤子	春学期

総合医学Ⅲ 漢方診断学演習(分担)	宮田 潤子	秋学期
臨床医学論Ⅱ	宮田 潤子	後期
臨床病態学(分担)	宮田 潤子	後期
人体の構造と機能Ⅱ(分担)	宮田 潤子	前期
小児疾病論	宮田 潤子	前期
看護研究Ⅱ(分担)	末次 美子	前期
母性看護学各論Ⅰ	末次 美子	冬学期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	末次 美子	春学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	岩木 三保	秋学期
疫学(分担)	岩木 三保	秋学期
地域・在宅看護概論	岩木 三保	秋学期
地域・在宅看護各論Ⅱ(分担)	岩木 三保	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	岩木 三保	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	岩木 三保	前期
地域・在宅看護各論Ⅰ	岩木 三保	春学期
看護倫理(分担)	岩木 三保	夏学期
看護研究Ⅰ(分担)	岩木 三保	春学期
地域・在宅看護各論Ⅱ(分担)	酒井 久美子	前期
老年看護学各論Ⅱ(分担)	酒井 久美子	後期
老年看護学概論(分担)	酒井 久美子	前期
老年看護学各論Ⅰ(分担)	酒井 久美子	前期
老年保健疾病論(分担)	酒井 久美子	後期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	藤田 貴子	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担)	藤田 貴子	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	藤田 貴子	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	藤田 貴子	前期
公衆衛生看護学概論(分担)	藤田 貴子	後期
看護研究Ⅰ(分担)	藤田 貴子	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ	藤田 貴子	春学期
在宅看護論実習(分担)	藤田 貴子	通年
地域・在宅看護各論Ⅱ	杉浦 圭子	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	杉浦 圭子	前期
小児看護学概論(分担)	長友 恵莉	秋学期
小児看護学各論Ⅰ(分担)	長友 恵莉	冬学期
小児看護学各論Ⅱ(分担)	長友 恵莉	前期
国際保健と医療(分担)	池田 すばる	後期
保健統計学	池田 すばる	冬学期

## 7. 学部の実験・実習・演習

公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	鳩野 洋子	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	鳩野 洋子	前期
総合実習(分担)	鳩野 洋子	前期

看護研究Ⅲ(分担)	鳩野 洋子	通年
地域・在宅看護実習(分担)	鳩野 洋子	通年
看護研究Ⅲ(分担)	寺岡 佐和	通年
総合実習(分担)	寺岡 佐和	前期
在宅看護論各論(分担)	寺岡 佐和	前期
在宅看護論実習(分担)	寺岡 佐和	前期
老年看護学実習(分担)	寺岡 佐和	前期
総合実習	疋田 直子	通年
地域・在宅看護実習(分担)	寺岡 佐和	通年
母性看護学実習	疋田 直子	後期
看護研究Ⅲ(分担)	植木 慎悟	通年
小児看護学実習Ⅰ(分担)	植木 慎悟	集中
小児看護学実習Ⅱ(分担)	植木 慎悟	集中
総合実習(分担)	植木 慎悟	集中
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	前野 有佳里	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	前野 有佳里	前期
地域・在宅看護実習(分担)	前野 有佳里	通年
総合実習(分担)	前野 有佳里	前期
看護研究Ⅲ(分担)	前野 有佳里	通年
小児看護学実習Ⅰ(分担)	宮田 潤子	集中
看護研究Ⅲ(分担)	宮田 潤子	通年
母性看護学実習(分担)	末次 美子	後期
看護研究Ⅲ(分担)	末次 美子	通年
地域・在宅看護各論Ⅱ(分担)	岩木 三保	前期
看護研究Ⅲ(分担)	岩木 三保	通年
総合実習(分担)	岩木 三保	前期
地域・在宅看護実習(分担)	岩木 三保	通年
総合実習(分担)	酒井 久美子	前期
看護研究Ⅲ(分担)	酒井 久美子	通年
老年看護学実習(分担)	酒井 久美子	前期
地域・在宅看護実習(分担)	酒井 久美子	前期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	佐藤 洋子	春学期
母性看護学実習(分担)	佐藤 洋子	後期
総合実習(分担)	佐藤 洋子	前期
看護研究Ⅲ(分担)	佐藤 洋子	通年
総合実習(分担)	藤田 貴子	前期
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	藤田 貴子	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	藤田 貴子	前期
看護研究Ⅲ(分担)	藤田 貴子	通年
地域・在宅看護実習(分担)	藤田 貴子	通年
母性看護学実習(分担)	松藤 尋幹	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	松藤 尋幹	春学期

総合実習(分担)	松藤 尋幹	通年
看護研究Ⅲ(分担)	松藤 尋幹	通年
看護研究Ⅲ(分担)	長友 恵莉	通年
小児看護学実習Ⅰ(分担)	長友 恵莉	後期
小児看護学実習Ⅱ(分担)	長友 恵莉	後期
総合実習(分担)	長友 恵莉	前期
看護研究Ⅲ(分担)	田代 恵理	通年
小児看護学実習Ⅰ(分担)	田代 恵理	後期
小児看護学実習Ⅱ(分担)	田代 恵理	後期
総合実習(分担)	田代 恵理	前期

## 8. 卒業論文作成者

安藤 優里奈	豪雨災害発生時における地域住民に生じる困難についての文献研究
井久保 悠希	大規模地震災害の被災者に対する有効な介入プログラムの検討
岡野 美咲	認知症高齢者の胃瘻造設の代理意思決定を行った家族の思いに関する文献検討
吉田 典央	地域で暮らす独居高齢者の地域住民との交流の現状に関する文献検討
濱地 美里	成人のスマートフォン使用による身体的影響に関する文献研究
三ヶ尻 菜由	大学生の睡眠とメンタルヘルスの関係についての文献検討
日高 琴美	高齢者の介護予防のための効果的な運動介入方法に関する文献検討
小川 薫	ひきこもり支援における相談機関の役割に関する文献検討—当事者の意見に焦点を当てて—
上田 桃子	医療的ケア児を養育する親の負担の検討
松尾 彩香	ALS患者と家族の人工呼吸器装着の意思決定に影響を与える要因
三浦 咲季	認知機能の低下が見られる糖尿病高齢者の外来薬物療法における課題
札本 彩喜	急性期病棟に入院中の高齢者の転倒危険因子とその予防策についての文献検討
染矢 陽日葵	ICUにおける終末期患者に対する看護ケアの実践についての文献検討
金廣 暖斗	認知症高齢者の介護者に対する認知行動療法の効果に関する文献研究
荒川 しおり	子宮頸がん検診の受診行動に影響を及ぼす要因に関する文献検討
伊東 菜々美	特定健診結果から見る高齢者のHbA1cと生活習慣の地域差とその要因の検討
玉置 清乃	子宮頸がんワクチンの接種行動を推進する取り組み
岩永 紫月	高齢出産した母親の心理的特徴
赤井 愛美	NICU入院児の母親における産後うつ病の関連要因についての文献研究
高戸 詩織	妊娠各期における妊婦のQOL向上のための支援に関する文献検討
長尾 春香	日本における妊婦の葉酸摂取量不足の要因と葉酸摂取推進の課題
中田 珠葵	プレコンセプションケアにおける性差に関する文献検討
岡野 真奈	小児虐待を受けたことによる脳機能への影響に関する文献検討
田中 薫	産後の体型不満の関連要因:文献検討
上妻 和華子	妊娠前の体系認識と妊娠中期の身体活動量の関係:二次データ分析
太西 菜月	母親のアタッチメントスタイルが心理社会的側面に及ぼす影響
田野 杏美香	母子分離を経験した低出生体重児の母親の搾乳への思いに関する文献研究
藤井 ひなの	学童期以下の子どもを持つ女性医療従事者の仕事と育児の両立における困難と関連要因に関する文献研究



19	アジア・アフリカにおける ICT 技術を使用した母子遠隔健診に関する研究	池田 すばる
20	低中所得国におけるケアの質に関する研究	池田 すばる
21	地域において安心して妊娠・子育てが可能となる安全な周産期医療体制の構築のための政策研究	池田 すばる
22	医療的ケア児の在宅移行時における看護師間の連携	田代 恵理

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」都道府県および市町村における統括保健師の役割の明確化とその推進に関する研究, 鳩野(代表)
- 「基盤研究(B)」パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」外国人結核患者の服薬継続支援における保健師のコンピテンシー自己評価尺度の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」若年性認知症患者を支える家族介護者のニーズ評価尺度の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの実装, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」小規模多機能居宅介護を活用した認知症共生プラットフォームの形成と展開に関する研究, 鳩野(分担)

諸隈 誠一

- 「基盤研究(B)」臍帯血を用いた粒子状物質の成分粒径別曝露の胎児影響機序を探究する環境疫学研究, 諸隈(分担)
- 「挑戦的研究(萌芽)」母体-胎児間の原初的コミュニケーションに関する基礎的検討, 諸隈(代表)
- 「挑戦的研究(萌芽)」新しいがん予防行動支援モデル構築への挑戦: がんサバイバー家族へのアプローチ法探索, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」乳児の睡眠問題に対する予防的親教育プログラムの開発と有効性の検証, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」『生体リズムに着目した発達障害の解析ー胎児期から幼児期までの縦断研究ー』, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」Demonstrate the effectiveness of the new Japanese gestational weight gain growth charts in the prevention of low birth weight, 諸隈(分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」小規模多機能居宅介護を活用した認知症共生プラットフォームの形成と展開に関する研究, 寺岡(代表)

疋田 直子

- 「若手研究」モンゴル人妊婦と助産師の妊娠中の体重増加に関する認識と周産期アウトカムへの影響, 疋田(代表)
- 「基盤研究(C)」助産師が行っている産痛緩和法の実態把握とエビデンスの再検証, 疋田(分担)

- 「基盤研究(B)」周産期コホートネットワークの基盤拡大とデータ利活用プラットフォームの構築, 正田(分担)

#### 植木 慎悟

- 「基盤研究(C)」感染対策と子どもの権利擁護、親の負担軽減の両立を目指した入院ガイドラインの開発, 植木(分担)
- 「若手研究」動作解析で検証する口唇口蓋裂児への効果的な哺乳技術の確立と習得, 植木(代表)
- 「基盤研究(C)」予防接種時の子どもの抑制に関する小児看護師の判断基準, 植木(分担)

#### 前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」介護サービス事業者の成長を可能にする保健師の実地指導技術指標の開発, 前野(代表)

#### 宮田 潤子

- 「厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)」希少難治性消化器疾患の長期的 QOL 向上と小児期からのシームレスな医療体制構築, 宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」予防接種時の子どもの抑制に関する小児看護師の判断基準, 宮田(分担)

#### 末次 美子

- 「基盤研究(B)」妊娠各期の至適体重増加とそれに関連する健康行動・心理社会的要因:コホート研究, 末次(分担)
- 「基盤研究(B)」周産期コホートネットワークの基盤拡大とデータ利活用プラットフォームの構築, 末次(分担)

#### 岩木 三保

- 「若手研究」難病療養者の在宅看護に必要なコンピテンシーモデルの作成, 岩木(代表)
- 「基盤研究(B)」パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明, 岩木(分担)

#### 佐藤 洋子

- 「基盤研究(C)」バングラデシュ人妊婦のライフスタイルと妊娠糖尿病に関する研究, 佐藤(代表)
- 「国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について, 佐藤(分担)

#### 藤田 貴子

- 「基盤研究(B)」パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明, 藤田(代表)

#### 長友 恵莉

- 「基盤研究(C)」予防接種時の子どもの抑制に関する小児看護師の判断基準, 長友(代表)

杉浦 圭子

- 「基盤研究(C)」複合的課題を有する高齢者の社会的孤立解消の効果的・効率的支援の構築に関する研究, 杉浦(代表)
- 「基盤研究(C)」痛みやしびれに対するケア技術の開発と循環型情報提供システムの構築に関する研究, 杉浦(分担)

池田 すばる

- 「厚生労働行政推進調査事業費」地域において安心して妊娠・子育てが可能となる安全な周産期医療体制の構築のための政策研究, 池田(分担)
- 「若手研究」妊娠・健康指標の改善に向けたプレコンセプション・ヘルス・チェックリストの開発, 池田(代表)
- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について, 池田(分担)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Masuda Yoshiro, Obata Satoshi, Kondo Takuya, Fukuta Atsuhisa, Kawakubo Naonori, Yanagi Yusuke, Nagata Kouji, Miyata Junko, Matsuura Toshiharu, Tajiri Tatsuro: A Retrospective Review of the Clinical Picture of Acute Epididymitis: With Special Attention to Testicular Atrophy, *Journal of the Japanese Society of Pediatric Surgeons*, 60, 2, 2024年4月.
- Naoko Hikita, Ritsuko Iso, Kiyoko Mizuhata, Hiroko Arai, Akemi Isoyama: Impact of altered gestational weight gain guidelines on midwives in Japan: A cross-sectional study, *Journal of Nursing Education and Practice*, 14, 8, 2024年4月.
- Obata S, Nagata K, Suematsu S, Nishiyama K, Okabe Y, Kondo T, Maniwa J, Fukuta A, Kawakubo N, Yanagi Y, Miyata J, Matsuura T, Ohga S, Nakamura M, Tajiri T: The Effectiveness of Deflux® Treatment for Vesicoureteral Reflux Following Pediatric Renal Transplantation: A Single-Institution Challenging Experience, *Journal of Pediatric Surgery*, 59, 4, 2024年4月.
- Takako Fujita, Miho Iwaki, Yoko Hatono: The role of nurses for patients with Parkinson's disease at home: a scoping review, *BMC Nursing*, 23, 1, 2024年5月.
- Furusho M, Noda M, Sato Y, Suetsugu Y, Morokuma S: Association Between Gestational Weeks, Initial Maternal Perception of Fetal Movement, and Individual Interoceptive Differences in Pregnant Women: Cross-Sectional Study., *Asian/Pacific Island nursing journal*, 8, 2024年6月.

- Kinjo Y, Shibata E, Askew DJ, Tanaka R, Suga R, Shimono M, Sakuragi T, Morokuma S, Ogawa M, Sanefuji M, Hamada N, Ochiai M, Ohga S, Tsuji M, Kusahara K, Yoshino K: Association of placental weight at birth with maternal whole blood concentration of heavy metals (cadmium, lead, mercury, selenium, and manganese): The Japan Environment and Children's Study (JECS), *Environment International*, 188, 2024 年 6 月.
- Nishida N, Maeda Y, Ueki S: Experiences of school-age children living with food allergies: a qualitative systematic review protocol., *JBI evidence synthesis*, 22, 9, 2024 年 6 月.
- Yuki Maeda, Shingo Ueki, Mami Takagaki, Yuichi Fujita: Nursing Activities in Discharge Planning for Difficult-to-Discharge Pediatric Patients, *The Journal of Education and Health Science*, 69, 4, 2024 年 6 月.
- Sakura Koga, Naoko Hikita: Factors affecting the quality of life of Japanese women undergoing infertility treatment: A literature review, *Journal of Japan Academy of Midwifery*, 2024 年 6 月.
- Takao K, Ueki S, Kabayama M: Systematizing Complaints About Healthcare and Services at University Hospitals: Content Analysis of Patient/Family Letters, *Journal of Patient Experience*, 11, 2024 年 6 月.
- Satoshi Ikeda, Makoto Masumitsu, Satomi Aomoto, Masanori Yamashita, Haruka Kakeda, Eri Nagatomo, Yukiko Kiyota, Michiko Matsueda, Hikaru Hori: COVID-19 パンデミック禍の病院看護スタッフにみられる組織的公正性と重度精神的苦痛との関連性 横断研究(Association between organizational justice and serious psychological distress among hospital nursing staff during the COVID-19 pandemic: A cross-sectional study), *Japan Journal of Nursing Science*, 21, 3, 2024 年 7 月.
- Noda Y, Koga Y, Yamamura K, Miyata J, Hamada Y, Ohga S: Cyclophosphamide exposure factors in family caregivers for pediatric cancer patients, *International Journal of Hygiene and Environmental Health*, 260, 2024 年 7 月.
- Kubo A, Sakai K, Ueki S, Fujita K: Effect of perioperative oral care on postoperative infections in patients with cancer: A systematic review and meta-analysis, *Japan Journal of Nursing Science*, 21, 3, 2024 年 7 月.
- Matsunaka E, Ooshige N, Ueki S, Morokuma S: Effectiveness of preventive parental education delivered from pregnancy to 1 month postpartum for improving infant sleep and parental sleep and depression: a systematic review protocol, *JBI Evidence Synthesis*, 22, 7, 2024 年 7 月.
- Kalim AS, Nagata K, Toriigahara Y, Shirai T, Kirino K, Xiu-Ying Z, Kondo T, Kawakubo N, Miyata J, Matsuura T, Tajiri T: A *lmod1a* mutation causes megacystis microcolon intestinal hypoperistalsis in a CRISPR/Cas9-modified zebrafish model, *Pediatric Surgery International*, 40, 1, 2024 年 8 月.
- Kikuchi K, Michikawa T, Morokuma S, Hamada N, Ikeda S, Shimada Y, Kato K, Ochiai M, Tsuji M, Shimono M, Yoshino K, Suga R, Kawamoto T, Ohga S, Kamijima M, Yamazaki S, Ohya Y, Kishi R, Yaegashi N, Hashimoto K, Mori C, Ito S, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Sobue T, Shima M, Kageyama S, Suganuma N, Katoh T: Infants' early recovery

- from sleep disturbance is associated with a lower risk of developmental delay in the Japan Environment and Children's Study, *Scientific Reports*, 14, 1, 2024 年 8 月.
- Islam R, To S, Izukura R, Sato Y, Nishikitani M, Kikuchi K, Yokota F, Ikeda S, Jahan N, Ahmed A, Miyazaki M, Nakashima N: Performance Evaluation of Commonly Used Portable Hemoglobin Sensors in Comparison to Clinical Test Results, *Studies in health technology and informatics*, 316, 2024 年 8 月.
  - Miyata J, Hamada Y, Hayashishita S, Fujita A, Izaki T, Obata S, Kondo T, Fukuta A, Kawakubo N, Nagata K, Tamaki A, Maniwa J, Takahashi Y, Matsuura T, Taguchi T, Tajiri T: Qualitative inductive analysis of the lives of women with persistent cloaca based on their narratives, *Pediatric Surgery International*, 40, 1, 2024 年 8 月.
  - Maruf R.I., Tou S., Izukura R., Sato Y., Nishikitani M., Kikuchi K., Yokota F., Ikeda S., Islam R., Ahmed A., Miyazaki M., Nakashima N.: An evaluation of the commonly used portable medical sensors performance in comparison to clinical test results for telehealth systems, *Computer Methods and Programs in Biomedicine Update*, 5, 2024 年 8 月.
  - Kazutaka Kuramoto, Norio Hamada, Keiko Kawamura, Katsuko Egashira, Seiichi Morokuma, Misako Otsuka, Naomi Yoshioka, Takeshi Kuramoto, Kiyoko Kato: Endometrial pattern predicts pregnancy outcome in single-blastocyst frozen-embryo transfer: An analysis of 1383 cycles, *Reproductive Medicine and Biology*, 23, 1, 2024 年 9 月.
  - Koto Y, Tanaka M, Ueki S, Niinomi K.: Experiences of siblings of children with profound intellectual and multiple disabilities: a qualitative systematic review protocol., *JBI evidence synthesis*, 22, 12, 2024 年 9 月.
  - Murayama H, Nakamoto I, Takase M, Sagara T, Sugiura K, Higashi K, Fujiwara Y: Older assistant care workers as late-life employment in Japan: Perceived benefits from work and emotional exhaustion., *Geriatrics & Gerontology*, 24, 51, 2024 年 9 月.
  - Oguchi S, Ishikawa T, Hanai A, Kato D, Itakura S, Okuno A, Watanabe M, Morokuma S, Konishi Y, Kitadai Y, Kasahara Y, Kimura Y, Mogami H, Sakurada K, Kawakami E: Paediatric sleep dynamics: A comprehensive analysis of diurnal and day-to-day variations using unsupervised machine learning, *Journal of Sleep Research*, 33, 2024 年 9 月.
  - Hatono Y, Suzuki H, Shimazu T: Developing a Scale to Measure Public Health Nurses' Advocacy Practices in Group and Community Settings in Japan., *Public health nursing (Boston, Mass.)*, 40, 3, 2024 年 11 月.
  - Ueki S, Kumagai Y, Hirai Y, Nagatomo E, Miyauchi S, Inoue T, An Q, Tashiro E, Miyata J: Effectiveness of Watching a Kumagai Method Video for Long-Nipple Bottle-Feeding for Children with Cleft Lip and Palate: A Pilot Experimental Before-After Trial Study, *Children-Basel*, 11, 11, 2024 年 11 月.
  - Tashiro E, Ueki S, Nagatomo E, Miyata J: Nurses' Techniques for Bottle-Feeding of Infants with Feeding Difficulties: A Qualitative Descriptive Study, *Nutrients*, 16, 21, 2024 年 11 月.
  - Masami Nagao, Naoko Hikita, Kimiko Murakami, Yoshiko Suetsugu, Hiromi Matsufuji, Yoko Sato, Kimiyo Kikuchi, Seiichi Morokuma: A current situation and factors related to

- preconception care health literacy among men visiting an infertility clinic in Japan: A cross-sectional study, *日本助産学会誌*, 38, 3, 2024 年 12 月.
- Nakamura K, Hamada Y, Fujita A, Morokuma S: Factors That Affect the Quality of Life of Mothers Caring for Children With Medical Needs at Home: Cross-Sectional Questionnaire Study., *Asian/Pacific Island nursing journal*, 8, 2024 年 12 月.
  - Ihara N, Sato Y, Ikeda S, Matsufuji H, Kikuchi K, Suetsugu Y, Hikita N, Morokuma S: Impact of premenstrual syndrome and premenstrual dysphoric disorder on maternal antenatal depression., *Plos One*, 19, 12, 2024 年 12 月.
  - Shingo Ueki, Yukari Kumagai, Yumi Hirai, Eri Nagatomo, Shoko Miyauchi, Takuro Inoue, Qi An, Eri Tashiro, Junko Miyata: The Kumagai Method: Feeding Techniques Using the Pigeon Baby Cleft Palate Bottle, *Nursing Reports*, 14, 4, 2024 年 12 月.
  - Eri Nagatomo, Shingo Ueki, Junko Miyata: Practices and issues of pediatric nursing support toward children with cancer returning to school, *Journal of Japanese Society of Child Health Nursing*, 33, 2024 年 12 月.
  - Morokuma S, Saitoh T, Kanegae M, Motomura N, Ikeda S, Niizeki K: Prediction of ECG signals from ballistocardiography using deep learning for the unconstrained measurement of heartbeat intervals, *Scientific Reports*, 15, 1, 2025 年 1 月.
  - Kishino S, Yonezawa K, Haruna M, Usui Y, Sasaki S, Fujita M, Matsuzaki M, Sato Y, Suetsugu Y, Ohori R, Tanaka M, Aoyama S.: Relationship between maternal egg consumption during lactation and the risk of developing egg allergies in 12-month-old infants: A multicenter cohort study., *Japan Journal of Nursing Science*, 22, 1, 2025 年 1 月.
  - Fujita A, Ueki S, Moriguchi H, Hamada Y, Sasazuki M: A Systematic Review of Grief Experiences of Children Who Have Lost a Sibling, *Journal of Palliative Medicine*, 2025 年 2 月.
  - Keiko Nakano, Moeko Tanaka, Nao Nishihara, Yuriko Usui, Kaori Yonezawa, Naoko Hikita, Emi Tahara-Sasagawa, Satoshi Sasaki, Takeshi Nagamatsu, Megumi Haruna, Tokyo Area Members Of The J-Peach Study Group As Of-: Association of Overnight Fasting Duration and Meal Frequency with Glucose and Lipid Metabolism During Pregnancy: A Cross-Sectional Study., *Nutrients*, 17, 5, 2025 年 2 月.
  - Fujitsuka M, Takao K, Ueki S, Morokuma S: Early introduction of oral feeding and its impact on full oral feeding and discharge in preterm infants: a systematic review protocol, *JBIC Evidence Synthesis*, 23, 2, 2025 年 2 月.
  - Fumihiko Yokota, Rishaini Elengovan, Nicholas Pang Tze Ping, Helen Benedict Lasimbang, Akane Anai, Rafiqul Islam, Mariko Nishikitani, Kimiyo Kikuchi, Yoko Sato, Subaru Ikeda, Ashir Ahmed, Naoki Nakashima: Epidemiology of obesity, hypertension, and type 2 diabetes among voluntary health checkup participants in districts of Sabah, Malaysia, *基幹教育紀要*, 11, 2025 年 2 月.
  - Nishikii Y, Suetsugu Y, Yamashita H, Yoshida K.: Recurrence and chronicity of bonding disorders diagnosed using the structured interview: case report., *Frontiers in Psychology*, 10, 15, 2025 年 2 月.

- Aoyama S, Haruna M, Yonezawa K, Tahara-Sasagawa E, Usui Y, Ohori R, Tanaka M, Fujita M, Matsuzaki M, Suetsugu Y, Sato Y, Takeuchi A.: "Factors Associated With Inadequate Gestational Weight Gain: A Prospective Multicenter Cohort Study., *Nursing and Health Sciences*, 27, 1, 2025 年 3 月.
  - Junnosuke Maniwa, Naonori Kawakubo, Akihiko Tamaki, Kondo Takuya, Yoshiaki Takahashi, Atsuhisa Fukuta, Koichiro Yoshimaru, Kouji Nagata, Junko Miyata, Toshiharu Matsuura, Tatsuro Tajiri: Postoperative bile leaks did not affect the survival of hepatoblastoma but were associated with long-term complications: retrospective case-control study, *International Journal of Surgery Oncology*, 10, 1, 2025 年 3 月.
  - 増田 吉朗, 小幡 聡, 近藤 琢也, 福田 篤久, 川久保 尚徳, 柳 佑典, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 急性精巣上体炎の臨床像の後方視的検討 精巣萎縮に注目して, *日本小児外科学会雑誌*, 60, 2, 2024 年 4 月.
  - 宮田 潤子, 橋口 暢子, 金岡 麻希, 濱田 正美, 貝沼 茂三郎, 樗木 晶子: 看護師の漢方医学への関心度の高さに関連する因子の検討 看護師に対する漢方教育の拡充に必要なこととは?, *看護と口腔医療*, 7, 2, 2024 年 10 月.
  - 長友 恵莉, 植木 慎悟, 宮田 潤子: 小児がん患者の復学に向けた小児病棟看護師の支援の実施状況と課題, *日本小児看護学会誌*, 33, 2024 年 12 月.
- 大学・研究機関などの刊行誌 なし
  - 調査研究報告 なし
  - 国内学会での講演, 発表
    - 諸隈誠一: 母子をとりまく生活環境(母子の睡眠を中心とした生活環境について), 母子保健セミナー, 2024 年 4 月, 福岡市.
    - 永田公二, 近藤琢也, 福田篤久, 鳥井ヶ原幸博, 川久保尚徳, 馬庭淳之介, 玉城昭彦, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 18trisomy 児における外科手術の現状と課題, 第 124 回日本外科学会定期学術集会, 2024 年 4 月, 愛知県.
    - 福田篤久, 近藤琢也, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 川久保尚徳, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 医工連携による内視鏡手術トレーニングシミュレータ開発の変遷—新たな外科教育システムの確立に向けて, 第 124 回日本外科学会定期学術集会, 2024 年 4 月, 愛知県.
    - 馬庭 淳之介, 川久保 尚徳, 玉城 昭彦, 近藤 琢也, 福田 篤久, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 学生目線の実習による小児外科医リクルートへの取り組み, 第 124 回日本外科学会定期学術集会, 2024 年 4 月, 名古屋市.
    - 福田 篤久, 近藤 琢也, 馬庭 淳之介, 玉城 昭彦, 川久保 尚徳, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 小児外科における医工連携 医工連携による内視鏡手術トレーニングシミュレータ開発の変遷 新たな外科教育システムの確立に向けて, 第 124 回日本外科学会定期学術集会, 2024 年 4 月, 名古屋市.

- 近藤琢也, 宮田潤子, 馬庭淳之介, 玉城昭彦, 福田篤久, 川久保尚徳, 永田公二, 松浦俊治, 田尻達郎: 小児外科における六君子湯の適応と安全性の検討, 第 124 回日本外科学会定期学術集会, 2024 年 4 月, 名古屋市.
- 川久保尚徳, 馬庭淳之介, 玉城昭彦, 福田篤久, 近藤琢也, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 小児左副腎領域腫瘍に対する腹腔鏡下前方アプローチに関する後方視的検討, 第 124 回日本外科学会定期学術集会, 2024 年 4 月, 名古屋市.
- 熊谷 由加里, 平井 優美, 植木 慎悟, 長友 恵莉, 古郷 幹彦, 田中 晋: 片側性唇顎口蓋裂児に対する哺乳方法(熊谷メソッド)の検証, 第 48 回日本口蓋裂学会雑誌, 2024 年 4 月, 名古屋.
- 城田千代栄, 井上幹大, 大場豪, 小川雄大, 小坂太一郎, 小林めぐみ, 坂井幸子, 照井エレナ, 宮田潤子, 横田一樹, 尾花和子: ワーク・ライフ・バランス検討委員会(WLB 委員会)からの報告, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 小笠原 史士, 福井 美苗, 北尾 美香, 植木 慎悟, 藤田 優一: 感染対策を考慮した子どもの権利を擁護するための支援、付き添い者の負担軽減をするための支援 病棟形態別の実施可能率の比較, 第 71 回小児保健研究, 2024 年 5 月, 北海道.
- 植木慎悟, 熊谷由加里, 平井優美, 長友恵莉, 田代恵理, 宮田潤子, 田尻達郎: 口唇口蓋裂の児に特化した哺乳方法 熊谷メソッドの手技について, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 馬庭 淳之介, 川久保 尚徳, 玉城 昭彦, 近藤 琢也, 高橋 良彰, 福田 篤久, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 小児がん患者の晩期 QOL に繋がる現在の治療 肝芽腫術後長期合併症の検討 数十年後の QOL を考えて, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 木下晴貴, 松崎和夏, 宮崎萌子, 劉紫萱, 永田公二, 秋田直繁, 工藤孔梨子, 富松俊太, 松隈浩之, 平井康之, 馬庭淳之介, 宮田潤子, 田尻達郎: 小児外科の待合室におけるパーソナルスペース確保のためのパーテーションデザイン, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 川久保 尚徳, 馬庭 淳之介, 玉城 昭彦, 近藤 琢也, 高橋 良彰, 福田 篤久, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 小児固形悪性腫瘍を対象とした NK 細胞様 CD3 陰性細胞 (GAIA-102)Phase I 試験の経験, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 福原雅弘, 川久保尚徳, 濱田 洋, 日野祐子, 玉城昭彦, 馬庭淳之介, 近藤琢也, 高橋良彰, 福田篤久, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 針生検にて診断を行った消化管原発悪性リンパ腫の 2 例, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 福田篤久, 永田公二, 近藤琢也, 玉城昭彦, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 先天性横隔膜ヘルニアに対する胸腔鏡手術の安全性と有用性の検証, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 近藤琢也, 永田公二, 福田篤久, 馬庭淳之介, 玉城昭彦, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 先天性横隔膜ヘルニア術後の呼吸機能予後に関する検討, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.

- 濱田 洋, 川久保尚徳, 福原雅弘, 日野祐子, 馬庭淳之介, 玉城昭彦, 近藤琢也, 高橋良彰, 福田篤久, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 線維形成性小円形細胞腫瘍の 2 例, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 宮田潤子, 濱田裕子, 林下里見, 藤田紋佳, 伊崎智子, 小幡聡, 近藤琢也, 福田篤久, 川久保尚徳, 永田公二, 玉城昭彦, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 松浦俊治, 田口智章, 田尻達郎: 総排泄腔遺残とともに生きる女性の体験とは～当事者の語りによる質的記述的研究～, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 永田 公二, 近藤 琢也, 福田 篤久, 鳥井ヶ原 幸博, 高橋 良彰, 玉城 昭彦, 馬庭 淳之介, 川久保 尚徳, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 短腸症候群 6 例に対する GLP-2 アナログ製剤の投与効果に関する検討, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 田中 悠一朗, 川久保 尚徳, 馬庭 淳之介, 玉城 昭彦, 近藤 琢也, 高橋 良彰, 福田 篤久, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 腸重積症を契機に発見された悪性リンパ腫症例の後方視的検討, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 永田 公二, 近藤 琢也, 福田 篤久, 鳥井ヶ原 幸博, 高橋 良彰, 玉城 昭彦, 馬庭 淳之介, 川久保 尚徳, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 当院 NICU の POCC 挿入患者におけるカテーテル被覆・保護剤 Secure Port IV の使用経験, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 工藤孔梨子, 永田公二, 秋田直繁, 馬庭淳之介, 宮田潤子, 松隈浩之, 平井康之, 森山智彦, 田尻達郎: 当院の小児外来待合に関するデザイン思考を用いた課題抽出, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 邱俊盛, Zachary Arani, 秋田直繁, 松隈浩之, 富松俊太, 平井康之, 徳久悟, 工藤孔梨子, 永田公二, 馬庭淳之介, 宮田潤子, 田尻達郎: 当院小児外科外来における待ち時間解消のためのデジタルデザイン介入, 第 61 回日本小児外科学会学術集会, 2024 年 5 月, 福岡市.
- 宮田潤子: 「総排泄腔遺残」とともに生きる女性たちのサポートに必要なことは?, 第 59 回日本小児腎臓病学会学術集会, 2024 年 6 月, 福岡市.
- 執行 美帆, 植木 慎悟, 長友 恵莉, 田代 恵理, 宮田 潤子: 2 歳から 7 歳の子どもにおける気質の類型化, 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 6 月, 大阪府.
- Fujita Yuichi, Fukui Minae, Ogasawara Hitoshi, Kitao Mika, Ueki Shingo: デルファイ法調査の実施 感染管理と子どもの権利保護を重視し親の負担を軽減するための支援戦略の検討 (Conducting a Delphi Technique Survey: Exploring Support Strategies to Alleviate Parental Burden, Emphasizing Infection Control and Safeguarding Children's Rights), 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 6 月, 大阪府.
- 宮田潤子, 貝沼茂三郎, 中原真希子, 島添隆雄, 近藤琢也, 入江敬子, 田尻達郎: 九州大学における漢方医学教育の取り組みについて～多学部・多学科共通授業を中心に～, 第 74 回日本東洋医学会学術総会, 2024 年 6 月, 大阪市.
- 植木 慎悟, 長友 恵莉, 熊谷 由加里, 平井 優美, 田代 恵理, 宮田 潤子: 口唇口蓋裂児に対して細口哺乳器を用いた哺乳方法(熊谷メソッド)の解明 哺乳中の児の動きへの対処方法, 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 6 月, 大阪.

- Kitao Mika, Ogasawara Hitoshi, Fukui Minae, Ueki Shingo, Fujita Yuichi: 子どもの入院環境における病棟ごとの違い(Ward-specific Differences in Pediatric Hospitalization Environments), 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 6 月, 大阪.
- 田代 恵理, 植木 慎悟, 熊谷 由加里, 平井 優美, 長友 恵莉, 宮田 潤子: 哺乳困難な新生児に対する医療者の哺乳の援助方法の実態, 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 6 月, 大阪府.
- 川久保尚徳, 馬庭淳之介, 近藤琢也, 高橋良彰, 福田篤久, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: シロリムスと越婢加朮湯の併用療法を行ったリンパ管奇形 2 例の報告, 第 20 回日本血管腫血管奇形学会学術集会, 2024 年 7 月, 新潟県.
- 長友恵莉, 植木慎悟, 熊谷由加里, 平井優美, 田代恵理, 宮田潤子: 口唇口蓋裂児に対して細口哺乳器を用いた哺乳方法(熊谷メソッド)の解明 児が哺乳前に示す望ましくない行動への対処方法, 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 7 月, 大阪.
- 植木慎悟, 熊谷由加里, 平井優美, 長友恵莉, 田代恵理: 口唇口蓋裂児の経口哺乳を可能にする方法 -細口乳首版「熊谷メソッド」の手順と対処-, 日本小児看護学会第 34 回学術集会, 2024 年 7 月, 大阪.
- 近藤琢也, 永田公二, 福田篤久, 馬庭淳之介, 玉城昭彦, 高橋良彰, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 小児短腸症患者に対する GLP-2 アナログ製剤の有用性, 第 61 回日本外科代謝栄養学会学術集会, 2024 年 7 月, 大阪府.
- 永田公二, 近藤琢也, 福田篤久, 谷口直之, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 新生児外科疾患 -術後の QOL と長期予後- 当科で治療を行った先天性腹壁異常の長期予後, 第 60 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2024 年 7 月, 大阪府.
- 近藤琢也, 永田公二, 福田篤久, 高橋良彰, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 先天性横隔膜ヘルニアの就学時の神経学的予後に関する検討, 第 60 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2024 年 7 月, 大阪府.
- 永田公二, 入江敬子, 近藤琢也, 福田篤久, 川久保尚徳, 日野祐子, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 当科で経験した膀胱尿管逆流に対する内視鏡下逆流防止術の治療効果に関する検討, 第 33 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会, 2024 年 7 月, 茨城県.
- 福田篤久, 永田公二, 近藤琢也, 玉城昭彦, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 当科における先天性横隔膜ヘルニアに対する胸腔鏡手術の検証, 第 60 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2024 年 7 月, 大阪府.
- 永田公二, 入江敬子, 近藤琢也, 福田篤久, 川久保尚徳, 日野祐子, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 当科における膀胱尿管逆流症に対する内視鏡下逆流防止術の治療経験, 第 33 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会, 2024 年 7 月, 水戸市.
- 高橋良彰, 馬庭淳之介, 近藤琢也, 福田篤久, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 腹腔内リンパ管奇形の経験, 第 20 回日本血管腫血管奇形学会学術集会, 2024 年 7 月, 新潟県.
- 守屋普久子, 柏木孝仁, 角間辰之, 小原仁, 黒木祥光, 石田万里, 片岡仁美, 城戸瑞穂, 宮田潤子, 石竹達也: ライフイベントが医師のモチベーションに与える影響 キャリア年数との関連性, 第 56 回日本医学教育学会大会, 2024 年 8 月, 東京都.

- 執行美帆, 長友恵莉, 稲光毅, 河口麻美, 石崎義人, 黒川未佳, 田代恵理, 宮田潤子, 植木慎悟: 予防接種時における児の痛み対処行動を予測する行動分析, 第 33 回日本外来小児科学会年次集会, 2024 年 9 月, 岐阜県.
- 永田公二, 宮里 綾, 近藤琢也, 福田篤久, 高橋良彰, 馬庭淳之介, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: IVR と外科治療のハイブリッド治療により腎機能温存しえた外傷性腎損傷Ⅲb の 1 例, PSJM2024, 2024 年 10 月, 東京都.
- 宮田潤子, 近藤琢也, 入江敬子, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 福田篤久, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 永田公二, 松浦俊治, 貝沼茂三郎, 田尻達郎: 小児がんサバイバーの諸症状に対して漢方治療介入を行った 4 例, 第 28 回日本小児外科漢方研究会, 2024 年 10 月, 東京都.
- 古賀友紀, 野田優子, 上田圭希, 山村健一郎, 宮田潤子, 濱田裕子, 大賀正一: 小児がん病棟における療養環境および患者家族の抗がん剤曝露に関する研究, 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月, 京都府.
- 前野 有佳里, 宗 亜里紗, 木藤 孝祐: 生活保護受給者における孤立の関連要因の検討, 第 83 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 2024 年 10 月, 札幌市.
- 永田公二, 近藤琢也, 福田篤久, 玉城昭彦, 馬庭淳之介, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 短腸症候群 7 例に対する GLP-2 アナログ製剤の投与効果に関する検討, 第 53 回日本小児外科代謝研究会, 2024 年 10 月, 東京都.
- 福田篤久, 馬庭淳之介, 近藤琢也, 高橋良彰, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 中間位鎖肛に対する PSARP の術後排便機能の検討, 第 80 回直腸肛門奇形研究会, 2024 年 10 月, 東京都.
- 馬庭淳之介, 川久保尚徳, 近藤琢也, 高橋良彰, 福田篤久, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 腹腔鏡併用仙尾部腫瘍切除の適応限界, 第 43 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 2024 年 10 月, 東京都.
- 吉里 倫, 本村 良知, 藤田 貴子, 馬場園 明, 大賀 正一: RS ウイルス及びヒトメタニューモウイルス感染後の児における受動喫煙と気管支喘息との関連性, 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会プログラム・抄録集, 2024 年 11 月, 長崎県長崎市.
- ISLAM Rafiqul, To Saori, Izukura Rieko, Sato Yoko, Nishikitani Mariko, Yokota Fumihiko, Kikuchi Kimiyo, Ikeda Subaru, Ahmed Ashir, Miyazaki Masashi, Nakashima Naoki: 携帯型医療機器の性能評価 ヘモグロビンセンサーと尿酸センサーの比較研究(Performance Evaluation of Portable Medical Devices: A Comparative Study of Hemoglobin and Uric Acid Sensors), 第 44 回医療情報学連合大会論文集, 2024 年 11 月, 福岡市.
- 近藤琢也, 永田公二, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 福田篤久, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 非結核性抗酸菌によるカテーテル関連血流感染を来した腸管神経節 細胞僅少症の一例, 第 20 回日本在宅静脈経腸栄養研究会学術集会, 2024 年 11 月, 福岡県.
- 川久保尚徳, 馬庭淳之介, 近藤琢也, 高橋良彰, 福田篤久, 吉丸耕一朗, 永田公二, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 臨床・研究・教育の3輪を走らせるためにできること～小児外科医として父として夫として～, 第 86 回日本臨床外科学会学術集会, 2024 年 11 月, 宇都宮市.

- 岩木三保, 野正佳余, 中井三智子, 原田幸子, 関本聖子, 川田明広, 下畑享良: 難病医療に携わるコーディネーターの学習ニーズの抽出とプログラム作成, 第 12 回日本難病医療ネットワーク学会学術集会, 2024 年 11 月, 青森県.
- 岩木三保, 野正佳余, 中井三智子, 原田幸子, 関本聖子, 川田明広, 下畑享良: 難病医療に携わるコーディネーター・学習プログラムの利用方法について, 第 12 回日本難病医療ネットワーク学会学術集会, 2024 年 11 月, 青森県.
- 酒井久美子, 久保葵, 手柴萌, 荒木菜結, 藤岡智恵子, 渡邊則子, 藤田君支: 高齢口腔がん患者の口腔関連 QOL の変化と術後の症状・思い, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本.
- 福田篤久, 永田公二, 近藤琢也, 玉城昭彦, 馬庭淳之介, 高橋良彰, 川久保尚徳, 宮田潤子, 松浦俊治, 田尻達郎: 当科における先天性横隔膜ヘルニアに対する胸腔鏡手術の現状, 第 37 回日本内視鏡外科学会総会, 2024 年 12 月, 福岡県.
- 渡邊則子, 藤田君支, 酒井久美子, 松村美奈, 久保葵, 永渕美佳, 池田大作, 四ヶ所美穂, 小野綺華: 頭頸部がん術後の看護師による口腔ケア実施と術後感染の発症と関連について, 第 44 回日本看護科学学会学術集会, 2024 年 12 月, 熊本市.
- 大重育美, Matsunaka Eriko, Ueki Shingo: 妊娠中の看護師のシフト勤務経験 質的系統的レビュー(Pregnant nurses' experiences of working shifts: a qualitative systematic review), 第 44 回日本看護科学学会学術集会講演集, 2024 年 12 月, 熊本市.
- 寺岡佐和, 鳩野洋子: The impact on community residents' understanding of dementia: Through collaborative horticultural activities with older individuals with dementia, International Conference Triple Burdens of Diseases, 2025 年 1 月, Bangkok.
- 藤田貴子, 岩木三保, 鳩野洋子: 介護 DB を使用したパーキンソン病関連疾患患者の居住形態と日常生活・医療処置状況の評価, 第 13 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2025 年 1 月, 愛知県名古屋市.
- Inoue T, Miyauchi S, An Q, Ueki S, Nagatomo E, Kumagai Y, Hirai Y, Tashiro E, Kurazume R.: Construction of Quantitative Assessment Index for Infant-holding Postures During Bottle-feeding., 2025 IEEE/SICE International Symposium on System Integration (SII) , 2025 年 1 月, ドイツ.
- 酒井久美子, 姫野稔子: Oral Health Improvements through Gel-based Oral Care among Bedridden Older Adults, Triple Burdens of Diseases: Nurse-Led Game Changer to Optimize the Outcomes of Care(TBD2025), 2025 年 1 月, バンコク.
- Miho Iwaki, Kayo Nomasa, Michiko Nakai, Yukiko Harada, Seiko Sekimoto, Akihiro Kawata, Takayoshi Shimohata: Development of a Learning Program for Intractable Diseases Coordinators in Japan, Triple Burdens of Diseases: Nurse-Led Game Changer to Optimize the Outcomes of Care(TBD2025), 2025 年 1 月, バンコク.

#### ○ 学会以外での講演・発表

- 宮田潤子: 当院小児漢方外来での漢方治療について, 日常診療で役立つ漢方ミニレクチャー, 2024 年 5 月, 福岡市.

- 宮田潤子: 明日の診療に役立つ漢方の基本と+α, 九大病院グランドラウンド, 2024年12月, 福岡市.
- 宮田潤子: 漢方医学の基本を学ぼう①～証をわかるようになろう～, 漢方医に学ぶ実技セミナー～証の取り方と処方を選び方～, 2025年2月, 福岡市.
- 宮田潤子: “喜びすぎる”児の漢方治療の疑問～足すのか?引くのか?～, 第5回小児漢方わかる会, 2025年2月, 広島市.

## 著作

### 2. 単行本 なし

### 3. 総説

- 長友 恵莉, 植木 慎悟, 宮田 潤子: (共著)小児がん患者の復学に向けた小児病棟看護師の支援の実施状況と課題, 2024年4月, 日本小児看護学会誌.
- 植木 慎悟: (単著)【小児看護の“いま”と出逢う～多様な知識と研究・活動～】英文論文への挑戦 英文論文を執筆する理由と経験,その波及効果, 2024年7月, 小児看護.
- 永田 公二, 近藤 琢也, 福田 篤久, 谷口 直之, 川久保 尚徳, 吉丸 耕一郎, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田口 智章, 田尻 達郎: (共著)【Hirschsprung 病類縁疾患-診断・治療最前線-】Intestinal neuronal dysplasia (IND) 治療, 2024年12月, 小児外科.
- 宮田 潤子, 貝沼 茂三郎, 近藤 琢也, 福田 篤久, 入江 敬子, 馬庭 淳之介, 田尻 達郎: (共著)【漢方で支える子どものQOL】便秘の漢方治療, 2025年3月, 小児内科.

### 4. 解説, 書評など

- 寺岡 佐和: (共著)2025年版 保健師国家試験問題集, 2024年4月, 医学書院.

受賞 なし

報道 なし

## 4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

### 5. 特記すべきその他の技術相談

宮田 潤子 (株)有菌製作所に医療機器開発の技術相談

## 5. 国際交流・協力活動

### 1. 海外出張・研修出張

- 疋田 直子, モンゴル国立医科大学ダルハンオール校, 2025 年 3 月
- 植木 慎悟, 全インド医科大学, 2025 年 3 月
- 佐藤 洋子, バングラデシュ Holy Family Red Crescent Medical College Hospital 他, 2024 年 4 月
- 藤田 貴子, カロリンスカ研究所・カロリンスカ大学病院, 2024 年 12 月

### 2. 外国人研究者の受入れ なし

### 3. 留学生の受入れ なし

### 4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 寺岡 佐和, 教育における安全管理専門委員会委員.

### 2. 部局委員

- 諸隈 誠一, 副医学研究院長.
- 寺岡 佐和, 医系地区部局観察研究倫理審査委員会委員.

### 3. 部門・コース内委員

- 鳩野 洋子, 年報委員会.
- 鳩野 洋子, 大学院委員.
- 鳩野 洋子, 担任.
- 諸隈 誠一, 保健学部門長.
- 寺岡 佐和, 副分野長.
- 寺岡 佐和, 人事委員会・教員活動評価委員会委員.
- 寺岡 佐和, 入学試験実施委員会副委員長.
- 寺岡 佐和, 担任.
- 疋田 直子, 国際教育ナビゲーションセンター委員会.
- 植木 慎悟, 担任.
- 植木 慎悟, 看護研究委員会.
- 植木 慎悟, 実習委員会.
- 植木 慎悟, 親睦会.
- 前野 有佳里, 担任.
- 前野 有佳里, 地域国際・FD 連携委員.
- 宮田 潤子, 学生委員会.
- 末次 美子, 担任.
- 末次 美子, 大学院生室係.

- 岩木 三保, 担任.
- 岩木 三保, 実習委員会.
- 岩木 三保, 教務委員会.
- 酒井 久美子, 担任.
- 酒井 久美子, 実習委員会.
- 酒井 久美子, 看護研究委員会.
- 佐藤 洋子, KiteNet・支線 LAN 管理担当.
- 佐藤 洋子, 年報委員会.
- 佐藤 洋子, データ駆動イノベーション推進本部「健康医療 DX 推進部門」.
- 藤田 貴子, 実習委員会.
- 長友 恵莉, 広報委員会.
- 松藤 尋幹, 看護学分野国際 WG.
- 松藤 尋幹, 実習委員会.
- 松藤 尋幹, 担任.

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 寺岡 佐和, 令和 6 年度 地域包括支援センター後半研修 第 10 回研修会, 講演会.
- 植木 慎悟, 横浜市立大学大学院医学研究科小児看護学分野, 非常勤講師.
- 植木 慎悟, 関西医科大学, FD 研修会講師.
- 植木 慎悟, 愛知県立大学, FD 研修会講師.
- 前野 有佳里, 認定看護管理者研修ファーストレベル, 研修講師.
- 前野 有佳里, 福岡県地域保健従事者中堅期研修, 研修講師.
- 前野 有佳里, 福岡県地域保健従事者新任研修, 研修講師.
- 岩木 三保, 福岡国際医療福祉大学, 非常勤講師.

### 2. 学協会

- 鳩野 洋子, 日本地域看護学会, 表彰論文選考委員会委員長.
- 鳩野 洋子, 全国保健師教育機関協議会, 査読委員.
- 鳩野 洋子, 日本公衆衛生看護学会, 倫理委員会委員長.
- 鳩野 洋子, 日本地域看護学会, 理事.
- 鳩野 洋子, 保健師教育, 査読委員.
- 鳩野 洋子, 日本看護科学学会, 査読委員.
- 鳩野 洋子, 日本看護研究学会誌, 査読委員.
- 鳩野 洋子, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員.
- 寺岡 佐和, 福岡県介護保険審査会, 専門調査員.
- 寺岡 佐和, 認知症ケア学会, 九州・沖縄 1 地域部会副部長.
- 寺岡 佐和, 日本看護科学学会, 査読委員.
- 寺岡 佐和, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員.
- 植木 慎悟, 国際口蓋裂学会, 国際・国際学会準備委員会.

- 植木 慎悟, 日本看護科学学会, 和文誌編集委員会.
- 植木 慎悟, 日本小児看護学会, 理事.
- 植木 慎悟, The Japan Centre for Evidence Based Practice, 監事.
- 前野 有佳里, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員.
- 前野 有佳里, 日本応用心理学会, 査読委員.
- 宮田 潤子, 日本小児外科学会, 評議員.
- 宮田 潤子, 日本小児外科学会, ワーク・ライフ・バランス検討委員会.
- 宮田 潤子, 日本小児外科学会, NCD 連絡委員会.
- 宮田 潤子, 日本小児外科漢方研究会, 幹事.
- 宮田 潤子, 日本小児医療保健協議会(四者協), 「子どもと ICT、子どもたちの健やかな成長を願って」委員会.
- 宮田 潤子, 日本東洋医学会九州支部, 事務局長.
- 岩木 三保, 日本難病医療ネットワーク学会, 理事.
- 岩木 三保, 日本難病看護学会, 代議員.
- 末次 美子, 福岡母性衛生学会, 幹事.
- 酒井 久美子, 日本老年看護学学会, 生涯学習支援研究委員会.
- 佐藤 洋子, 福岡母性衛生学会, 幹事.
- 松藤 尋幹, 福岡母性衛生学会, 幹事.

### 3. 官界

- 宮田 潤子, 厚生労働省, 医療ニーズの高い医療機器等の早期導入に関する検討会委員.
- 宮田 潤子, 厚生労働省, 疾病・障害認定審査会委員 身体障害認定分科会員.

### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 藤田 貴子, 福岡県看護協会 1 地区支部施設代表者.
- 前野 有佳里, 社会福祉法人福岡あけぼの会 評議員、第三者委員.

### 5. 公開講座・公開講演会

- 岩木 三保, 九州大学病院看護キャリアセンターセミナー「在宅療養への意思決定に必要なものはないか ―難病・がん患者に焦点をあてて―」.

### 6. 初等中等教育への貢献

- 宮田 潤子, 第5回クロアカ net プロジェクト市民公開講座開催(2025年3月20日).
- 宮田 潤子, 「子どもが水筒を持ち歩くときの転倒事故に関する注意喚起について」こども家庭庁に要望書手交(2024年7月5日).

## 3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野



# 医用量子線科学分野

## 《基礎放射線科学》

教授	有村 秀孝
教授	藤淵 俊王
准教授	荒川 弘之
准教授	納富 昭弘
助教	HAN DONGHEE
助教	河窪 正照

## 1. 教育活動

### 1. 大学院講義

量子線理工科学 I	藤淵 俊王	前期
量子線治療科学演習	藤淵 俊王	前期
放射線防護学演習	藤淵 俊王	前期
放射線防護学	藤淵 俊王	夏学期
保健医療とデータ科学	藤淵 俊王	夏学期
ヘルスサイエンス論	藤淵 俊王	前期
Thesis Research on Health Science in Asia (Professor Fujibuchi)	藤淵 俊王	通年
Radiological Protection	藤淵 俊王	夏学期
Quantum Radiation Science and Technology II	藤淵 俊王	後期
Quantum Radiation Science and Technology I	藤淵 俊王	前期
Practice in Radiological Protection	藤淵 俊王	前期
PhD Research in Health Science (Professor Fujibuchi)	藤淵 俊王	通年
International Presentation (Professor Fujibuchi)	藤淵 俊王	前期
Data Sciences in Health and Medicine	藤淵 俊王	夏学期
Quantum Radiation Science and Technology I	藤淵 俊王	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	藤淵 俊王	前期
Practice in Quantum Radiation Therapy	藤淵 俊王	前期
国際社会とチーム医療	河窪 正照	前期
International Society and Multidisciplinary Care	河窪 正照	前期
国際社会とチーム医療	河窪 正照	前期
Quantum Radiation Science and Technology I	荒川 弘之	前期
Fundamental Theory of Electromagnetic Wave	荒川 弘之	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	荒川 弘之	前期
量子線理工科学 I	荒川 弘之	前期
基礎電磁波論	荒川 弘之	前期
医学物理情報理論	有村 秀孝	前期
量子線治療科学論	有村 秀孝	後期
Quantum Radiation Science and Technology I	有村 秀孝	前期
Data Sciences in Health and Medicine	有村 秀孝	夏学期
Information Theory for Medical Physics	有村 秀孝	前期

Practice in Medical Image and Information Sciences	有村 秀孝	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	有村 秀孝	前期
Practice in Quantum Radiation Therapy	有村 秀孝	前期

## 2. 大学院実験・実習 なし

## 3. 大学院演習

Advanced International Presentation (Professor Arimura)	有村 秀孝	通年
Thesis Research on Health Science in Asia (Professor Arimura)	有村 秀孝	通年
International Presentation (Professor Arimura)	有村 秀孝	前期
量子線理工科学 I	藤淵 俊王	前期
医用量子線科学特別研究(藤淵教授)	藤淵 俊王	通年
医用量子線理工学演習	藤淵 俊王	前期
量子線理工科学 II	藤淵 俊王	後期
Practice in Quantum Radiation Therapy	藤淵 俊王	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	藤淵 俊王	前期
量子線治療科学演習	藤淵 俊王	前期
医用量子線理工学演習	荒川 弘之	前期

## 4. 大学院修士課程修了者

江田 惇哉	非小細胞肺癌患者におけるトポロジー特徴量を用いた SBRT 後の放射線肺炎の予測 Prediction of Radiation Pneumonitis after SBRT Using Topological Features for Patients with Non-Small Cell Lung Cancer
光島 千稀	体幹部定位放射線治療を受けた早期非小細胞肺癌患者の腫瘍成長軌跡モデル Tumor growth trajectory models in patients with early-stage non-small cell lung cancer treated with stereotactic body radiotherapy
檜作 響子	X 線透視時の方向ベクトルを用いた放射線防護板の効果の高速評価法 (DQPEX) の開発 Development of Directional vector-based Quick evaluation method for radiation Protective plate Effects in X-ray fluoroscopy (DQPEX)
Lee Hyojin	診断用 X 線におけるピンホールコリメータと高感度 CMOS カメラによるリアルタイムでの散乱線の可視化 Real-time visualization of scatter radiation in diagnostic X-ray using a pinhole collimator and a high-sensitivity CMOS camera

## 5. 大学院博士課程修了者

濱崎 洋志	Noninvasive machine-learning models for the detection of lesion-specific ischemia in patients with stable angina with intermediate stenosis severity on coronary CT angiography「冠動脈 CT 血管造影に基づく中等度狭窄を有する安定狭心症患者における病変特異的虚血検出の非侵襲的機械学習モデルの開発」
Dang Quoc Soai	Photon and neutron dose estimation using Monte Carlo Simulation in TrueBeam's room

## 6. 学部講義

臨床解剖薬理学	藤淵 俊王	冬学期
放射線管理学 II	藤淵 俊王	冬学期
放射線管理学 I	藤淵 俊王	秋学期
放射線治療技術学 II	藤淵 俊王	夏学期
放射線治療技術学 I	藤淵 俊王	春学期

放射線技術科学入門Ⅱ	藤淵 俊王	後期
放射線技術科学入門Ⅰ	藤淵 俊王	前期
臨床解剖薬理学	河窪 正照	冬学期
生理機能検査学Ⅲ	河窪 正照	前期
生理機能検査学Ⅱ	河窪 正照	前期
生理機能検査学Ⅰ	河窪 正照	前期
放射線画像技術学Ⅰ	河窪 正照	前期
放射線治療・核医学機器学	河窪 正照	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	河窪 正照	後期
放射線技術科学入門Ⅰ	河窪 正照	前期
基礎医療統計	河窪 正照	夏学期
品質管理論	河窪 正照	後期
電気電子工学入門	荒川 弘之	前期
放射線治療・核医学機器学	荒川 弘之	前期
物理数学Ⅲ	荒川 弘之	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	荒川 弘之	前期
基礎医療統計	荒川 弘之	夏学期
放射線技術科学入門Ⅱ	荒川 弘之	後期
放射線物理学	有村 秀孝	前期
物理数学Ⅰ	有村 秀孝	春学期
物理数学Ⅱ	有村 秀孝	夏学期
基礎医療統計	有村 秀孝	夏学期
放射線治療技術学Ⅰ	有村 秀孝	夏学期
放射線診断機器学Ⅰ	有村 秀孝	秋学期
医用画像情報学Ⅰ	有村 秀孝	秋学期
放射線診断機器学Ⅱ	有村 秀孝	冬学期
医用画像情報学Ⅱ	有村 秀孝	冬学期
コンピュータープログラミング入門	有村 秀孝	秋学期

## 7. 学部の実験・実習・演習

医用画像情報学実習	有村 秀孝	夏学期
放射線機器学実験	有村 秀孝	春学期
臨地実習	藤淵 俊王	通年
画像解剖学演習Ⅱ	藤淵 俊王	夏学期
画像解剖学演習Ⅰ	藤淵 俊王	春学期
放射線管理学実験	藤淵 俊王	春学期
放射線画像技術学実習	藤淵 俊王	後期
放射線治療技術学実習	藤淵 俊王	後期
放射化学実験	藤淵 俊王	夏学期
画像解剖学演習Ⅱ	河窪 正照	夏学期
画像解剖学演習Ⅰ	河窪 正照	春学期
放射線管理学実験	河窪 正照	春学期
放射線画像技術学実習	河窪 正照	後期
放射線治療技術学実習	河窪 正照	後期
医用画像情報学実習	河窪 正照	夏学期

医用電気電子工学実験  
放射線機器学実験

荒川 弘之  
荒川 弘之

後期  
春学期

## 8. 卒業論文作成者

三栗野 涼	アンモニア PET 画像データから将来の主要心血管イベントを予測する機械学習モデルに関する研究(河窪 正照)
手塚 紗那	アンモニア PET イメージングによる右室心筋血流量の推定に関する研究(河窪 正照)
鳴戸 俊希	高線量率密封小線源治療における体動計測の検討(荒川 弘之)
米村 由衣	乳房 X 線撮影用トレーニングファントムの検討(荒川 弘之)
城間 泰奨	SBRT 治療前 PET 画像における閾値の違いと早期 NSCLC 患者の再発予測
瀧田 健汰	乳がん術前化学療法における MR 画像を用いた腫瘍成長モデル
江野口 真菜	乳がん病理組織画像特徴量と腫瘍細胞密度の関係

## 9. 研究生

SARKER Shupti (バングラデシュ人民共和国)	留学生
Shupti Sarker	留学生
Schwarz Philipp Anton (October/01/2024～September/30/2025)(ドイツ連邦共和国)	留学生
Lin Qijing (中国)	留学生

## 2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

- 1 荒川 弘之, 放射線治療用小線源位置のリアルタイム計測手法の開発  
Development of real-time measurement methods for the radiation source  
position of brachytherapy  
高線量率密封小線源治療, RALS, 動的計測  
High dose-rate brachytherapy, RALS, dynamic measurement  
2020 年 4 月～  
2027 年 3 月
- 2 納富 昭弘, 硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究  
Study of engineering aspect of BNCT, 硼素中性子捕捉療法、品質保証、エネルギー測定、線量測定、ホウ素添加液体シンチレータによるホウ素線量分布測定  
BNCT, QA/QC, Energy measurement, dosimetry, Measurement of boron-dose  
distribution with a boron-added liquid scintillator  
2016 年 4 月～  
2025 年 3 月

### 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

藤淵 俊王

- 実践的な課題解決能力を持つ高度放射線防護人材育成プログラム, 原子力規制庁 原子力規制人材育成事業(日本), 2022 年 1 月～2026 年 3 月. (公開)
- デジタルトランスフォーメーションを活用した医療従事者の被ばく低減プログラムの開発と有効性の検証, 厚生労働省 労災疾病臨床研究事業(日本), 2022 年 4 月～2025 年 3 月. (公開)

- 医療機関における放射線被ばく防護教育等に関する包括的研究, 厚生労働省 労災疾病臨床研究事業(日本), 2024年4月～2027年3月。(公開)
- 「基盤研究(B)」持続的な医療被ばく国民線量評価のためのデータ収集、線量評価法の構築, 科学研究費助成事業, 東京医療保健大学/Tokyo Health Care University, 2023年4月～2027年3月。(公開)
- 「基盤研究(B)」実習科目向けXR型電子教材の開発基盤システムとデータ駆動型教育手法の研究開発, 科学研究費助成事業, 九州大学/Kyushu University, 2022年4月～2025年3月。(公開)
- 「基盤研究(C)」内視鏡医を対象とした線量計一体型放射線防護眼鏡の開発, 科学研究費助成事業, 金沢大学/Kanazawa University, 2022年4月～2025年3月。(公開)

#### 荒川 弘之

- 「基盤研究(C)」センサフュージョンによる高線量率密封小線源の非侵襲・動的モニタリング, 日本学術振興会, 科学研究費助成事業, 九州大学/Kyushu University, 2024年～2026年。(公開)
- 実践的な課題解決能力を持つ高度放射線防護人材育成プログラム, 2022年7月～2026年3月。(公開)

#### 河窪 正照

- 「基盤研究(C)」胸部 X 線動態撮影と人工知能を組み合わせた全自動式肺塞栓症診断システムの開発, 科学研究費助成事業, 九州大学/Kyushu University, 2023年4月～2027年3月。(公開)
- 「基盤研究(C)」心筋の血流と運動の予備能を同時評価する分子画像解析の開発と冠微小循環障害への応用, 科学研究費助成事業, 九州大学/Kyushu University, 2024年4月～2027年3月。(公開)
- 「基盤研究(C)」心筋の血流と運動の予備能を同時評価する分子画像解析の開発と冠微小循環障害への応用, 日本学術振興会, 科学研究費助成事業, 九州大学/Kyushu University, 2024年～2026年。(公開)
- 「ACT-X 加速フェーズ」同一者の血流情報に基づく心筋の虚血診断補助システム, 科学技術振興機構, 戦略的創造研究推進事業, 九州大学/Kyushu University, 2024年4月～2025年3月。(公開)

#### 有村 秀孝

- 「基盤研究◎」臨床支援のための T 病期自動分類システムの開発, 日本学術振興会, 科学研究費助成事業, 2024年4月～2027年3月。(公開)

3. 学内研究経費の受入れ なし
4. 奨学寄付金の受入れ なし
5. その他の外部研究資金の受入れ なし
6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

## 7. 研究成果の報告

### 学会誌・学術専門誌

- Han Donghee: Evaluating the performance of thermoplastic 3D bolus used in radiation therapy, 2024年7月.
- Sakai Mayu, Fujibuchi Toshioh, Lee Hyojin, Han Donghee: Imaging of Scattered Radiation Sources in X-ray Radiography Using a Semiconductor Radiation Visualization Camera, 2024年12月5日.
- Hizukuri, K; Fujibuchi, T; Han, DH; Arakawa, H; Furuta, T: Directional vector-based quick evaluation method for protective plate effects in X-ray fluoroscopy (DQPEX), 2024年12月29日.
- Lee, H; Fujibuchi, T; Han, D; Arakawa, H: Visualization of the scatter radiation in real time using a high sensitivity CMOS camera with pinhole collimator, 2025年3月10日.
- Noguchi K, Fujibuchi T, Han D: Effectiveness of radiation protection educational material during angiography using visualization of scattered radiation by augmented reality technique, 2025年3月19日.
- Arai, H; Kawakubo, M; Triadyaksa, P; Wibowo, A; Sanui, K; Nishimura, H; Kadokami, T: Non-contrast-enhanced multiparametric cardiac magnetic resonance reveals coronary microvascular functional and structural obstruction after percutaneous coronary intervention, *EUROPEAN RADIOLOGY*, 2025年3月17日.
- Katahira Masataka, Fukushima Kenji, Endo Keiichiro, Kawakubo Masateru, Ukon Naoyuki, Yamakuni Ryo, Kiko Takatoyo, Shimizu Takeshi, Ishii Shiro, Yamaki Takayoshi, Nagao Michinobu, Ito Hiroshi, Takeishi Yasuchika: Feasibility of position emission tomography derived endocardial wall strain: direct comparison with magnetic resonance using hybrid <sup>13</sup>N ammonia PETMR system, *Annals of Nuclear Medicine*, 2025年3月.
- Yamamoto, A; Nagao, M; Kawakubo, M; Nakao, R; Matsuo, Y; Sakai, A; Kaneko, K; Fukushima, K; Momose, M; Sakai, S; Yamaguchi, J: Risk Stratification Using Right Ventricular Longitudinal Strain Ratio Derived from <sup>13</sup>N-Ammonia PET in Patients with Ischemic Heart Disease., *RADIOLOGY-CARDIOTHORACIC IMAGING*, 2024年6月.
- Arai H., Ando S.i., Kawakubo M., Sanui K., Nishimura H., Kadokami T.: Relevance of increased negative T waves in apical hypertrophic cardiomyopathy with progressive myocardial damage: Insights from repeat cardiac magnetic resonance studies, *Radiology Case Reports*, 2024年11月.
- Kawakubo M., Nagao M., Yamamoto A., Kaimoto Y., Nakao R., Kawasaki H., Iwaguchi T., Inoue A., Kaneko K., Sakai A., Sakai S.: Gated SPECT-Derived Myocardial Strain Estimated From Deep-Learning Image Translation Validated From N-13 Ammonia PET, *Academic Radiology*, 2024年.
- Yamasaki Y., Hosokawa K., Kamitani T., Abe K., Sagiyama K., Hino T., Ikeda M., Nishimura S., Toyoda H., Moriyama S., Kawakubo M., Matsutani N., Yabuuchi H., Ishigami K.:

- Diagnostic accuracy and added value of dynamic chest radiography in detecting pulmonary embolism: A retrospective study, *European Journal of Radiology Open*, 2024 年 12 月.
- Lee, H; Fujibuchi, T; Han, D; Arakawa, H: Visualization of the scatter radiation in real time using a high-sensitivity CMOS camera with pinhole collimator, *HEALTH AND TECHNOLOGY*, 2025 年 3 月 10 日.
  - Hamada Keisuke, Fujibuchi Toshioh, Arakawa Hiroyuki: Optimum delineation of skin structure for dose calculation with the linear Boltzmann transport equation algorithm in radiotherapy treatment planning, *Radiological Physics and Technology*, 2024 年 12 月.
  - Hizukuri Kyoko, Fujibuchi Toshioh, Han Donghee, Arakawa Hiroyuki, Furuta Takuya: Directional vector-based quick evaluation method for protective plate effects in X-ray fluoroscopy (DQPEX), *Radiological Physics and Technology*, 2025 年 3 月.
  - Fujibuchi T., Arakawa H., Anam C.: Development of a Real-Time Radiation Exposure Estimation Method Using a Depth Camera for Radiation Protection Education, *Radiation*, 2024 年 9 月 15 日.
  - 矢野 祐二, 藤淵 俊王, 荒川 弘之: 含鉛および無鉛素材の放射線防護衣における透過 X 線スペクトルや鉛当量, 均一度の評価, *日本放射線技術学会雑誌*, 2024 年 9 月.
  - Oka, K; Fujibuchi, T; Arakawa, H; Kaneko, K; Shi, W; Okada, Y: Web-Based Interactive Radiation Visualization Tool for Radiation Protection Learning, *COMPLEX, INTELLIGENT AND SOFTWARE INTENSIVE SYSTEMS, CISIS-2024*, 2024 年.
  - 矢野 祐二, 藤淵 俊王, 荒川 弘之: Evaluation of Transmitted X-ray Spectrum, Lead Equivalent, and Uniformity of Radiation Protective Clothing Made of Lead-containing and Lead-free Materials, *日本放射線技術学会雑誌/Japanese Journal of Radiological Technology*, 2024 年.
  - Fujibuchi, T; Kaneko, K; Arakawa, H; Okada, Y: The Usefulness of a Virtual Environment-Based Patient Setup Training System for Radiation Therapy., *JOURNAL OF IMAGING*, 2024 年 8 月.
  - Quoc, SD; Fujibuchi, T; Arakawa, H; Hamada, K: Photon and Neutron Dose Estimation Using Monte Carlo Simulation in TrueBeam's Room, *JOURNAL OF MEDICAL PHYSICS*, 2024 年 7 月.
  - Fujibuchi, T; Nakashima, M; Arakawa, H; Miyazaki, H; Anam, C: Evaluation of radiation protection effectivity in a cardiac angiography room using visualized scattered radiation distribution, *JOURNAL OF RADIOLOGICAL PROTECTION*, 2024 年 9 月 1 日.
  - Quoc, SD; Fujibuchi, T; Arakawa, H; Hamada, K: Simulating the head of a TrueBeam linear particle accelerator and calculating the photoneutron spectrum on the central axis of a 10-MV photon using particle and heavy-ion transport system code., *RADIATION PROTECTION DOSIMETRY*, 2024 年 5 月 20 日.
  - Arakawa Hiroyuki, Fujibuchi Toshioh, Okada Yoshihiro, Kaneko Kosuke, Tomisawa Toshiko: Investigation of patient release examination training in nuclear medicine using mixed reality, *日本シミュレーション学会英文誌/Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering*, 2024 年.

- Hasoomi, N; Fujibuchi, T; Arakawa, H: Developing simulation-based learning application for radiation therapy students at pre-clinical stage, *JOURNAL OF MEDICAL IMAGING AND RADIATION SCIENCES*, 2024 年 9 月.
- 納富 昭弘: Memories of “Summer school of ionizing radiations •Symposium on ionizing radiations of next generation”, *放射線/Ionizing Radiation*, 2024 年 6 月 4 日.
- Sakai Mayu, Fujibuchi Toshioh, Lee Hyojin, Han Donghee: Imaging of scattered radiation sources in X-ray radiography using a semiconductor radiation visualization camera, *Radiological Physics and Technology*, 2025 年 3 月.
- Hizukuri Kyoko, Fujibuchi Toshioh, Han Donghee, Arakawa Hiroyuki, Furuta Takuya: Directional vector-based quick evaluation method for protective plate effects in X-ray fluoroscopy(DQPEX), *Radiological Physics and Technology*, 2025 年 3 月.
- Fujibuchi, T: Study on Radiation Protection Educational Tool Using Real-Time Scattering Radiation Distribution Calculation Method with Ray Tracing Technology, *INFORMATION*, 2025 年 3 月 26 日.
- Lee, H; Fujibuchi, T; Han, D; Arakawa, H: Visualization of the scatter radiation in real time using a high-sensitivity CMOS camera with pinhole collimator, *HEALTH AND TECHNOLOGY*, 2025 年 3 月 10 日.
- Noguchi K, Fujibuchi T, Han D: Effectiveness of radiation protection educational material during angiography using visualization of scattered radiation by augmented reality technique., *Radiological physics and technology*, 2025 年 3 月 19 日.
- Hamada Keisuke, Fujibuchi Toshioh, Arakawa Hiroyuki: Optimum delineation of skin structure for dose calculation with the linear Boltzmann transport equation algorithm in radiotherapy treatment planning, *Radiological Physics and Technology*, 2024 年 12 月.
- 藤淵 俊王: IVR における放射線防護教育について, *九州循環器撮影研究会誌*, 2024 年.
- Hizukuri, K; Fujibuchi, T; Han, DH; Arakawa, H; Furuta, T: Directional vector-based quick evaluation method for protective plate effects in X-ray fluoroscopy (DQPEX), *RADIOLOGICAL PHYSICS AND TECHNOLOGY*, 2024 年 12 月 29 日.
- 矢野 祐二, 藤淵 俊王, 荒川 弘之: 含鉛および無鉛素材の放射線防護衣における透過 X 線スペクトルや鉛当量, 均一度の評価, *日本放射線技術学会雑誌*, 2024 年 9 月.
- Oka, K; Fujibuchi, T; Arakawa, H; Kaneko, K; Shi, W; Okada, Y: Web-Based Interactive Radiation Visualization Tool for Radiation Protection Learning, *COMPLEX, INTELLIGENT AND SOFTWARE INTENSIVE SYSTEMS, CISIS-2024*, 2024 年.
- Quoc, SD; Fujibuchi, T; Arakawa, H; Hamada, K: Photon and Neutron Dose Estimation Using Monte Carlo Simulation in TrueBeam’s Room, *JOURNAL OF MEDICAL PHYSICS*, 2024 年 7 月.
- Fujibuchi T., Arakawa H., Anam C.: Development of a Real-Time Radiation Exposure Estimation Method Using a Depth Camera for Radiation Protection Education, *Radiation*, 2024 年 9 月 15 日.
- Anam C, Amilia R, Naufal A, Fujibuchi T, Dougherty G: A statistical-based automatic detection of a low-contrast object in the ACR CT phantom for measuring contrast-to-noise ratio of CT images., *Biomedical physics & engineering express*, 2024 年 11 月 20 日.

- Fujibuchi T., Kaneko K., Arakawa H., Okada Y.: The Usefulness of a Virtual Environment-Based Patient Setup Training System for Radiation Therapy., *Journal of Imaging*, 2024 年 8 月.
- Fujibuchi, T; Iwaoka, K; Shimada, Y; Nabatame, K: The Accident at Tokyo Electric Power Company Incorporated's Fukushima Daiichi Nuclear Power Station: A Review of Radiation-Exposed Medical Care and Waste (Secondary Publication), *JOURNAL OF RADIATION PROTECTION AND RESEARCH*, 2024 年 6 月.
- Quoc, SD; Fujibuchi, T; Arakawa, H; Hamada, K: Simulating the head of a TrueBeam linear particle accelerator and calculating the photoneutron spectrum on the central axis of a 10-MV photon using particle and heavy-ion transport system code., *RADIATION PROTECTION DOSIMETRY*, 2024 年 5 月 20 日.
- Arakawa, H; Fujibuchi, T; Kaneko, K; Okada, Y; Tomisawa, T: Radiation-training system with a custom survey-meter mock-up in a browser-based mixed reality environment, *NUCLEAR ENGINEERING AND TECHNOLOGY*, 2024 年 6 月.
- Hamada K, Fujibuchi T, Arakawa H: Optimum delineation of skin structure for dose calculation with the linear Boltzmann transport equation algorithm in radiotherapy treatment planning., *Radiological physics and technology*, 2024 年 9 月 9 日.
- Fujibuchi, T; Nakashima, M; Arakawa, H; Miyazaki, H; Anam, C: Evaluation of radiation protection effectivity in a cardiac angiography room using visualized scattered radiation distribution., *JOURNAL OF RADIOLOGICAL PROTECTION*, 2024 年 9 月 1 日.
- Hasoomi, N; Fujibuchi, T; Arakawa, H: Developing simulation-based learning application for radiation therapy students at pre-clinical stage., *JOURNAL OF MEDICAL IMAGING AND RADIATION SCIENCES*, 2024 年 9 月.
- Anam, C; Naufal, A; Sutanto, H; Fujibuchi, T; Dougherty, G: A novel method for developing contrast-detail curves from clinical patient images based on statistical low-contrast detectability, *BIOMEDICAL PHYSICS & ENGINEERING EXPRESS*, 2024 年 7 月 1 日.
- Sakai, M; Fujibuchi, T; Lee, H; Han, D: Imaging of scattered radiation sources in X-ray radiography using a semiconductor radiation visualization camera, *RADIOLOGICAL PHYSICS AND TECHNOLOGY*, 2024 年 12 月 5 日.
- Anam C, Naufal A, Lubis LE, Fujibuchi T: Statistical phase alignment of edge spread function for modulation transfer function measurement on computed tomography images, *Physica medica : PM : an international journal devoted to the applications of physics to medicine and biology : official journal of the Italian Association of Biomedical Physics (AIFB)*, 2025 年 1 月.
- Hiroyuki Arakawa, Toshioh Fujibuchi, Yoshihiro Okada, Kosuke Kaneko, Toshiko Tomisawa: Investigation of patient release examination training in nuclear medicine using mixed reality, *Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering*, 2024 年 4 月.
- Hiroshi Hamasaki, Hidetaka Arimura, Yuzo Yamasaki, Takayuki Yamamoto, Mitsuhiro Fukata, Tetsuya Matoba, Toyoyuki Kato, Kousei Ishigami: Noninvasive machine-learning models for the detection of lesion-specific ischemia in patients with stable angina with intermediate stenosis severity on coronary CT angiography, *Physical and Engineering Sciences in Medicine (Accepted: 05 Dec.2024)*, 2025 年 1 月 5 日.

- Takumi Kodama; Hidetaka Arimura; Tomoki Tokuda; Kentaro Tanaka; Hidetake Yabuuchi; Nadia Fareeda Muhammad Gowdh; Chong Kin Liam; Chee Shee Chai; Kwan Hoong Ng: Topological radiogenomics based on persistent lifetime images for identification of epidermal growth factor receptor mutation in patients with non-small cell lung tumors, *Computers in Biology and Medicine Volume 185, February 2025, 109519*, 2025年2月.
- Shin, K; Hayashi, N; Cho, YB; Cho, Y; Huq, M; Ieko, Y; Kim, J; Kim, T; Arimura, H; Yoon, M; Kim, Y; Matsuura, T; Yoon, Y; Han, G: AAPM KSMP-JSMP-KAMPiNA Joint Symposium, *MEDICAL PHYSICS*, 2024年9月.
- Inenaga, S; Mieno, T; Arimura, H; Funakoshi, M; Fujishige, Y: Computing Minimal Absent Words and Extended Bispecial Factors with CDAWG Space, *COMBINATORIAL ALGORITHMS, IWOCA 2024*, 2024年.
- 有村 秀孝: MII の沿革, *医用画像情報学会雑誌/Medical Imaging and Information Sciences*, 2024年.
- 有村 秀孝: What are Needed for Bright Future of MII, *医用画像情報学会雑誌/Medical Imaging and Information Sciences*, 2025年3月31日.
- Hamasaki, H; Arimura, H; Yamasaki, Y; Yamamoto, T; Fukata, M; Matoba, T; Kato, T; Ishigami, K: Noninvasive machine-learning models for the detection of lesion-specific ischemia in patients with stable angina with intermediate stenosis severity on coronary CT angiography, *PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCES IN MEDICINE*, 2024年12月30日.
- Kodama, T; Arimura, H; Chan, WY; Tokuda, T; Tanaka, K; Gowdh, NFM; Liam, CK; Chai, CS; Ng, KH: Persistent Topology-Based Radiogenomics of Epidermal Growth Factor Receptor Mutation for Non-Small Cell Lung Cancer Patients on CT Images, *MEDICAL PHYSICS*, 2024年10月.
- Tong, YZ; Arimura, H; Yoshitake, T; Cui, YH; Kodama, T; Shioyama, Y; Wirestam, R; Yabuuchi, H: Prediction of Consolidation Tumor Ratio on Planning CT Images of Lung Cancer Patients Treated with Radiotherapy Based on Deep Learning, *APPLIED SCIENCES-BASEL*, 2024年4月.
- Kodama T., Arimura H., Tokuda T., Tanaka K., Yabuuchi H., Gowdh N.F.M., Liam C.K., Chai C.S., Ng K.H.: Topological radiogenomics based on persistent lifetime images for identification of epidermal growth factor receptor mutation in patients with non-small cell lung tumors, *Computers in Biology and Medicine*, 2025年2月.
- YiZhi Tong, Hidetaka Arimura, Tadamasu Yoshitake, Yunhao Cui, Takumi Kodama, Yoshiyuki Shioyama, Ronnie Wirestam, Hidetake Yabuuchi: Prediction of Consolidation Tumor Ratio on Planning CT Images of Lung Cancer Patients Treated with Radiotherapy Based on Deep Learning, *Applied Sciences 2024 (Published: 13 April 2024)*, 2024年4月.
- 光島 千稀, 有村 秀孝, 白川 友子, 吉武 忠正: 体幹部定位放射線治療を受けた早期非小細胞肺癌患者における腫瘍成長モデルの開発, *日本医用画像工学会大会予稿集*, 2024年8月.
- 金 焜, 兒玉 拓巳, 有村 秀孝: [Applications] 10. Radiomics Researches for Cancer Treatment Using Python, *日本放射線技術学会雑誌/Japanese Journal of Radiological Technology*, 2024年5月20日.

- 江田 惇哉, 有村 秀孝, 兒玉 拓巳, 吉武 忠正, 廣瀬 貴章, Yedekci Yagiz: 早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療における治療計画 CT 画像を用いた放射線肺炎予測, *日本医用画像工学会大会予稿集*, 2024 年 8 月.
  - 有村 秀孝: 次の 300 回記念大会へ向けて, *医用画像情報学会雑誌/Medical Imaging and Information Sciences*, 2024 年.
  - 崔 雲昊, 有村 秀孝, 吉武 忠正, 佟 弈志, 兒玉 拓巳, 塩山 善之, Wirestam Ronnie, 藪内 英剛: 深層学習に基づく放射線治療を受けた肺癌患者の治療計画 CT 画像における Consolidation/Tumor 比の自動予測, *医用画像情報学会雑誌/Medical Imaging and Information Sciences*, 2025 年 3 月 31 日.
  - 有村 秀孝, 兒玉 拓巳, 二宮 健太, 金 煜, 崔 雲昊: 特集 放射線科と人工知能 AI を用いた レディオミクスの現状と展望:画像特徴量の説明可能性, *臨床放射線*, 2024 年 11 月 10 日.
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし
  - 大学・研究機関などの刊行誌 なし
  - 調査研究報告 なし
  - 国内学会での講演, 発表
    - Naoya Fuchiwaki, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Rintaro Furuta: Development of a robust predictive model for time variant trajectories of tumor growth in lung cancer patients treated with TKI (13 April), *International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT)*, 2024 年 4 月.
    - Hidemi Kamezawa Hidetaka Arimura: Novel radiomics/dosimetrics-based treatment failure prediction for pharyngeal cancer patients, *International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT)*, 2024 年 4 月.
    - Hidetaka Arimura: Why don't you do radiogenomics? (April 27), *第 111 回日本泌尿器科学会総会, 横浜*, 2024 年 4 月.
    - Arimura Hidetaka: Invitation to Neomics Research: New Era of Omics Research レディオゲノミクスへの誘い(Why don't you do radiogenomics?), *日本泌尿器科学会総会*, 2024 年 4 月.
    - 光島 千稀, 有村 秀孝, 白川 友子, 吉武 忠正: 体幹部定位放射線治療を受けた早期非小細胞肺癌患者における腫瘍成長モデルの開発, *日本医用画像工学会大会予稿集*, 2024 年 8 月.
    - 江田 惇哉, 有村 秀孝, 兒玉 拓巳, 吉武 忠正, 廣瀬 貴章, Yedekci Yagiz: 早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療における治療計画 CT 画像を用いた放射線肺炎予測, *日本医用画像工学会大会予稿集*, 2024 年 8 月.
    - Naoya Fukano, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Takumi Kodama, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Prediction of Progression in Patients with Early-Stage Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Surgery and Stereotactic Body Radiotherapy (11 April), 2024 年 4 月.
    - Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Three-dimensional consolidation-tumor ratio-related features help classify solid, part solid and pure ground-glass nodules, 2025 年 3 月 21 日.

- Anton Schwarz, Hidetaka Arimura, Yunhao Cui, Shun Shimabukuro, Satoshi Kobayashi, Takashi Matsumoto, Masaki Shiota, Masatoshi Eto, Yoshinao Oda: Stratification of Prostate Cancer Patients into High-grade and Low-grade Patients Using Fractal Dimension Analysis of Histological Images, 2025 年 3 月 21 日.
- 有村秀孝: AI の進歩と放射線治療技術の将来(教育講演), 第 23 回九州放射線治療システム研究会、九州大学百年記念講堂, 2025 年 3 月 1 日.
- 有村秀孝: 医学物理士の養成の現状と展望(特別講演), 2024 年度全国がんプロ教育合同フォーラム、名古屋大学, 2025 年 2 月 18 日.
- Hidetaka Arimura: Topology-Based Hole Analysis for Cancer Treatment (July 21), *AAPM 66th Annual Meeting & Exhibition, Los Angeles*, 2024 年 7 月 21 日.
- Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Wai Yee Chan, Tomoki Tokuda, Kentaro Tanaka, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Chong Kin Liam, Chee Shee Chai and Kwan Hoong Ng: Persistent Topology-Based Radiogenomics of Epidermal Growth Factor Receptor Mutation for Non-Small Cell Lung Cancer Patients on CT Images (July 23), 2024 年 7 月 23 日.
- 江田 惇哉, 有村 秀孝, 兒玉 拓巳, 吉武 忠正, 廣瀬 貴章, Yagiz Yedekci: 早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療における治療計画 CT 画像を用いた放射線肺炎予測, 第 43 回日本医用画像工学会大会@一橋講堂, 2024 年 8 月 6 日.
- 光島 千稀, 有村秀孝, 白川友子, 吉武忠正: 体幹部定位放射線治療を受けた早期非小細胞肺癌患者における腫瘍成長モデルの開発, 第 43 回日本医用画像工学会大会@一橋講堂, 2024 年 8 月 6 日.
- Hidetaka Arimura: Cancer contours, characterizations and prognostic trajectory with mathematical language, *Annual Scientific Meeting Medical Physics and Biophysics 2024, Bandung, Indonesia*, 2024 年 8 月 8 日.
- 兒玉拓巳, 有村秀孝, 徳田智紀, 田中健太郎, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng: パーシステントホモロジーを用いた非小細胞肺癌患者の上皮成長因子受容体変異予測, *医用画像情報学会 第 200 回記念大会@大阪*, 2024 年 10 月 5 日.
- 崔雲昊、有村秀孝、吉武忠正、佟奔志、兒玉拓巳、塩山善之、Ronnie Wirestam、藪内英剛: 深層学習に基づく放射線治療を受けた肺癌患者の治療計画 CT 画像における Consolidation/Tumor 比の自動予測, *医用画像情報学会 第 200 回記念大会@大阪*, 2024 年 10 月 5 日.
- Kazuki MITSUSHIMA, Hidetaka ARIMURA, Yuko SHIRAKAWA, Tadamasu YOSHITAKE: Lung tumor growth trajectories utilizing mathematical models in stereotactic body radiation therapy, 2024 年 10 月 12 日.
- Junya Eda, Hidetaka Arimura, Takumi Kodama, Tadamasu Yoshitake, Taka-aki Hirose, Yagiz Yedekci: Prediction Model for Radiation Pneumonitis in Early-Stage Patients with Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Stereotactic Ablative Radiotherapy Using Topological Features from Planning CT Images, 2024 年 10 月 11 日.
- Hidetaka ARIMURA: AI-aided radiogenomics for lung cancer therapy (Plenary Session), *Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) Pinang, Malaysia*, 2024 年 10 月 11 日.

- 有村秀孝: がんの特徴を穴から見通す トポロジー穴解析-(12 April), 第 80 回日本放射線技術学会学術大会, 2024 年 4 月.
- Mayu Nakagaki, Hidetaka Arimura, Yu Jin, Hidetake Yabuuchi: Imaging biopsy models for identification of triple-negative breast cancer at preoperative dynamic contrast-enhanced magnetic resonance images (11 April), 2024 年 4 月.
- 宮崎 仁志, 藤淵 俊王: 脳血管撮影における 3D-DSA と CBCT による臓器線量と実効線量の推定, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 藤淵 俊王: 海外での放射線作業者の被ばく管理の一元管理の事例紹介, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 藤淵 俊王: 水晶体被ばくに関わる近年の動向, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 境 真由, 李 孝眞, 藤淵 俊王, 荒川 弘之, 韓 勲熙: 可搬型半導体式放射線可視化カメラによる X 線透視での散乱線源のイメージングの検討, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 荒川 弘之, 川村 慎二, 西村 友則, 宮原 善徳, 玉置 幸久, 藤淵 俊王: サンプリングモアレ法の高線量率 Ir-192 線源位置検出への適用, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 檜作 響子, 藤淵 俊王, 荒川 弘之, Han Donghee: Virtual reality 技術を利用した X 線透視時の散乱線の方向ベクトルの可視化, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 田淵 麻央, 藤淵 俊王, 檜作 響子: Ray tracing を利用した X 線透視室内のリアルタイム散乱線分布表示システムの開発と精度検証, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 野口 昂生, 藤淵 俊王, 荒川 弘之, 檜作 響子: AR 技術を利用したモバイル C アーム透視装置および CT 装置の散乱線可視化による放射線防護アプリケーションの作成, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- 藤淵 俊王: 水晶体被ばくに関わる近年の動向, *INNERVISION*, 2024 年 12 月.
- 宮崎 仁志, 藤淵 俊王, 有村 公一: 回転撮影の臓器・実効線量推定におけるシミュレーションパラメータの最適化, *日本脳神経血管内治療学会学術集会抄録集*, 2024 年 11 月.
- 藤淵 俊王, 富澤 登志子: Extended reality を利用した放射線診療従事者向け医療放射線防護教育教材の開発と実践 (Development and implementation of medical radiation protection education materials using extended reality for radiological professionals), *日本放射線影響学会大会講演要旨集*, 2024 年 9 月.
- Lee Hyojin, 藤淵 俊王, Han Donghee: 高感度 CMOS カメラを用いた X 線 CT 検査時の散乱線源の可視化による放射線防護対策の検討, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024 年 10 月.
- Sarker Shupti, Fujibuchi Toshioh, Han Donghee: Comparative dosimetry study of PARaDIM with ICRP Publication 128: calculation of organ and effective doses from 18F-FDG radiopharmaceutical, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025 年 3 月.
- Noguchi Koki, Fujibuchi Toshioh: Development of radiation protection educational material by augmented reality during angiography with user's opinion, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025 年 3 月.

- Tabuchi Mao, Hizukuri Kyoko, Han Donghee, Fujibuchi Toshioh: Investigate the contribution of scattered radiation from each source at the operator's position using Monte Carlo simulation, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- Han Donghee, Fujibuchi Toshioh: Organ dose measurement for filament material-based head and neck coronal 3D-printed phantom with dosimetry and Monte Carlo code, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- Wu Jinyue, Fujibuchi Toshioh: Patient setup guide using AR technology for radiation therapy, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- Sakai Mayu, Fujibuchi Toshioh, Han Donghee: Real-time imaging of scattered radiation sources during X-ray fluoroscopy using a portable radiation visualization camera, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- Fujibuchi Toshioh, Han Donghee, Lee Hyojin: Visualization of scattered radiation sources during X-ray CT examinations using a high-sensitivity CMOS camera, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- 藤淵 俊王: 放射線防護具の JIS に基づく性能評価と品質管理の現状と課題, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- 宮崎 仁志, 藤淵 俊王, 大浦 宏二, 小副川 岳宏: 脳血管撮影における high-resolution CBCT による臓器線量と実効線量の推定, *日本放射線技術学会総会学術大会予稿集*, 2025年3月.
- 藤淵 俊王: 医療従事者の職業被曝に対する放射線安全管理, *日本整形外科学会雑誌*, 2025年3月.
- Hiroyuki Arakawa, Shinji Kawamura, Tomonori Nishimura, Yoshinori Miyahara, Yukihisa Tamaki, Toshioh Fujibuchi: 機械学習による高線量率 Ir-192 源 3D 位置検出の精度改善, *第 127 回日本医学物理学会学術集会*, 2024年4月14日.
- 福島 賢慈, 片平 正隆, 遠藤 圭一郎, 河窪 正照, 山本 篤志, 石井 士朗, 八巻 尚洋, 長尾 充展, 伊藤 浩, 竹石 恭知: 心筋血流 PET Strain による虚血重症度評価 PETMR を用いた MR strain との比較検討, *日本心臓核医学会ニュースレター*, 2024年5月.
- 片平 正隆, 福島 賢慈, 遠藤 圭一郎, 河窪 正照, 山國 遼, 右近 直之, 清水 竹史, 石井 士朗, 八巻 尚洋, 長尾 充展, 伊藤 浩, 竹石 恭知: PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討 Hybrid PETMR を用いた MRI feature tracking との比較, *日本心臓病学会学術集会抄録*, 2024年9月.
- 江口 麻理, 新井 英雄, 河窪 正照, 坂田 聡, 讃井 憲一, 西村 浩: 腰椎症における 3次元 MR Neurography による腰神経分岐角度の解析, *JART: 日本診療放射線技師会誌*, 2024年10月.
- 山本 篤志, 長尾 充展, 河窪 正照, 今門 理紗, 中尾 梨沙子, 坂井 晶子, 百瀬 満, 金子 恒一郎, 福島 賢慈, 坂井 修二, 山口 淳一: 半導体装置の最新展開 半導体 PET/CT で得られる dynamic data を用いた新規定量指標, *核医学*, 2024年.
- 山本 篤志, 長尾 充展, 河窪 正照, 西嶋 修平, 井上 明啓, 市原 有起, 百瀬 満, 金子 恒一郎, 山口 淳一, 新浪 博, 坂井 修二: 半導体アンモニア PET 心筋血流予備能による iPS 心筋球植込み術の評価, *核医学*, 2024年.

- 貝本 葉子, 長尾 充展, 山本 篤志, 河窪 正照, 前島 信之, 浅沼 雅康, 青葉 薫, 金子 恒一郎: 半導体アンモニア PET の心筋 SUV 画像による心筋血流予備能の推定, 核医学技術, 2024 年 10 月.
- 学会以外での講演, 発表 なし

## 著作

### 1. 単行本

- Oka K., Fujibuchi T., Arakawa H., Kaneko K., Shi W., Okada Y.: Web-Based Interactive Radiation Visualization Tool for Radiation Protection Learning, Lecture Notes on Data Engineering and Communications Technologies, 2024 年

### 2. 総説 なし

### 3. 解説, 書評など

- 有村 秀孝, 兒玉 拓巳: がんの特徴を穴から見通す -トポロジー穴解析-, 日本放射線技術学会 画像通信 2024;47(1):12-16, 2024 年 5 月
- 有村 秀孝, 兒玉 拓巳, 二宮 健太, 金 いく, 崔 雲昊: 【放射線科と人工知能】AI を用いたレディオミクスの現状と展望 画像特徴量の説明可能性, 臨床放射線, 69, 6, 2024 年 11 月
- 金 焜, 兒玉 拓巳, 有村 秀孝: 応用編 10. Python を用いたがん治療レディオミクス研究, 日本放射線技術学会雑誌/80 巻 (2024) 5 号 p. 549-557, 2024 年 5 月 20 日
- 有村秀孝, 兒玉拓巳, 二宮健太, 金焜, 崔雲昊: AI を用いたレディオミクスの現状と展望: 画像特徴量の説明可能性, 臨床放射線 2024 年 11 月号 (vol69, No.6,2024) p.809-816, 2024 年 11 月
- 金 焜, 兒玉 拓巳, 有村 秀孝: 放射線技術学研究における Python の活用術 応用編 Python を用いたがん治療レディオミクス研究, 日本放射線技術学会雑誌, 80, 5, 2024 年 5 月
- 藤淵 俊王: 労災疾病臨床研究における医療機関を対象とした職業被ばく低減対策プログラムの開発, FBNews, No.568, 10-14, 2024 年 4 月
- Fukushima, K; Katahira, M; Yamakuni, R; Kawakubo, M; Ukon, N; Yamamoto, A; Shimizu, T; Ishii, S; Nagao, M; Ito, H; Takeishi, Y: Clinical Feasibility of Myocardial Strain Reserve through PET Feature Tracking in Patients with Coronary Artery Disease: direct comparison to MR strain using integrated <sup>13</sup>N ammonia PETMR system, JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE, 65, 2024 年 6 月 1 日

## 受賞

- 有村 秀孝, Certificate of Merit Award (Kamezawa H., Arimura H.) Novel radiomics/dosimomics-based treatment failure prediction for pharyngeal cancer patients, The 3rd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT, Yokohama), 2024 年 4 月
- 藤淵 俊王, 論文支援功労賞, 日本放射線技術学会, 2024 年 4 月

- 藤淵 俊王, Best Paper Award, The Workshops of the 18th International Conference on Complex, Intelligent and Software Intensive Systems (CISIS-2024), 2024 年 7 月

報道 なし

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

- 有村 秀孝, 「早期肺癌治療選択に向けた治療効果の経時的予測法の開発」(日本学術振興会特別研究員 DC1 児玉拓巳), 2023 年～2025 年, 特別研究員奨励費, 公開.
- 藤淵 俊王, 実践的な課題解決能力を持つ高度放射線防護人材育成プログラム, 2021 年～2025 年, 令和 3 年度原子力人材育成等推進事業費補助金(原子力規制人材育成事業), 公開.
- 藤淵 俊王, デジタルトランスフォーメーションを活用した医療従事者の被ばく低減プログラムの開発と有効性の検証, 2022 年 4 月～2025 年 3 月, 公開.
- 藤淵 俊王, 医療機関における放射線被ばく防護教育等に関する包括的研究, 2024 年 4 月～2027 年 3 月, 公開.
- 荒川 弘之, 実践的な課題解決能力を持つ高度放射線防護人材育成プログラム, 2022 年 7 月～2026 年 3 月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

### 1. 海外出張・研修出張

- 有村 秀孝, 24th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) and 22th South-East Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP), Penang, 10-13-Oct-2024, 2024 年 10 月～2024 年 10 月.
- 有村 秀孝, 7th PIT-FMB, Bandung, 8-10 Aug. 2024, 2024 年 8 月～2024 年 8 月.
- 有村 秀孝, AAPM2024, Los Angeles, July20-27, 2024, 2024 年 7 月～2024 年 7 月.
- 藤淵 俊王, 大邱保健大学, 2024 年 9 月～2024 年 9 月.
- 藤淵 俊王, Institut Teknologi Bandung, Diponegoro University, 2024 年 8 月～2024 年 8 月.
- 藤淵 俊王, Zenith Hotel, Putrajaya, Malaysia, 2024 年 10 月～2024 年 10 月.
- 藤淵 俊王, 24th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), 2024 年 10 月～2024 年 10 月.

### 2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

### 3. 留学生の受入れ

- 有村 秀孝, Dr. YEDEKÇİ FAZLI YAĞIZ from Hacettepe University in Turkey (January/15-July16/2024), TUR, トルコ共和国, 2024 年 1 月～2024 年 7 月.
- 有村 秀孝, Prof. Pervin Hürmüz, University, Ankara, Turkey (Nov. 15-16, 2024), TUR, トルコ共和国, 2024 年 11 月～2024 年 11 月.
- 藤淵 俊王, Dongseo University, KOR, 大韓民国, 2025 年 1 月～2025 年 1 月.

### 4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 有村 秀孝
- 藤淵 俊王, 放射線等障害防止委員会
- 荒川 弘之

### 2. 部局委員 なし

### 3. 部門・コース内委員

- 有村 秀孝, 医用画像情報学会(MII)
- 藤淵 俊王, 大学院委員会
- 藤淵 俊王, 学生委員会
- 納富 昭弘, 日本医学物理学会
- 有村 秀孝, 電子情報通信学会(IEICE)(医用画像研究会(MI) 専門委員)
- 有村 秀孝, 日本医学物理学会(JSMP) (代議員、教育委員、用語委員)
- 河窪 正照, 日本放射線技術学会
- 河窪 正照, Korean Society of Radiological Science (KSRS)
- 河窪 正照, 日本放射線技術学会
- 河窪 正照, 九州大学

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 有村 秀孝, 岐阜大学大学院・工学部, 2025 年 1 月 10 日(金) 大学院・知能情報学領域・特別講義(対面講義).
- 有村 秀孝, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 2025 年 1 月 23, 24 日、R6 後期, 放射線腫瘍学, 放射線治療技術学(対面講義).
- 有村 秀孝, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 2024 年 8 月 23,24 日(金、土) 大学院修士・情報処理学・画像工学集中講義(対面講義).
- 藤淵 俊王, 令和健康科学大学・看護学部.
- 藤淵 俊王, 弘前大学・医学部保健学科看護学専攻.
- 納富 昭弘, 福岡大学・医学部, 夏季休暇中に福岡大学・医学科 3 年生に対し放射線科学「放射線物理学 I、II」2 コマの集中講義を行う.

- 納富 昭弘, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 夏期休暇中に近畿大学大学院総合理工学研究科「放射線医療工学」15 コマの集中講義を行う。年に数回、近畿大学に出張し、共同研究を行う。
- 納富 昭弘, 福岡市医師会看護学校, 前期に福岡市医師会看護学校・看護科 1 年生(2 組)に対し「自然科学」5 コマの講義を行う。

## 2. 学協会

- 有村 秀孝, 日本医用画像工学会 (JAMIT).
- 有村 秀孝, 日本放射線腫瘍学会(JASTRO).
- 有村 秀孝, 日本放射線技術学会 (JSRT).
- 有村 秀孝, 医用画像情報学会 (MII).
- 有村 秀孝, 電子情報通信学会(IEICE).
- 有村 秀孝, 日本医学物理学会 (JSMP).
- 有村 秀孝, American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO).
- 有村 秀孝, American Association of Physicists in Medicine (AAPM).
- 荒川 弘之, プラズマ・核融合学会.
- 荒川 弘之, 日本保健物理学会.
- 荒川 弘之, 日本放射線技術学会.
- 荒川 弘之, 日本物理学会.
- 荒川 弘之, 日本医学物理学会.
- 納富 昭弘, 日本医学物理学会.
- 納富 昭弘, 応用物理学会.
- 納富 昭弘, 日本原子力学会.
- 納富 昭弘, 日本保健物理学会.
- 納富 昭弘, 日本中性子捕捉療法学会.
- 納富 昭弘, ヨウ素学会.
- 河窪 正照, 公益社団法人 日本診療放射線技師会.
- 河窪 正照, 日本放射線技術学会.
- 河窪 正照, 日本成人先天性心疾患学会.
- 河窪 正照, 日本磁気共鳴医学会.
- 河窪 正照, 日本循環器学会.
- 河窪 正照, 日本心臓核医学会.
- 河窪 正照, American Society of Nuclear Cardiology (ASNC).
- 有村 秀孝, 日本医学物理士会.
- 藤淵 俊王, 日本診療放射線技師会.
- 藤淵 俊王, 日本放射線技術学会 (JSRT).
- 藤淵 俊王, 日本保健物理学会.
- 藤淵 俊王, 日本放射線安全管理学会.
- 藤淵 俊王, 日本医学物理学会 (JSMP).
- 藤淵 俊王, 日本核医学技術学会.
- 藤淵 俊王, 放射線安全フォーラム.
- 藤淵 俊王, 放射線影響懇話会.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 有村 秀孝, 2024 年度第 2 回次世代の九州がんプロ養成プラン医用量子線データサイエンティストコース講演会, 次世代の九州がんプロ養成プラン 九州大学大学院医学研究院保健学部門医用量子線科学分野医用量子線データサイエンティストコース, 2025 年 2 月 8 日, 九州大学病院キャンパス 保健学科本館.
- 有村 秀孝, 2024 年度第 1 回次世代の九州がんプロ養成プラン医用量子線データサイエンティストコース講演会、ハイブリッド講演会, 次世代の九州がんプロ養成プラン 九州大学大学院医学研究院保健学部門医用量子線科学分野医用量子線データサイエンティストコース, 2024 年 7 月 20 日, 九州大学病院キャンパス 保健学科本館.

6. 初等中等教育への貢献 なし

# 医用量子線科学分野

## 《医用放射線科学》

准教授	渥美 和重
准教授	井手口 忠光
教授	馬場 眞吾
教授	近藤 雅敏
教授	藪内 英剛
助教	小島 宰
助教	田中 延和

## 1. 教育活動

### 1. 大学院講義

臨床量子線科学Ⅱ	近藤 雅敏	後期
臨床量子線科学Ⅰ	近藤 雅敏	前期
医用量子線科学特別研究(近藤教授)	近藤 雅敏	通年
保健学研究論	近藤 雅敏	前期
Health Science Research	近藤 雅敏	前期
Clinical Quantum Science Ⅱ	近藤 雅敏	後期
Clinical Quantum Science Ⅰ	近藤 雅敏	前期
保健学研究論	近藤 雅敏	前期
医用量子線科学特別研究(近藤教授)	近藤 雅敏	通年
臨床量子線科学Ⅰ	近藤 雅敏	前期
Health Science Research	近藤 雅敏	前期
Clinical Quantum Science Ⅰ	近藤 雅敏	前期
臨床量子線科学Ⅱ	藪内 英剛	後期
臨床量子線科学Ⅰ	藪内 英剛	前期
保健医療とデータ科学	藪内 英剛	夏学期
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	藪内 英剛	前期
Molecular & Functional Imaging Technology	藪内 英剛	後期
Data Sciences in Health and Medicine	藪内 英剛	夏学期
Clinical Quantum Science Ⅰ	藪内 英剛	前期
Data Sciences in Health and Medicine	藪内 英剛	夏学期
臨床量子線科学Ⅰ	藪内 英剛	前期
量子線治療科学論	渥美 和重	後期
量子線治療科学演習	渥美 和重	前期
臨床量子線科学Ⅱ	渥美 和重	後期
臨床量子線科学Ⅰ	渥美 和重	前期
国際社会とチーム医療	渥美 和重	前期
医用量子線科学特別研究(渥美准教授)	渥美 和重	通年
保健医療とデータ科学	渥美 和重	夏学期
Quantum Radiation Therapy	渥美 和重	後期

Practice in Quantum Radiation Therapy	渥美 和重	前期
International Society and Multidisciplinary Care	渥美 和重	前期
Data Sciences in Health and Medicine	渥美 和重	夏学期
Clinical Quantum Science II	渥美 和重	後期
Clinical Quantum Science I	渥美 和重	前期
保健医療とデータ科学	渥美 和重	夏学期
国際社会とチーム医療	渥美 和重	前期
Practice in Quantum Radiation Therapy	渥美 和重	前期
Data Sciences in Health and Medicine	渥美 和重	夏学期
International Society and Multidisciplinary Care	渥美 和重	前期
分子機能画像科学演習	馬場 眞吾	前期
臨床量子線科学 I	馬場 眞吾	前期
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	馬場 眞吾	前期
Clinical Quantum Science I	馬場 眞吾	前期
臨床量子線科学 II	馬場 眞吾	前期
分子機能画像科学論	馬場 眞吾	後期
分子機能画像科学演習	馬場 眞吾	後期
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	馬場 眞吾	後期
Molecular & Functional Imaging Technology	馬場 眞吾	後期
Clinical Quantum Science II	馬場 眞吾	後期
Clinical Quantum Science I	馬場 眞吾	後期

## 2. 大学院実験・実習 なし

## 3. 大学院演習

医用量子線科学特別研究(藪内教授)	藪内 英剛	通年
国際プレゼンテーション(藪内教授)	藪内 英剛	通年
医用量子線科学特別研究(藪内教授)	藪内 英剛	通年
分子機能画像科学論	藪内 英剛	後期
分子機能画像科学演習	藪内 英剛	前期
保健学特別研究(藪内教授)	藪内 英剛	通年
分子機能画像科学演習	藪内 英剛	前期
保健学特別研究(藪内教授)	藪内 英剛	通年
国際プレゼンテーション(藪内教授)	藪内 英剛	通年
保健医療とデータ科学	藪内 英剛	夏学期
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	藪内 英剛	前期
Clinical Quantum Science II	藪内 英剛	後期
医用量子線科学特別研究(井手口准教授)	井手口 忠光	通年
医用量子線科学特別研究(井手口准教授)	井手口 忠光	通年
量子線治療科学演習	渥美 和重	前期
医用量子線科学特別研究(渥美准教授)	渥美 和重	通年

#### 4. 大学院修士課程修了者

麻生 理沙子	前立腺癌に対する CBCT 画像誘導即時適応放射線治療における IMRT 計画の評価
本松 晃	Dual-energy CT の仮想単色 X 線画像を用いた相対電子密度の逆計算
西澤 直人	3D FS-T2WI による TFCC 損傷の診断能向上と肩関節における Synthetic MRI の有用性の検討

#### 5. 大学院博士課程修了者

下宮 大和	Right Ventricular Strain With 4-Dimensional Computed Tomography Identifies Pulmonary Hypertension in Adults With Repaired Tetralogy of Fallot 四次元 CT 右室ストレイン解析を用いたファロー四徴症修復後患者における肺高血圧の同定
-------	--

#### 6. 学部講義

X線CT画像技術学	近藤 雅敏	学部教育
臨床解剖薬理学	近藤 雅敏	学部教育
画像解剖学演習 II	近藤 雅敏	学部教育
画像解剖学演習 I	近藤 雅敏	学部教育
放射線診断機器学 II	近藤 雅敏	学部教育
放射線診断機器学 I	近藤 雅敏	学部教育
放射線画像技術学 I	近藤 雅敏	学部教育
放射線技術科学入門 II	近藤 雅敏	学部教育
放射線技術科学入門 I	近藤 雅敏	学部教育
放射線医学技術学概論	近藤 雅敏	学部教育
実践画像技術学	近藤 雅敏	学部教育
基礎医療統計	近藤 雅敏	学部教育
品質管理論	近藤 雅敏	学部教育
医療安全学 II	近藤 雅敏	学部教育
医療安全学 I	近藤 雅敏	学部教育
医用画像評価学	近藤 雅敏	学部教育
画像解剖学演習 I	近藤 雅敏	学部教育
実践画像技術学	近藤 雅敏	学部教育
放射化学実験	近藤 雅敏	学部教育
臨床解剖薬理学	近藤 雅敏	学部教育
医用画像評価学	近藤 雅敏	学部教育
品質管理論	近藤 雅敏	学部教育
放射線技術科学入門 I	近藤 雅敏	学部教育
X線CT画像技術学	近藤 雅敏	学部教育
放射線画像技術学 I	近藤 雅敏	学部教育
放射線機器学実験	近藤 雅敏	学部教育
画像解剖学演習 I	近藤 雅敏	学部教育
画像解剖学演習 II	近藤 雅敏	学部教育
臨地実習	近藤 雅敏	学部教育
臨床イメージング	藪内 英剛	基幹教育
MR画像技術学	藪内 英剛	学部教育

臨床解剖薬理学	藪内 英剛	学部教育	
臨地実習	藪内 英剛	学部教育	
画像解剖学Ⅱ	藪内 英剛	学部教育	
画像解剖学Ⅰ	藪内 英剛	学部教育	
生理機能検査学Ⅲ	藪内 英剛	学部教育	
生理機能検査学Ⅱ	藪内 英剛	学部教育	
生理機能検査学Ⅰ	藪内 英剛	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅱ	藪内 英剛	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅰ	藪内 英剛	学部教育	
放射線医学技術学概論	藪内 英剛	学部教育	
卒業研究	藪内 英剛	学部教育	
医学総論Ⅱ	藪内 英剛	学部教育	
医学総論Ⅰ	藪内 英剛	学部教育	
人体の構造と機能Ⅲ	藪内 英剛	学部教育	
人体の構造と機能Ⅱ	藪内 英剛	学部教育	
臨地実習	井手口 忠光	学部教育	
画像解剖学演習Ⅱ	井手口 忠光	学部教育	
画像解剖学演習Ⅰ	井手口 忠光	学部教育	
放射線診断機器学Ⅰ	井手口 忠光	学部教育	
放射線画像技術学Ⅱ	井手口 忠光	学部教育	
放射線機器学実験	井手口 忠光	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅱ	井手口 忠光	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅰ	井手口 忠光	学部教育	
放射性同位元素検査技術学	井手口 忠光	学部教育	
医療安全学Ⅱ	井手口 忠光	学部教育	
医療安全学Ⅰ	井手口 忠光	学部教育	
医用画像評価学	井手口 忠光	学部教育	
医用画像情報学Ⅱ	井手口 忠光	学部教育	
医用画像情報学Ⅰ	井手口 忠光	学部教育	
臨地実習	井手口 忠光	学部教育	
臨床解剖薬理学	渥美 和重	学部教育	
臨地実習	渥美 和重	学部教育	
放射線腫瘍学	渥美 和重	学部教育	
放射線生物学	渥美 和重	学部教育	
放射線治療技術学Ⅱ	渥美 和重	学部教育	
放射線治療技術学Ⅰ	渥美 和重	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅱ	渥美 和重	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅰ	渥美 和重	学部教育	
放射線医学技術学概論	渥美 和重	学部教育	
医学総論Ⅱ	渥美 和重	学部教育	
医学総論Ⅰ	渥美 和重	学部教育	
人体の構造と機能Ⅱ	渥美 和重	学部教育	
卒業研究	渥美 和重	学部教育	
品質管理論	田中 延和	学部教育	後期
医用画像評価学	田中 延和	学部教育	後期

放射線技術科学入門Ⅱ	田中 延和	学部教育	後期
放射線画像技術学Ⅱ	田中 延和	学部教育	前期
放射線画像技術学Ⅰ	田中 延和	学部教育	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	田中 延和	学部教育	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	小島 宰	学部教育	
品質管理論	小島 宰	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅱ	小島 宰	学部教育	
実践画像技術学	小島 宰	学部教育	
放射線医学技術学概論	馬場 眞吾	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅰ	馬場 眞吾	学部教育	
核医学検査学Ⅰ	馬場 眞吾	学部教育	
放射化学実験	馬場 眞吾	学部教育	
臨床解剖薬理学	馬場 眞吾	学部教育	
核医学検査学Ⅱ	馬場 眞吾	学部教育	
核医学検査学Ⅰ	馬場 眞吾	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅱ	馬場 眞吾	学部教育	
放射線技術科学入門Ⅰ	馬場 眞吾	学部教育	
放射線医学技術学概論	馬場 眞吾	学部教育	
放射性同位元素検査技術学	馬場 眞吾	学部教育	
放射化学実験	馬場 眞吾	学部教育	
放射化学	馬場 眞吾	学部教育	
医療安全学Ⅱ	馬場 眞吾	学部教育	
医療安全学Ⅰ	馬場 眞吾	学部教育	
医学総論Ⅱ	馬場 眞吾	学部教育	
医学総論Ⅰ	馬場 眞吾	学部教育	

## 7. 学部の実験・実習・演習

放射線画像技術学実習	近藤 雅敏	学部教育	
放射線機器学実験	近藤 雅敏	学部教育	
臨地実習	近藤 雅敏	学部教育	
放射線治療技術学実習	渥美 和重	学部教育	
卒業研究	渥美 和重	学部教育	
放射線画像技術学実習	井手口 忠光	学部教育	
放射線画像技術学実習	田中 延和	学部教育	後期
放射化学実験	田中 延和	学部教育	夏学期
画像解剖学演習Ⅱ	田中 延和	学部教育	夏学期
画像解剖学演習Ⅰ	田中 延和	学部教育	春学期
放射線計測学実験	田中 延和	学部教育	前期
卒業研究	田中 延和	学部教育	通年
放射化学実験	小島 宰	学部教育	
放射線画像技術学実習	小島 宰	学部教育	

## 8. 卒業論文作成者

濱山 紗英	異なる散乱線除去グリッドと撮影線量条件下における腰椎 X 線撮影の画質評価に関する研究
中島 楓	乳腺超音波エラストグラフィにおける信号の歪みと色度の関連性に関する研究
酒井 優果	一対比較法を用いた MS-SSIM と CT 画像の画質検証
高村 純平	医用液晶ディスプレイの 10bit と 8bit 表示における信号検出能比較
大塚 智代	X 線撮影室の機器配置と撮影アプローチ側の違いによる視点解析
政木 結衣	Lu-177 オキソトレオチド治療の臓器線量推定法の比較
石司 光太郎	Dual-energy CT におけるヨード密度逆計算のための仮想単色 X 線画像の組み合わせ選択法
南條 航希	Dual-energy Computed Tomography における仮想単色 X 線画像生成時の基準物質密度補正
山田 直希	Dual-energy CT における実効原子番号逆計算のための仮想単色 X 線画像の組み合わせ選択法
田代 楓	CT テキスチャ解析による特発性肺線維症の治療効果予測
森川 凜	肩関節における Synthetic MRI の T2 値: 2D 撮影と 3D 撮影の比較
植野 翔子	TFCC における圧縮センシング SENSE-AI を用いた高分解能 MRI の至適撮像法の検討
野口 愛莉	肺癌の VMAT-SBRT における Halcyon と TrueBeam の線量分布の評価
荒木 真由	肺癌 SBRT における Ethos を用いた治療計画の評価
小野 千夏	Halcyon を用いた前立腺癌 VMAT の治療計画の評価
犬塚 果奈	全身 FDG ファントムにおける PET 定量性の比較
上玉利 歩咲	半導体型検出器を用いた In-111 SPECT 定量性の検討
池上 莉緒	アミロイド PET の白質、灰白質分離における画像処理の効果の検討

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	Dual Energy CT における仮想単色 X 線画像を用いた逆問題の検討	近藤 雅敏
2	Dual Energy CT	近藤 雅敏
3	10bit 医療用モニターを用いた信号検出能の評価ー従来型 8bit との比較ー	井手口 忠光
4	機械学習を用いた TOF 補正の PET 画質評価に関する研究	馬場 眞吾
5	Lu-177-DOTATATE 治療の線量推定における画像による吸収線量の違いの検討	馬場 眞吾
6	サイクロトロンによるガリウム 68 標識放射性薬剤の安定製造に関する研究	馬場 眞吾
7	CT, MRI による機能画像の研究	藪内 英剛
8	超音波診断システムの撮像技術に関する研究	田中 延和
9	デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究	田中 延和
10	液晶ディスプレイの特性の評価に関する研究	田中 延和
11	CT の臨床技術と画質評価に関する研究	小島 幸
12	即時適応放射線治療に関する研究	渥美 和重

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

近藤 雅敏

- 「若手研究」次世代医療基盤法が目指す医療情報利活用のための Dual-energy CT の解析法開発. (公開)

馬場 眞吾

- 「基盤研究(C)」サイクロトロンによるガリウム 68 標識放射性薬剤の安定製造に関する研究. (公開)
- 「」サイクロトロンによるガリウム 68 標識放射性薬剤の安定製造に関する研究. (公開)
- 「基盤研究(C)」左心補助人工心臓装着に伴う感染症に対する FDG-PET/CT を用いた新たな診断方法の確立. (公開)

小島 幸

- 「若手研究」深層学習を用いた心電図同期 CT 画像の生成と心疾患予防医療への応用. (公開)

田中 延和

- 「若手研究」深層学習による線量指標を用いた画質管理の基礎的研究. (公開)

井手口 忠光

- 「共同研究」本共同研究では、九州大学医学部保健学科放射線技術科学専攻に導入済みの富士フイルム株式会社の製品を使用し、定量的で客観的な画質の比較と、それらの製品(含むソフトウェア)の有効な活用法について共同研究を行う. (公開)

藪内 英剛

- 「基盤研究(C)」肺動脈容積測定と CT texture 解析による膠原病合併肺高血圧症の早期検出と層別化. (公開)
- 「基盤研究(C)」胸部 X 線動態撮影と人工知能を組み合わせた全自動式肺塞栓症診断システムの開発. (公開)

## 3. 学内研究経費の受入れ なし

## 4. 奨学寄付金の受入れ なし

## 5. その他の外部研究資金の受入れ なし

## 6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

## 7. 研究成果の報告

### ○ 学会誌・学術専門誌

- Kojima, T; Yamasaki, Y; Nishigake, D; Shirasaka, T; Kondo, M; Hioki, K; Kamitani, T; Kato, T; Ishigami, K: Clinical utility of non-gated 4-min delayed dual-energy CT for myocardial extracellular volume quantification, *BRITISH JOURNAL OF RADIOLOGY*, 2025 年 2 月 19 日.

- Shimomiya Y, Nagao M, Kogure T, Asagai S, Inoue A, Yamamoto A, Sakai S, Inai K, Shirasaka T, Kojima T, Yabuuchi H: Right Ventricular Strain With 4-Dimensional Computed Tomography Identifies Pulmonary Hypertension in Adults With Repaired Tetralogy of Fallot., *Circulation journal: official journal of the Japanese Circulation Society*, 2024 年 8 月 22 日.
- 田畑 成章, 伊地知 哲也, 板井 宏孝, 立石 賢, 北 健斗, 尾畑 麻美, 河原 優菜, 園田 梨紗, 加藤 伸一, 井上 敏朗, 井手口 忠光: 一対比較法における深層学習を用いた観察者不足改善手法の提案, *日本放射線技術学会雑誌*, 2024 年 6 月.
- Baba, S; Kinoshita, F; Yamamoto, Y; Nakanishi, Y; Akamine, T; Kohno, M; Ozono, K; Takenaka, T; Yoshizumi, T: A stage IIIA lung adenocarcinoma case achieving pathological response with only one cycle of preoperative nivolumab combination chemotherapy, *GENERAL THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY CASES*, 2025 年 2 月 3 日.
- Yoshida, S; Hayashi, H; Kawahara, T; Katsuki, S; Kimura, M; Hino, R; Sun, J; Nakamaru, R; Tenma, A; Toyoura, M; Baba, S; Shimamura, M; Katsuya, T; Morishita, R; Rakugi, H; Matoba, T; Nakagami, H: A Vaccine Against Fibroblast Activation Protein Improves Murine Cardiac Fibrosis by Preventing the Accumulation of Myofibroblasts, *CIRCULATION RESEARCH*, 2025 年 1 月 3 日.
- Hirono K., Hata Y., Imamura T., Tsuboi K., Takarada S., Okabe M., Nakaoka H., Ibuki K., Ozawa S., Ichimata S., Nishida N., Iwasaki H., Urata S., Okada S., Hiratsuji T., Sakaguchi H., Takigiku K., Nakazawa M., Nishihara E., Harada M., Matsuo O., Yasuda K., Yoshida Y., Namiki H., Yasuda K., Ifuku T., Urayama K., Oka H., Ogino K., Kato A., Kan N., Seki S., Seki M., Odanaka Y., Iwashima S., Yoshida S., Miyata T., Miyamoto T., Watanabe K., Kuwabara N., Inuzuka R., Takahashi Y., Sakazaki H., Muneuchi J., Kogaki S., Numano F., Kido S., Nii M., Hoshino S., Ishida H., Maeda J., Hayabuchi Y., Otsubo Y., Ikeda K., Tsukano S., Watanabe M., Momoi N., Fujii T., Fujioaka T., Fujino M., Uchiyama H., Baba S., Horigome H., Honda T., Suzuki K., Ichida F.: Determination of Genotype and Phenotypes in Pediatric Patients With Biventricular Noncompaction, *Journal of the American Heart Association*, 2024 年.
- Masunaga, T; Hashimoto, T; Fujino, T; Ohtani, K; Ishikawa, Y; Yoshitake, T; Shinohara, K; Matsushima, S; Ide, T; Yamasaki, Y; Isoda, T; Baba, S; Ishigami, K; Tsutsui, H; Kinugawa, S: Different Impact of Immunosuppressive Therapy on Cardiac Outcomes in Systemic Versus Isolated Cardiac Sarcoidosis, *INTERNATIONAL HEART JOURNAL*, 2024 年 9 月 30 日.
- Sato, T; Yamate, S; Utsunomiya, T; Inaba, Y; Ike, H; Kinoshita, K; Doi, K; Kawano, T; Shiomoto, K; Hara, T; Sonoda, K; Kaneuji, A; Takahashi, E; Shimizu, T; Takahashi, D; Kohno, Y; Kabata, T; Inoue, D; Matsuda, S; Goto, K; Mawatari, T; Baba, S; Takagi, M; Ito, J; Nakashima, Y: Life Course Epidemiology of Hip Osteoarthritis in Japan A Multicenter, Cross-Sectional Study, *JOURNAL OF BONE AND JOINT SURGERY-AMERICAN VOLUME*, 2024 年 6 月 5 日.
- Baba, S; Ohshiro, S; Kamei, A; Hokada, T; Kitano, I: Low-pressure isobaric cooling metamorphic *P-T* paths from Botnnuten in the southern Lutzow-Holm Complex, East Antarctica, *MINERALOGY AND PETROLOGY*, 2024 年 9 月.

- Mawatari, T; Baba, S; Lee, DC; Hagio, S; Kawano, K; Sueda, R; Harada, S; Kitamura, K; Mawatari, J; Nakashima, Y; Khosla, S; Keaveny, TM: Propensity Score Matched Comparison of Femoral Strength Between White and Japanese Populations Using Finite Element Analysis of Computed Tomography Scans – E-JOS Femoral Study Second Report, *JOURNAL OF BONE AND MINERAL RESEARCH*, 2024 年 11 月.
- Kusafuka, K; Nakatani, E; Baba, S; Arai, Y; Maeda, M; Yamanegi, K; Murase, T; Inagaki, H; Otsuki, Y; Suzuki, K; Iwai, H; Imamura, Y; Yamanaka, S; Ito, I; Sato, M; Kurata, M; Daa, T; Kawasaki, T; Kawata, R; Tachibana, Y; Fukuoka, J; Suzuki, T; Yamamoto, H; Arai, K; Suzuki, M: Re-evaluation of histopathological factors for the outcome of salivary duct carcinoma patients: A multi-institutional retrospective study of 240 cases in a Japanese cohort, *HUMAN PATHOLOGY*, 2025 年 1 月.
- Hirono, K; Hata, Y; Ichimata, S; Nishida, N; Imamura, T; Asano, Y; Kuramoto, Y; Tsuboi, K; Takarada, S; Okabe, M; Nakaoka, H; Ibuki, K; Ozawa, S; Muneuchi, J; Yasuda, K; Urayama, K; Oka, H; Miyamoto, T; Baba, K; Kato, A; Saiki, H; Kuwabara, N; Harada, M; Baba, S; Morikawa, M; Iwasaki, H; Hirata, Y; Ito, Y; Sakaguchi, H; Urata, S; Toda, K; Kittaka, E; Okada, S; Hasebe, Y; Hoshino, S; Fujii, T; Mitsushita, N; Nii, M; Ogino, K; Fujino, M; Yoshida, Y; Fukuda, Y; Iwashima, S; Takigiku, K; Sakata, Y; Inuzuka, R; Maeda, J; Hayabuchi, Y; Fujioka, T; Namiki, H; Fujita, S; Nishida, K; Kuraoka, A; Kan, NBHK; Kido, S; Watanabe, K; Ichida, F: Sarcomere gene variants did not improve cardiac function in pediatric patients with dilated cardiomyopathy from Japanese cohorts, *SCIENTIFIC REPORTS*, 2024 年 12 月 16 日.
- Mawatari, J; Hagio, S; Harada, S; Baba, S; Kawano, K; Sueda, R; Mawatari, T: The Impact of Osteoporosis Treatment on Trochanteric Hip Fractures with Posterolateral Support Deficiency: A Retrospective Analysis, *JOURNAL OF BONE AND MINERAL RESEARCH*, 2024 年 11 月.
- Masunaga Tomoka, Hashimoto Toru, Fujino Takeo, Ohtani Kisho, Ishikawa Yusuke, Yoshitake Tomoaki, Shinohara Keisuke, Matsushima Shouji, Ide Tomomi, Yamasaki Yuzo, Isoda Takuro, Baba Shingo, Ishigami Kousei, Tsutsui Hiroyuki, Kinugawa Shintaro: 全身性または限局性心臓サルコイドーシスの心アウトカムに対する免疫抑制療法の異なる影響 (Different Impact of Immunosuppressive Therapy on Cardiac Outcomes in Systemic Versus Isolated Cardiac Sarcoidosis), *International Heart Journal*, 2024 年 9 月.
- Takano, T; Tsubouchi, K; Hamada, N; Ichiki, K; Torii, R; Takata, S; Kawakami, S; Nakagaki, N; Yoshida, M; Kitasato, Y; Tobino, K; Harada, E; Ishii, H; Wataya, H; Maeyama, T; Fujita, M; Yatera, K; Okamoto, M; Yabuuchi, H; Kiyomi, F; Tokunaga, S; Nakanishi, Y; Okamoto, I: Update of prognosis and characteristics of chronic obstructive pulmonary disease in a real-world setting: a 5-year follow-up analysis of a multi-institutional registry, *BMC PULMONARY MEDICINE*, 2024 年 11 月 6 日.
- Kodama T., Arimura H., Tokuda T., Tanaka K., Yabuuchi H., Gowdh N.F.M., Liam C.K., Chai C.S., Ng K.H.: Topological radiogenomics based on persistent lifetime images for

identification of epidermal growth factor receptor mutation in patients with non-small cell lung tumors, *Computers in Biology and Medicine*, 2025 年 2 月.

- Yamasaki, Y; Hosokawa, K; Kamitani, T; Abe, K; Sagiyama, K; Hino, T; Ikeda, M; Nishimura, S; Toyoda, H; Moriyama, S; Kawakubo, M; Matsutani, N; Yabuuchi, H; Ishigami, K :  
Diagnostic accuracy and added value of dynamic chest radiography in detecting pulmonary embolism: A retrospective study, *EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY OPEN*, 2024 年 12 月.
  - Shimomiya Yamato, Nagao Michinobu, Kogure Tomohito, Asagai Seiji, Inoue Akihiro, Yamamoto Atsushi, Sakai Shuji, Inai Kei, Shirasaka Takashi, Kojima Tsukasa, Yabuuchi Hidetake: 4次元心臓 CT による右室ストレイン評価はフェロー四徴症の術後成人における肺高血圧症を同定する(Right Ventricular Strain With 4-Dimensional Computed Tomography Identifies Pulmonary Hypertension in Adults With Repaired Tetralogy of Fallot), *Circulation Journal*, 2024 年 12 月.
  - Yamasaki, Y; Hosokawa, K; Kamitani, T; Abe, K; Sagiyama, K; Hino, T; Ikeda, M; Nishimura, S; Toyoda, H; Moriyama, S; Kawakubo, M; Matsutani, N; Yabuuchi, H; Ishigami, K:  
Diagnostic accuracy and added value of dynamic chest radiography in detecting pulmonary embolism: A retrospective study; *EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY OPEN 13*, 2024 年 12 月.
  - Shimomiya Y, Nagao M, Kogure T, Asagai S, Inoue A, Yamamoto A, Sakai S, Inai K, Shirasaka T, Kojima T, Yabuuchi H: Right Ventricular Strain With 4-Dimensional Computed Tomography Identifies Pulmonary Hypertension in Adults With Repaired Tetralogy of Fallot., *Circulation journal: official journal of the Japanese Circulation Society*, 2024 年 8 月 22 日.
  - Tong, YZ; Arimura, H; Yoshitake, T; Cui, YH; Kodama, T; Shioyama, Y; Wirestam, R; Yabuuchi, H: Prediction of Consolidation Tumor Ratio on Planning CT Images of Lung Cancer Patients Treated with Radiotherapy Based on Deep Learning, *APPLIED SCIENCES-BASEL*, 2024 年 4 月.
  - Nishizawa N, Yabuuchi H, Nishikawa K, Wada T, Kobayashi K, Tokunaga C, Kojima T, Ohnishi T, Yano Y, Sagiyama K, Hida T, Yamasaki Y, Hino T, Ishigami K. : Optimization of shoulder synthetic MRI through post-processing and comparison with conventional MRI, *European Journal of Radiology*, 2025 年 3 月.
  - Mikayama R, Togao O, Obara M, Wada T, Tokunaga C, Yoshidome S, Kato T, Isoda T, Ishigami K, Yabuuchi H.: Multi-delay arterial spin labeling using a variable repetition time scheme in Moyamoya disease: Comparison with single-delay arterial spin labeling, *European Journal of Radiology*, 2025 年 3 月.
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし
  - 大学・研究機関などの刊行誌 なし
  - 調査研究報告 なし

## ○ 国内学会での講演, 発表

- 大椋 愁斗, 高村 純平, 田畑 成章, 井手口 忠光: 医療用モニタのビット深度の違いによる低コントラスト分解能の評価, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, (公社)日本放射線技術学会, 2025 年 3 月.
- 北島 和孝, 田畑 成章, 井手口 忠光: デジタル X 線画像におけるタスクベース鮮鋭度評価のアプリケーション開発, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, (公社)日本放射線技術学会, 2025 年 3 月.
- 大塚智代, 酒井優果, 板井宏孝, 川崎年久, 井手口忠光: X 線撮影室の機器配置と撮影アプローチ側の違いによる視点解析, 第 19 回九州放射線医療技術学術大会, 日本放射線技術学会 九州支部, 宮崎市, 2024 年 12 月 22 日.
- 高村 純平, 大椋 愁斗, 田畑 成章, 井手口 忠光: 医用液晶ディスプレイの 10bit と 8bit 表示における信号検出能比較, 第 19 回九州放射線医療技術学術大会, 日本放射線技術学会九州支部, 宮崎市, 2024 年 12 月 21 日.
- 酒井優果, 北健斗, 田畑成章, 井手口忠光: 一対比較法を用いた MS-SSIM と CT 画像の画質検証, 第 19 回九州放射線医療技術学術大会, 日本放射線技術学会 九州支部, 宮崎市, 2024 年 12 月 22 日.
- 北島和孝, 田畑成章, 井手口忠光: デジタル X 線画像における円形エッジデバイスを用いた鮮鋭度評価法の検討, 第 200 回 医用画像情報学会, 医用画像情報学会, 大阪, 2024 年 10 月 5 日.
- 大椋愁斗, 高村純平, 田畑成章, 井手口忠光: 医用液晶ディスプレイにおける 8bit および 10bit 表示の信号検出能比較, 第 200 回 医用画像情報学会, 医用画像情報学会, 大阪, 2024 年 10 月 5 日.
- 北健斗, 田中延和, 田畑成章, 大藤孝文, 猪本奈美, 加藤豊幸, 井手口忠光: ノイズ抑制処理による胸部 target EI 低減の可能性: 新しい画質評価法 SSIM と視覚評価を用いた検討, 第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会, 日本放射線技術学会, パシフィコ横浜, 2024 年 4 月 14 日.
- 田畑成章, 伊地知哲也, 板井宏孝, 北健斗, 加藤伸一, 井上敏朗, 井手口忠光: 一対比較法における深層学習を用いた観察者不足改善手法の提案: ファントム形状による影響, 第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会, 日本放射線技術学会, パシフィコ横浜, 2024 年 4 月 14 日.
- 大島 健史, 脇山 浩明, 上原 隆治, 久野 修, 高木 正統, 石神 康生, 吉武 忠正, 松本 圭司, 渥美 和重, 梅尾 理: 当院における Diffuse midline glioma に対する放射線治療成績, Japanese Journal of Radiology, (公社)日本医学放射線学会, 2025 年 2 月.
- 小島 宰, 勝山 裕菜, 三賀山 諒司, 白坂 崇, 宮田 祐樹, 加藤 豊幸, 藪内 英剛: Deep learning spectral CT による心筋 extracellular volume fraction の正確性とスキャン線量の関係: 特注模擬心筋インサートによる検討, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, (公社)日本放射線技術学会, 2025 年 3 月.
- 近藤 雅敏, 本松 晃, 小島 宰, 船津 亮平, 白坂 崇, 加藤 豊幸: デュアルエネルギーCTにおける基準物質密度の逆計算のための仮想単色 X 線画像の組み合わせ選択法, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, (公社)日本放射線技術学会, 2025 年 3 月.
- 小島 宰: DECT で何か出来るか?, Cyber DECT 9th Conference, 2025 年 3 月 6 日.

- 小島 幸: CT Technology Transformation Through Artificial Intelligence: Implications for Oncology., Asan Medical Center, 大韓民国, 2025 年 2 月 14 日.
- 白坂 崇, 勝山 裕菜, 小島 幸, 三賀山 諒司, 加藤 豊幸, 石神 康生: 異なる被写体サイズにおける冠動脈 CT の血管描出能(超高精細 CT と面検出器 CT の比較), 日本 CT 技術学会雑誌, (NPO)日本 CT 技術学会, 2024 年 6 月.
- Tsukasa Kojima, Y. Yamasaki, D. Nishigake, T. Shirasaka, M. Kondo, K. Hioki, K. Sagiyama, T. Kato, H. Yabuuchi, K. Ishigami: Clinical utility of non-gated 4-minute delayed dual-energy computed tomography for myocardial extracellular volume quantification, 2024 年 6 月 10 日.
- 三賀山 諒司, 小島 幸, 白坂 崇, 山根 志穂, 船津 亮平, 加藤 豊幸, 藪内 英剛: Deep learning based spectral CT を用いた心電図同期 dual energy scan における冠動脈狭窄率計測と心拍数の関係, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, (公社)日本放射線技術学会, 2024 年 4 月.
- 勝山 裕菜, 小島 幸, 三賀山 諒司, 園川 実歩, 白坂 崇, 船津 亮平, 加藤 豊幸: 320 列 deep learning based spectral CT による心筋 extracellular volume の精度とスキャン線量の関係, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024 年 4 月.
- 日置 一仁, 白坂 崇, 小島 幸, 船津 亮平, 加藤 豊幸: Dual energy CT におけるノイズとヨード密度画像の精度に関する検討, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024 年 4 月.
- 山根 志穂, 白坂 崇, 小島 幸, 三賀山 諒司, 齊藤 裕也, 石神 康生, 加藤 豊幸: Dual layer spectral CT を用いた肝臓脂肪の定量精度, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024 年 4 月.
- 園川 実歩, 小島 幸, 勝山 裕菜, 三賀山 諒司, 白坂 崇, 船津 亮平, 加藤 豊幸: 冠動脈 CT における超解像画像再構成が冠動脈ステント内腔評価に与える影響 phantom study, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024 年 4 月.
- Nobukazu Tanaka, Yongsu Yoon, Tadimitsu Ideguchi: Exposure Index and Image Quality in Abdominal Radiography Using Different Anti-scatter Grids, 24th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) and 22nd Southeast Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP), マレーシア, 2024 年 10 月 11 日.
- Nobukazu Tanaka, Yongsu Yoon, Tadimitsu Ideguchi: Experimental Study of Correlation between Exposure Index and Noise on Chest Radiography at Different Tube Voltages, The 10th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 2024 年 9 月 20 日.
- 田中 延和, 杜下 淳次: デジタル X 線撮影システムにおける MTF 評価の注意点: サンプルング間隔とエリアシングの影響, 第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会, パシフィコ横浜, 2024 年 4 月.
- 田代楓, 藪内英剛, 小島幸, 西澤直人, 大西匠, 矢野祐二, 植野翔子, 森川凜, 鷺山幸二, 石神康生: CT テキスチャ解析による特発性肺線維症の治療効果予測, 第 19 回九州放射線医療技術学術大会, 日本放射線技術学会 九州支部, 宮崎市, 2021 年 12 月 1-2 日.
- 森川凜, 藪内英剛, 西川啓, 和田達弘, 小林幸次, 小島幸, 西澤直人, 大西匠, 矢野祐二, 植野翔子, 田代楓: 肩関節 Synthetic MRI の T2 値: 2D 撮影と 3D 撮影の比較, 第 19 回九州放射線医療技術学術大会, 日本放射線技術学会 九州支部, 宮崎市, 2021 年 12 月 1-2 日.

- 西澤直人, 藪内英剛, 小川光, 池辺栄一, 福谷龍郎, 稲富輝: 三角線維軟骨複合体の診断における脂肪抑制 T2WI の追加の有用性の検討, 第 80 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 日本放射線技術学会, パシフィコ横浜, 2024 年 4 月 12 日.
- 西澤直人, 藪内英剛, 西川啓, 和田達弘, 小林幸次, 徳永千晶, 大西匠, 矢野祐二, 鷺山幸二, 石神康生: 肩関節における Synthetic MRI の有用性の検討: 従来法との比較および後処理による至適パラメータの検討, 第 52 回 日本磁気共鳴医学会大会, 日本磁気共鳴医学会, 幕張メッセ, 2024 年 9 月 21 日.
- Yabuuchi H.: State-of-the-Art Lung MRI for Lung Nodule & Cancer Staging., 2024 ISMRM-ISMRT Annual Meeting, ISMRM, Singapore, 2024 年 5 月 8 日.
- Yabuuchi H, Sagiya K, Yamasaki Y, Hida T, Hino T, Tsubouchi K, Takano T, Ishigami K.: Prediction of antifibrotic therapy response for idiopathic pulmonary fibrosis by quantitative CT analysis., The 11th International Workshop on Pulmonary Functional Imaging, International Society of Pulmonary Functional Imaging, Ohtsu, 2024 年 8 月 24 日.
- Yabuuchi H, Sagiya K, Yamasaki Y, Hida T, Hino T, Tsubouchi K, Niino H, Ishigami K.: Pulmonary hypertension associated with systemic sclerosis: utility of pulmonary artery volume ratio., The 11th International Workshop on Pulmonary Functional Imaging, International Society of Pulmonary Functional Imaging, Ohtsu, 2024 年 8 月 25 日.
- Risako Aso, Yudai Hirata, Taka-aki Hirose, Jun-ichi Fukunaga, Masanori Takaki, Tadamasu Yoshitake, Kazushige Atsumi: Evaluation of IMRT planning using artificial intelligence for prostate cancer, 第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会.

○ 学会以外での講演, 発表 なし

## 著作

### 1. 単行本

- 芦澤和人, 藤本公則, 藪内英剛: 即戦力が身につく 胸部の画像診断, editor/編集, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2024 年 4 月.

### 2. 総説

- 織内昇, 佐藤葉子, 千田道雄, 田代学, 巽光朗, 立石宇貴秀, 中本裕士, 西井龍一, 花岡宏史, 馬場眞吾, 平田健司, 細野眞, 間賀田泰寛, 日本アイソトープ協会医学・薬学部会ポジロン核医学利用専門委員会: NDB オープンデータを活用した我が国の 2022 年度の PET 保険診療と COVID-19 流行が与えた影響の評価, Radioisotopes, 2025 年 3 月.
- 檜作響子, 藤淵俊王, 荒川弘之: 方向ベクトルを利用した放射線防護板配置時の簡易線量分布計算法の検討, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024 年.
- 藤淵俊王, 荒川弘之: 放射線防護板の位置に応じたリアルタイム散乱線分布表示アプリケーションの開発, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024 年.

- 山田琢磨, 菊田航介, 荒川弘之, 佐々木真, 西澤敬之, MOON C., 永島芳彦, 小菅佑輔, 糟谷直宏, 藤澤彰英: 多チャンネル計測による直線プラズマの乱流解析, Turbulence analysis of linear plasma using multi-channel measurement, 日本物理学会講演概要集(CD-ROM), 2024年.
- 境真由, 李孝眞, 藤淵俊王, 荒川弘之: 半導体カメラによる X 線透視での散乱線源のリアルタイムイメージングの検討, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024年.
- 藤淵俊王, 荒川弘之: Extended realty による X 線透視における放射線防護の最適化の理解た目的とした教育シナリオの作成と実践, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024年.
- 野口昂生, 藤淵俊王, 荒川弘之: AR 技術を利用した血管造影時の散乱線の可視化による放射線防護教材の作成, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 2024年.
- 小島 幸: 放射線技術の未来へ-DX による変革と革新(3)DX 化が開く CT 検査の新時代, 日本診療放射線技師会誌 71(12), 2024年12月1日.

### 3. 解説, 書評など なし

## 受賞

- 馬場 眞吾: 日本放射線技術学会, 第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会 学生賞, 2024年4月.
- 馬場 眞吾: 日本放射線技術学会, 第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会 学生最優秀賞, 2024年4月.

## 報道 なし

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

- 馬場 眞吾: サイクロトロンによるガリウム 68 標識放射性薬剤の安定製造に関する研究, 2024年05月~2026年03月, 公開.
- 井手口 忠光, 田中 延和(共同研究): デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究, 2023年04月~2025年03月, 公開.

### 2. 受託研究 なし

### 3. 取得特許 なし

### 4. 兼業 なし

### 5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

### 1. 海外出張・研修出張

- 田中 延和: 24th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) and 22nd Southeast Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP) (October 10th - 13th, 2024), マレーシア, 2024年10月.
- 小島 幸: ASAN MEDICAL CENTER, 大韓民国, 2025年02月.
- 近藤雅敏: 24th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) and 22nd Southeast Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP) (October 10th - 13th, 2024), マレーシア, 2024年10月.
- 渥美和重: 24th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) and 22nd Southeast Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP) (October 10th - 13th, 2024), マレーシア, 2024年10月.

### 2. 外国人研究者の受入れ なし

### 3. 留学生の受入れ

- 藪内英剛, 田中延和: 保健学部門短期訪問学生, タイ・マヒドン大学(6名), 2024年4月1日～2024年4月30日.

### 4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 馬場 眞吾, 入試実施委員会.
- 渥美 和重, 学生委員会.
- 田中 延和, 百人部会 委員.

### 2. 部局委員 なし

### 3. 部門・コース内委員

- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 評議員.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 理事.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 運営委員.
- 井手口 忠光, 日本医用画像情報学会, 理事.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 評議員.
- 藪内 英剛, 施設環境委員会, 委員長.
- 藪内 英剛, 大学院委員会, 委員.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 編集委員.
- 馬場 眞吾, 日本医学放射線学会, 代議員.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 教育・専門医審査委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 核医学診療看護師制度専門委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, PET 核医学委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 広報委員会.

- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 放射線防護委員会 委員長.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 九州・沖縄支部会 支部長.
- 井手口 忠光, 九州大学, 地域国際連携推進・FD 連携委員会.
- 近藤 雅敏, 九州大学, 教務委員会.
- 近藤 雅敏, 九州大学, 医療系総合教育研究センター委員会.
- 近藤 雅敏, 九州大学, 保健学部門地域国際・FD 連携委員会.
- 田中 延和, 九州大学, 広報委員会 委員.
- 渥美 和重, 九州大学, 学生委員会.

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 近藤 雅敏, 令和健康科学大学, 非常勤講師, 国内.
- 渥美 和重, 久留米大学, 非常勤講師, 国内.

### 2. 学協会

- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 評議員.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 理事.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 運営委員.
- 井手口 忠光, 日本医用画像情報学会, 理事.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 評議員.
- 藪内 英剛, 日本医学放射線学会, 代議員.
- 藪内 英剛, 日本医学放射線学会, 編集委員 JJR 副編集長.
- 藪内 英剛, 日本医学放射線学会, 専門医制度委員会 委員.
- 藪内 英剛, 日本医学放射線学会, 教育委員会 委員.
- 藪内 英剛, 胸部放射線研究会, 副代表幹事.
- 藪内 英剛, 福岡胸部放射線研究会, 代表世話人.
- 藪内 英剛, 福岡呼吸器カンファレンス, 世話人.
- 藪内 英剛, 福岡びまん性肺疾患研究会, 世話人.
- 藪内 英剛, 福岡肺感染症研究会, 世話人.
- 藪内 英剛, 北部九州画像診断フォーラム, 世話人.
- 藪内 英剛, 九州肺癌カンファレンス, 世話人.
- 藪内 英剛, 呼吸機能イメージング研究会, 世話人.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 編集委員.
- 馬場 眞吾, 日本医学放射線学会, 代議員.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 教育・専門医審査委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 核医学診療看護師制度専門委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, PET 核医学委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 広報委員会.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 放射線防護委員会 委員長.
- 馬場 眞吾, 日本核医学会, 九州・沖縄支部会 支部長.

- 井手口 忠光, 九州大学, 地域国際連携推進・FD 連携委員会.
- 近藤 雅敏, 日本医用画像情報学会, 事務局(庶務).
- 田中 延和, 日本放射線技術学会, 代議員.
- 小島 宰, 九州 CT 研究会, 世話人.
- 小島 宰, Cuber DECT Conference , 世話人.
- 渥美 和重, 日本放射線腫瘍学会, 代議員.

**3. 官界** なし

**4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職**

- 藪内英剛, 福岡県じん肺診査医.

**5. 公開講座・公開講演会** なし

**6. 初等中等教育への貢献** なし

### 3-3. 教員の活動：検査技術科学分野



# 検査技術科学分野

## 生体情報学

教授	重藤 寛史
教授	内海 健
准教授	外園 栄作
講師	田代 洋行
助教	塩津 弘倫
助教	八木 美佳子
助教	上田 沙央理

## 1. 教育活動

### 1. 大学院講義

生体情報解析検査学	重藤	後期
生体情報解析学 I	重藤	前期
保健学研究論	重藤	前期
Health Science Research	重藤	前期
生体情報機能検査学	内海	後期
International Society and Multidisciplinary Care	内海	前期
生体情報解析学 I	内海	前期
ヘルスサイエンス論	内海	前期
国際社会とチーム医療	内海	前期

### 2. 大学院実験・実習 なし

### 3. 大学院演習

生体情報解析学 II	重藤	後期
生体情報解析検査学演習	重藤	後期
生体情報解析検査学演習	重藤	前期
国際プレゼンテーション(重藤教授)	重藤	通年
保健学特別研究(重藤教授)	重藤	通年
検査技術科学特別研究(重藤教授)	重藤	通年
生体情報解析学 II	内海	後期
検査技術科学特別研究(内海教授)	内海	通年
生体情報機能検査学演習	内海	前期
保健学特別研究(内海教授)	内海	通年
国際プレゼンテーション(内海教授)	内海	通年
検査技術科学特別研究(外園准教授)	外園	通年

### 4. 大学院修士課程修了者

四元 恭佳	尿中オキシトシンの新しい測定法の開発とその臨床的有用性の検討
白石 千皓	肝臓の新たなタンパク翻訳機構がサイレント変異を介して疾患を引き起こす

大部 優紀	Astroglia におけるミトコンドリア翻訳阻害が脂質代謝および小胞体ストレスに与える影響
安永 真梨子	ミトコンドリア機能障害が引き起こす過剰リン酸化タウタンパク質の分子機序の解明
小島 涼	バイノーラルレポートによる聴覚脳磁界反応の検討

## 5. 大学院博士課程修了者 なし

## 6. 学部講義

医学総論 I	重藤	秋学期
医学総論 II	重藤	冬学期
生理機能検査学 I	重藤	前期
生理機能検査学 II	重藤	前期
生理機能検査学 III	重藤	前期
人体の構造と機能 I	重藤	前期
検査管理総論	内海	前期
臨床検査総論	内海	春学期
人体の構造と機能 I	内海	前期
一般検査学 I	内海	秋学期
臨床化学検査 I	外園	後期
先端医療検査技術学特論	外園	後期
臨床検査学 II A	外園	秋学期
医療情報学概論	田代	夏学期
医療工学概論	田代	前期
生理機能検査学 I	塩津	前期
生理機能検査学 II	塩津	前期
生理機能検査学 III	塩津	前期
生化学	八木	春学期
生化検査学	八木	夏学期

## 7. 学部の実験・実習・演習

生理機能検査学実習	重藤	後期
一般検査学実習	内海	冬学期
検査基礎技術および実習	外園	前期
臨床化学検査学 II および実習	外園	前期
医療工学・情報科学実験	田代	前期
臨床微生物学および実習	塩津	前期
生理機能検査学実習	塩津	後期
遺伝子検査学および実習	八木	前期
遺伝子検査学実験	八木	夏学期
臨床検査統計学および実習	八木	秋学期
臨床化学検査学 II および実習	上田	前期
免疫検査学および実習	上田	前期
医用工学・情報科学実験	上田	冬学期
一般検査学実習	上田	冬学期

## 8. 卒業論文作成者

末武 桜和	脳磁図を用いた定常状態高速視覚刺激による言語領域マッピングの試行
竹永 文香	事象関連誘発磁場による視覚性単語形状領野の局在性の検討
渡邊 結奈	Photoactive molecule の合成に用いる DIPEA の減圧蒸留条件
秋本 瑞希	グルコース濃度低下時のグルタミン酸代謝に関連する遺伝子発現の研究
久保 朋葉	低酸素状態におけるグルタミン酸代謝に関連する酵素の発現変化の研究
佐藤 ひかる	Lamin B1 ノックダウンによる核膜異常と疾患との関連
大橋 優花	リソソーム障害時の遺伝子発現変化解析
永田 健斗	神経細胞におけるミトコンドリア、リソソーム、核膜の相互作用の解明
岡本 菜槻	オリゴデンドロサイトにおけるミトコンドリア及びリソソームの異常による核膜形成への影響の解析
松岡 萌子	オリゴデンドロサイトにおける Lamin A/C の機能解析
川崎 眞子	老化バイオマーカーとしての血中 NAD <sup>+</sup> ・NADH 測定法の構築に関する検討- 実試料測定に向けた NADH 測定法の改良 -
有馬 昂汰	血中トリメチルアミン-N -オキシド酵素的測定法の開発- 実試料測定に向けた分析条件の基礎的検討 -
村岡 拓海	血栓症患者におけるプロテイン S 遺伝子の解析:サンガーシーケンス法を用いた塩基配列決定
松尾 咲希	プロテイン S 遺伝子検査におけるキャピラリー電気泳動法の有用性の検討

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	てんかん発作バイオマーカーとしてのマイクロ RNA の検出	重藤
2	側頭葉てんかん切除術後に発作が再発するメカニズムの解明	重藤
3	脳磁計や電流刺激を用いた言語処理の解明	重藤
4	新規脳波バイオマーカーを用いた機械学習によるてんかんの診断手法の開発	重藤
5	脳磁図による非侵襲的な言語脳機能マッピング法の検討	重藤
6	脳磁図を用いた言語理解における形態知覚と予期に関わる神経基盤の研究	重藤
7	バイノーラルビートによる聴覚誘発脳磁界反応の計測	重藤
8	焦点てんかんの記憶固定化障害の病態解明に関する研究	重藤
9	自己免疫性脳炎、自己免疫性てんかんの予後の解明	重藤
10	ManyBeds: 標的記憶再活性化の有効性に関する国際多施設共同再現性検証試験	重藤
11	潜在性てんかん性活動による記憶障害:アルツハイマー病における検討	重藤
12	ミトコンドリア蛋白 ABCB10 の生理機能解析	内海

13	ミトコンドリアーリソソーム機能連関の新規分子機構	内海
14	1)生体試料,特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発。2)生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園
15	人工視覚システムの開発	田代
16	ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発	田代
17	MicroRNA を用いた新規臨床検査法の開発	塩津
18	老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療	八木
19	ミトコンドリア脳筋症の遺伝子変異を抑制する新規一塩基多型の解析	上田
20	次世代シーケンサーを用いた血栓症の遺伝子解析	上田

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」てんかん脳における興奮抑制平衡維持メカニズムの解明と個別治療への応用, 重藤(代表), 500 千円.
- 「基盤研究(B)」非侵襲的脳刺激・脳機能計測・計算モデルを融合した言語リハビリテーション技術の確立, 重藤(分担), 300 千円.
- 「挑戦的研究(萌芽)」肝臓組織特異的発現遺伝子のサイレント変異で翻訳が停止する新規分子機序, 内海(代表).
- 「基盤研究(B)」ミトコンドリア機能異常による老化疾患の分子病態の解明と NMN による治療効果, 内海(代表).
- 「基盤研究(C)」臨床検査における微量成分の高感度・迅速測定法の開発, 外園(分担), 100 千円.
- 「基盤研究(C)」光神経刺激による視覚再生技術の医療応用, 田代(代表), 2,080 千円.
- 「基盤研究(C)」大脳皮質への干渉刺激により実現する、広視野と超高解像度を両立した人工視覚, 田代(分担), 65 千円.
- 「基盤研究(C)」失明疾患への治療応用を目指した光薬理学的網膜刺激法による神経応答様態の評価, 田代(分担), 650 千円.
- 「若手研究」毛幹内ミトコンドリア由来 RNA を利用した長期ストレスバイオマーカーの探索, 塩津(代表), 1820 千円.
- 「基盤研究(C)」ミトコンドリア関連老化性疾患とフェロトーシスの新分子機序解明とその治療, 八木, 1820 千円.
- 「研究活動スタート支援」細胞外小胞を介したミトコンドリア脳筋症の治療モダリティ創出と分子機序解明, 上田(代表), 1430 千円.

## 3. 学内研究経費の受入れ なし

#### 4. 奨学寄付金の受入れ

- 上原生命科学財団 研究助成金, 田代, 5, 000 千円.
- 柿原科学技術研究財団 科学技術研究助成, 田代 1, 800 千円.

#### 5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「検査実用化を目指したシーズ探索 及び有用性の検討」内海
- 「クロレラとミトコンドリア機能解析」内海.
- 「次世代人工視覚の研究」田代, 共同研究, (株)ニデック, 研究代表者, 1, 430 千円.
- 「革新的 BMI 技術と視覚認知ネットワークの理解と制御に基づく次世代人工視覚装置の研究開発」, 田代, AMED-CREST 革新的先端研究開発支援事業, 受託研究, 連携研究者, 0 千円.
- 「マルチオミクスアプローチによる細胞外小胞を介したミトコンドリア機能回復効果のメカニズム解明」, 上田, 公益財団法人 臨床研究奨励基金, 500 千円,
- 「細胞外小胞を介したミトコンドリア脳筋症回復効果のメカニズム解明」, 上田, 公益信託 臨床検査医学研究振興基金, 900 千円,

#### 6. 受託研究員・研修員の受入れ

田代, 私学研修員

#### 7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌
  - Kenji Miki, Mikako Yagi, Ko Igami, Hiroki Kittaka, Akito Tani, Natsuki Horiuchi, Satoshi Fukumoto, Koji Yoshimoto, Takeshi Uchiumi Live-cell metabolic analyzer protocol for measuring glucose and lactate metabolic changes in human cells *STAR Protocols* 2025 Mar 21;6(1)
  - Hiromichi Shiotsu, Daisuke Sueta, Satoru Shinriki, Mikuri Ryu, Hiroki Usuku, Megumi Nakata, Takeshi Uchiumi, Kenichi Tsujita, Hirotaka Matsui, miR-4485-5p in large extracellular vesicles as a new potent biomarker for diagnosis of deep vein thrombosis, *Laboratory Medicine International* 3 (3) 95 – 107 2024.
  - Shigeru Matsuda, Masunari Nakayama, Yura Do, Takashi Ishiuchi, Mikako Yagi, Sjoerd Wanrooij, Kazuto Nakada, Fan Yan Wei, Kenji Ichiyangi, Hiroyuki Sasaki, Dongchon Kang, Takehiro Yasukawa: TEFM facilitates transition from RNA synthesis to DNA synthesis at H-strand replication origin of mtDNA, *Communications Biology* volume 8, Article number:202 (2025)
  - Yura Do, Mikako Yagi, Haruka Hirai, Kenji Miki, Yukina Fukahori, Daiki Setoyama, Masatatsu Yamamoto, Tatsuhiko Furukawa, Yuya Kunisaki, Dongchon Kang, Takeshi

Uchiumi :Cardiomyocyte-specific deletion of the mitochondrial transporter Abcb10 causes cardiac dysfunction via lysosomal-mediated ferroptosis, *Biosci Rep* (2024) 44 (5): BSR20231992.

- Yuya Nakashima, Kazuhito Gotoh, Mikako Yagi, Soichi Mizuguchi, Dongchon Kang, Toshihiro Kanno, Takeshi Uchiumi Parachlorella beijerinckii-derived carotenoids ameliorate inflammation in a psoriasis-like mouse model via modulation of pro-inflammatory cytokines in dendritic cells *Journal of Nutritional Biochemistry* 14, 2025
- Kenji Miki, Mikako Yagi, Dongchon Kang, Yuya Kunisaki, Koji Yoshimoto, Takeshi Uchiumi:Glucose starvation causes ferroptosis-mediated lysosomal dysfunction, *iScience* Volume 27, Issue 5, 17 May 2024, 109735
- Ko Igami, Hiroki Kittaka, Mikako Yagi, Kazuhito Gotoh, Yuichi Matsushima, Tomomi Ide, Masataka Ikeda, Saori Ueda, Shin Ichiro Nitta, Manami Hayakawa, Keiichi I. Nakayama, Masaki Matsumoto, Dongchon Kang, Takeshi Uchiumi :iMPAQT reveals that adequate mitohormesis from TFAM overexpression leads to life extension in mice, *Life Science alliance* (2024)
- Takahiro Toshima, Mikako Yagi, Yura Do, Haruka Hirai, Yuya Kunisaki, Dongchon Kang, Takeshi Uchiumi: Mitochondrial translation failure represses cholesterol gene expression via Pyk2-Gsk3  $\beta$  -Srebp2 axis, *Life Science alliance* (2024)
- Miyauchi, Y., Egami, N., Inoue, H., Sonoda, M., Eguchi, K., Ishimura, M., Ochiai, M., Tsukamoto, S., Matsumoto, S., Uchiumi, T., Sonoda, K.-H. & Ohga, Onset and Outcome of Ocular Lesions in Neonatal Severe Protein C Deficiency: Case Report and Literature Review *Medical and Pediatric Oncology* e31518 2025
- Sonoda Y, Fujita A, Torio M, Mukaino T, Sakata A, Matsukura M, Yonemoto K, Hatae K, Ichimiya Y, Chong PF, Ochiai M, Wada Y, Kadoya M, Okamoto N, Murakami Y, Suzuki T, Isobe N, Shigeto H, Matsumoto N, Sakai Y, Ohga S. Progressive myoclonic epilepsy as an expanding phenotype of NGLY1-associated congenital deglycosylation disorder: A case report and review of the literature. *Eur J Med Genet.* 2024 Feb;67:104895. doi: 10.1016/j.ejmg.2023.104895. Epub 2023 Dec 7.PMID: 38070824 Free article. Review
- Morioka Takato, Mugita Fumihito, Inoha Satoshi, Shimogawa Takafumi, Mukae Nobutaka, Akiyama Tomoaki, Haruyama Hironori, Karashima Satoshi, Sakata Ayumi, Shigeto Hiroshi, Yoshimoto Koji. Time to detect periictal hyperperfusion following short acute symptomatic seizures using 1.5-Tesla arterial spin labeling magnetic resonance perfusion imaging. *Epilepsy & Seizure* (1882-5567)17 Page eands.A000163(2025.)
- Morioka Takato, Mugita Fumihito, Inoha Satoshi, Akiyama Tomoaki, Haruyama Hironori, Karashima Satoshi, Shimogawa Takafumi, Mukae Nobutaka, Sakata Ayumi, Shigeto Hiroshi, Yoshimoto Koji. Ictal 1.5-Tesla MR imaging with arterial spin labeling perfusion

imaging in three patients with electrographic seizures diagnosed with routine electroencephalography based on the ACNS Critical Care EEG Terminology 2021. *Epilepsy & Seizure* (1882-5567)17 Page1-14(2025.)

- Shigeto Hiroshi. てんかんに対する新たな治療法 (New and emerging medical therapies for epilepsy. *臨床神経学*(0009-918X)64Suppl. Page S38(2024.10)
- Morioka Takato, Mugita Fumihito, Inoha Satoshi, Akiyama Tomoaki, Miki Kenji, Shimogawa Takafumi, Mukae Nobutaka, Sakata Ayumi, Shigeto Hiroshi, Yoshimoto Koji. Usefulness and limitation of addition of 1.5-Tesla arterial spin labeling magnetic resonance perfusion imaging to routine electroencephalography in pathophysiological diagnosis of post-intracerebral hemorrhage epilepsy at neurological emergency. *Epilepsy & Seizure* (1882-5567)16(1) Page78-94(2024.) DOI:10.3805/eands.16.78
- Morioka Takato, Inoha Satoshi, Mugita Fumihito, Oketani Hiroshi, Shimogawa Takafumi, Mukae Nobutaka, Maehara Naoki, Akiyama Tomoaki, Miki Kenji, Karashima Satoshi, Sakata Ayumi, Shigeto Hiroshi, Yoshimoto Koji. MRI (Addition of 1.5-Tesla arterial spin labeling magnetic resonance perfusion imaging to routine electroencephalography in pathophysiological diagnosis of first-onset generalized convulsive seizures in patients with dementia at neurological emergency). *Epilepsy & Seizure* (1882-5567) 16(1) Page29-43 (2024.) DOI:10.3805/eands.16.29
- Mugita Fumihito, Morioka Takato, Inoha Satoshi, Akiyama Tomoaki, Maehara Naoki, Shimogawa Takafumi, Mukae Nobutaka, Sakata Ayumi, Shigeto Hiroshi, Yoshimoto Koji. Absence of periictal hyperperfusion on arterial spin labeling perfusion images in a patient with posttraumatic epilepsy and underdevelopment of ipsilateral internal carotid and middle cerebral arteries). *Epilepsy & Seizure* (1882-5567)16(1) Page1-11(2024.) DOI: 10.3805/eands.16.1
- 重藤 寛史. 向野 隆彦 睡眠時に生じる発作性運動とその鑑別(解説)臨床神経生理学 (1345-7101)53(1) Page38-43(2025.02) Z225330006<Pre 医中誌>, DOI: 10.11422/jscn.53.38
- 向野 隆彦, 松本 航, 山口 高弘, 渡邊 恵利子, 酒田 あゆみ, 重藤 寛史 ACNS Critical Care EEG terminology 2021 を用いた神経救急脳波評価の実際(解説)臨床神経生理学 (1345-7101)52(3) Page216-223(2024.06) 2024339253, DOI:10.11422/jscn.52.216
- Ryoma Okada, Maya Mizuno, Tomoaki Nagaoka, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Millimeter-Wave Band Electro-Optical Imaging System Using Polarization CMOS Image Sensor and Amplified Optical Local Oscillator Source, *SENSORS*, 24 (13) 4138, 15 p. 2024年6月.
- Virgil Christian Garcia Castillo, Latiful Akbar, Ronnakorn Siwadamrongpong, Yasumi Ohta, Mamiko Kawahara, Yoshinori Sunaga, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro,

- Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta, Region of interest determination algorithm of lensless calcium imaging datasets, *PLoS ONE*, 19 (9), e0308573, 20 p. 2024 年 9 月.
- Yuki Nakanishi, Takaya Hattori, Wisaroot Sriitsaranusorn, Kuang-Chih Tso, Kenzo Shodo, Hironari Takehara, Yoshinori Sunaga, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Design of CMOS chip for retinal prosthesis with power supply voltage monitoring circuit for stabilizing constant-current stimulation, *Japanese Journal of Applied Physics*, 64 (1), 01SP08-1 – 01SP08-6, 2025 年 1 月.
  - Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Enhancing Image Reconstruction Method in High-Frequency Electric Field Visualization Systems Using a Polarized Light Image Sensor, *Sensors*, 25 (5), 1596, 17p. 2025 年 3 月.
  - Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Microwave electro-optical imaging system using a frequency tracking optical local oscillator source with a polarization CMOS image sensor, *IEICE Electronics Express*, 22 (5). 6 p. 2025 年 3 月.
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス
- Mochine Ishii, Yuki Motomura, Hiroshige Takeichi, Hiroshi Shigeto, Koichi Hagiwara, Osamu Maruyama and Chihiro Hiramatsu, Exploring the neural representation of hypnagogic imagery using magnetoencephalography: A preliminary study, The 27th annual meeting of the Association for the Scientific Study of Consciousness (ASSC 27), P-5-17, 5 July 2024, Tokyo.
  - Thanaree Treepetchkul, Ronnakorn Siwadamrongpong, Renzo Roel P. Tan, Hironari Takehara, Yoshinori Sunaga, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta, Image Reconstruction for Still Image Capture Using Wireless CMOS Imaging Device, Optica Biophotonics Congress: Biomedical Optics 2024, Microscopy Histopathology and Analytics 2024, 2024 年 4 月, FL, USA.
  - Ryoma Okada, Maya Mizuno, Tomoaki Nagaoka, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Near-field intensity distribution imaging in the THz band using a highly sensitive polarization imaging system, The 2024 IEEE Joint International Symposium on Electromagnetic Compatibility, Signal & Power Integrity: EMC Japan/Asia-Pacific International Symposium on Electromagnetic Compatibility (EMC Japan/APEMC Okinawa), 2024 年 5 月, Japan.
  - Kuang-Chih Tso, Yoshinori Sunaga, Naruhisa Yohshida, Makito Haruta, Takurou Kouno, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta, Advancements in Honeycomb-Type Artificial Retina device via Smart CMOS Integration

and Na-doped Iridium Oxide Electrodes, The 2024 Spring Meeting of the European Materials Research Society (E-MRS), 2024 年 5 月, France.

- Virgil Christian Castillo, Ryoma Okada, Kuang-Chih Tso, Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta, Simultaneous calcium imaging and extracellular electrophysiology using CMOS-based imaging devices with an integrated carbon electrode for freely moving mice experiments, Federation of European Neuroscience Societies (FENS) Forum 2024, 2024 年 6 月, Austria.
- Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Virgil Christian Castillo, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta, Imaging and Sensing System based on CMOS Imaging Device for Simultaneous Multi Area Monitoring, Federation of European Neuroscience Societies (FENS) Forum 2024, 2024 年 6 月, Austria.
- Yuki Nakanishi, Takaya Hattori, Wisaroot Sriitsaranusorn, Kuang-Chih Tso, Kenzo Shodo, Yoshinori Sunaga, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, 46th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (IEEE EMBS 2024) 2024 年 7 月 IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2024 年 7 月, FL, USA.
- Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Performance improvement by multi-layer on-pixel polarizer structure using  $0.35\text{-}\mu\text{m}$  CMOS process for high-sensitivity electro-optic imaging system, 2024 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2024), 2024 年 9 月, Japan.
- Subaru Iwaki, Kiyotaka Sasagawa, Yoshinori Sunaga, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Self-Resetting CMOS Image Sensor with Signal-to-Noise Ratio of over 70 dB throughout the Entire Imaging Area, 2024 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2024), 2024 年 9 月, Japan.
- Yuki Nakanishi, Hattori Takaya, Wisaroot Sriitsaranusorn, Kuang-Chih Tso, Kenzo Shodo, Hironari Takehara, Yoshinori Sunaga, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, CMOS Chip for Retinal Prosthesis with Supply Voltage Monitoring Circuit for Constant-Current Stimulation, 2024 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2024), 2024 年 9 月, Japan.
- Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro Jun Ohta,  $10^5$ -GHz Electric Field, Visualization by Electro-Optic Imaging System Using Polarization Image Sensor, 2024 54th European Microwave Conference (EuMC) 2024 年 9 月, France.
- Kiyotaka Sasagawa, Subaru Iwaki, Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Optimization of a small and high signal-to-

noise ratio functional brain imaging device using self-resetting pixels, Neuroscience 2024 annual meeting (SfN24), 2024 年 10 月, IL, USA.

- Arphorn Promking, Kiyotaka Sasagawa, Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Effects of Excitation Light Polarization with Front Light Structure on Lensless Fluorescence Imaging, 2024 IEEE Biomedical Circuits and Systems Conference (IEEE BioCAS 2024), 2024 年 10 月, China.
  - Wisaroot Sriitsaranusorn, Yuki Nakanishi, Takaya Hattori, Kuang-Chih Tso, Kenzo Shodo, Hironari Takehara, Yoshinori Sunaga, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Charge-Pump-Circuit Implementation for Increasing Sink Current in Low-Voltage CMOS Retinal-Prosthesis Chips, 2024 IEEE Asia Pacific Conference on Circuits and Systems (APCCAS), 2024 年 11 月, Taiwan.
  - Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, 2.45 GHz Frequency-Tracking Electro-Optic Imaging Using Polarization CMOS Image Sensor, 2024 Asia-Pacific Microwave Conference (APMC 2024), 2024 年 11 月, Indonesia.
  - Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Katsuya Hyodo, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Optimization of polarization image sensor for electric field imaging system based on electro-optic effect, Electronic Imaging Symposium (EI 2025) 2025 年 2 月, CA, USA.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
  - **調査研究報告** なし
  - **国内学会での講演, 発表**
    - Hiroshi Shigeto Hot Topics 04 New and emerging medical therapies for epilepsy. 65th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology. May 30, Tokyo International Forum
    - 重藤寛史、松本理器 教育コース EC03 質問歓迎！エキスパートに聞こう、てんかん診療の極意 第 65 回日本神経学会学術大会 東京国際フォーラム 5 月 29 日
    - 重藤寛史 日本神経学会第 21 回生涯教育セミナー Hands-on4 脳波 6 月 1 日
    - 下川 能史、森岡 隆人、村上 信哉、橋口 公章、迎 伸孝、重藤 寛史、酒井 康成、酒田 あゆみ、渡邊 恵利子、吉本 幸司 O6-2 頭蓋内電極留置を経て焦点切除手術を行なった小児てんかん症例の治療成績とその特徴: 単施設 18 症例の検討 6 月 7・8 日 第 52 回 小児神経外科学会 富山国際会議場
    - 西原拓弥、田中栄蔵、藤井敬之、向野隆彦、賀集 薫、渡邊 充、山口高弘、松本 航、橋本和樹、酒田あゆみ、渡邊恵利子、重藤寛史、磯部紀子. 中年女性に初発した GABABR 抗体陽性自己免疫性脳炎で、GABAB1R の発現を伴う甲状腺腫瘍が合併していた一例. 7 月 13 日 第 19 回 日本てんかん学会九州地方会 JR 博多シティ会議室 9 階 会議室 2

- 増田景子、梶原健太、園田有里、赤峰哲、チョンピンフイー、下川能史、酒田 あゆみ、酒井康成、重藤寛史、吉本幸司、大賀正一. 治療抵抗性のてんかん発作に対し半球離断術が著効した片側巨脳症の1歳男児. 7月13日 第19回 日本てんかん学会九州地方会 JR 博多シティ会議室 9階 会議室2
- 桑原 和久、下川 能史、三根 大樹、梶原 健太、園田 有里、酒井 康成、渡邊 恵利子、酒田 あゆみ、重藤 寛史、森岡 隆人、吉本 幸司. bottom of sulcus dysplasia に伴う難治性てんかんに対し頭蓋内電極留置を経て焦点切除術を行なった一幼児例. 7月13日 第19回 日本てんかん学会九州地方会 JR 博多シティ会議室 9階 会議室2
- 森岡隆人、麦田 史仁、伊野波 諭、下川 能史、迎 伸 孝、酒田 あゆみ、重藤寛史、吉本 幸司 1.5 Tesla MRI with ASL 1st, EEG 2nd による脳内出血後てんかんの病態診断. 7月13日 第19回 日本てんかん学会九州地方会 JR 博多シティ会議室 9階 会議室2
- 9月12~14日 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 重藤寛史 一般口演(英語1)遠藤乙音、小林揚子、音成秀一郎、Mahalaxmi lyer、Masako Kinoshita 9月12日 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 重藤寛史一般口演6「画像2」松平敬史、美和和弘、Hu Ming Khoo、多田恵曜 9月12日 木 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 重藤寛史 シンポジウム20「持続可能なてんかん医療のために;日本てんかん協会との協働」てんかん支援拠点病院での取り組み 9月14日 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 上原平 座長 重藤寛史 ランチョンセミナー15 脳卒中関連てんかんの診断と治療 9月14日 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 重藤寛史 VNS 認定講習会 内科系 VNS 療法の基礎知識 9月14日 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 重藤寛史 教育講演27 側頭葉てんかん 9月14日 第57回日本てんかん学会学術集会 福岡国際会議場
- 重藤寛史 焦点てんかん 9月22日~23日 日本臨床神経生理学会 第10回脳波セミナーアドバンスコース 京都大学紫蘭会館
- 重藤寛史 全般てんかんの疫学・分類・診断 10月6日 第8回 特別教育研修会 脳卒中・てんかん・頭痛・認知症コース 東京国際フォーラム
- 重藤寛史、足立浩祥 シンポジウム5 神経変性疾患におけるPSG解析と睡眠関連低換気障害の理解を深めよう 10月11日金~12日土 第15回 ISMSJ 学術集会 日本臨床睡眠医学会 じゅうろくプラザ 岐阜市
- 吉田博子、重藤寛史、他 神経変性疾患における睡眠スコアリングと包括的医療~神経変性疾患における睡眠スコアリングの特徴と判読の困難さを共有し、その中で、病態、ADL、予後を考えて個別にどのように対応しているか~ 10月11日金~12日土 第15回 ISMSJ 学術集会 日本臨床睡眠医学会 じゅうろくプラザ 岐阜市

- Hirosh Shigeto Chronic epilepsy Sapporo Super EEG 4 10月24日～26日 第54回  
日本臨床神経生理学会学術大会 札幌コンベンションセンター
- 山田絵美 1,吉井七海 2,野田晏伎 2,重藤寛史 3,4,太田真理 漢字と平仮名の読字処理に  
おける皮質の時空間特性 10月24日 第54回日本臨床神経生理学会学術大会 札幌  
コンベンションセンター
- 小島 涼,山田絵美,緒方勝也,重藤寛史 バイノーラルビートによる聴覚脳磁界反応の  
検討 10月24日 第54回日本臨床神経生理学会学術大会 札幌コンベンションセンター
- 向野隆彦,松本 航,山口高弘,緒方英紀,中垣秀隆,陳之内文昭,山内拓司,加藤光次,渡邊  
恵利子,酒田あゆみ,赤司浩一,磯部紀子,重藤寛史 CAR-T 細胞療法に伴い非痙攣性て  
んかん重積状態を呈した3例 第54回日本臨床神経生理学会学術大会 札幌コンベン  
ションセンター
- 迎 伸孝,森岡隆人,下川能史,酒田あゆみ,渡邊恵利子,重藤寛史,吉本幸司 シンポジウム  
6 NCSEをどう診断するか?各施設の取り組み NCSEの診断におけるMRI arterial spin  
labeling法の活用とピットフォール 第54回日本臨床神経生理学会学術大会 札幌コンベン  
ションセンター
- 重藤寛史 ワークショップ4 脳波の問題症例 10月25日 第54回日本臨床神経生理学  
会学術大会 札幌コンベンションセンター
- 重藤寛史 教育講演12 大脳皮質領野と機能局在について(初級) 10月25日 第54  
回日本臨床神経生理学会学術大会 札幌コンベンションセンター
- 川口 美奈子,宮城 靖,岸本淳二,左村和宏,重藤寛史,藤岡伸助,柏原 健一,山脇健  
盛,魚住 武則,鶴田和仁,渡嘉敷 崇,栗崎玲一,橋口昭大,橋口昭大,松瀬 大,吉本幸  
司 PDQ-DATの検証と改訂:LCIGに対する汎用性およびPDQ-39との相関 Validation  
and modification of the PDQ-DAT: versatility to LCIG and correlation with PDQ-39 第  
64回日本定位・機能神経外科学会 2月7日8日 浅草ビューホテル
- 重藤 寛史 「てんかん患者の診察法」 3月15日 第247回 日本神経学会九州地方会  
福岡大学病院 多目的室
- 酒田あゆみ,渡邊恵利子,重藤寛史,酒井康成,迎伸孝,國崎祐哉 てんかん診療にお  
ける脳波検査技師のスキルアップ 3月22日～23日 第12回 全国てんかんセンター協  
議会 金沢商工会議所会館
- 持丸朋美,渡邊恵利子,酒田あゆみ,紫垣菜々子,桑田睦子,堀田多恵子,國崎祐哉  
多職種間における脳波教育 3月22日～23日 第12回 全国てんかんセンター協議会  
金沢商工会議所会館
- 迎伸孝,下川能史,橋口公章,桑原和久,森岡隆人,重藤寛史,吉本幸司九州大学病院  
でてんかん外科手術を実施した患者の紹介動向 3月22日～23日 第12回 全国てん  
かんセンター協議会 金沢商工会議所会館

- 室岡明美、神田奈七、向野隆彦、渡邊充、磯部紀子、重藤寛史 両立支援促進員を活用した就労支援 3月22日～23日 第12回 全国てんかんセンター協議会 金沢商工会議所会館
- 桑原和久、迎伸孝、下川能史、向野隆彦、磯部紀子、山口高弘、松本航、酒井康成、酒田あゆみ、渡邊恵利子、重藤寛史、吉本幸司 九州大学病院における脳梁離断術の手術適応とアウトカム 3月22日～23日 第12回 全国てんかんセンター協議会 金沢商工会議所会館
- 外園栄作: 血中トリメチルアミン-N-オキシド酵素的測定法の開発 -実試料測定に向けた分析条件の基礎的検討-,第35回生物試料分析科学会年次学術集会, 2025年03月, 四日市看護大学.
- 外園栄作: ラベル化剤を用いたUPLC分析による簡便な尿中オキシトシンの測定法に関する検討,第35回生物試料分析科学会年次学術集会, 2025年03月, 四日市看護大学.
- 外園栄作: 金属錯体を用いた核酸増幅程度を評価するためのピロリン酸測定法の検討,第35回生物試料分析科学会年次学術集会, 2025年03月, 四日市看護大学.
- 外園栄作: 酸化系発色試薬SAT-3の安定性に関する検討,第35回生物試料分析科学会年次学術集会, 2025年03月, 四日市看護大学.
- 山片 翼, 竹原 浩成, 須永 圭紀, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 生体埋植イメージングのための固定パターンノイズ低減4配線駆動イメージセンサ, 電子情報通信学会 LSI とシステムワークショップ 2024年5月, 東京大学.
- 岩城 昴琉, 須永 圭紀, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 微弱信号変化計測に向けた自己リセット CMOS イメージセンサの2回読み出しと相補的画素補正, 映像情報メディア学会 情報センシング研究会 (IST), 2024年6月, 東京理科大学.
- 岩城昴琉, 笹川清隆, 須永圭紀, 竹原浩成, 春田牧人, 田代洋行, 太田 淳, 自己リセットイメージセンサにおける雑音低減のための画素設計および動作条件の検討, 2024年映像情報メディア学会年次大会, 2024年8月, 北海道立道民活動センター.
- 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 観察対象波源の周波数に追従する高周波電界撮像システムの検討, 電子情報通信学会 ソサイエティ大会, 2024年9月, 日本工業大学.
- 中西 優輝, Wisaroot Sriitsaranusorn, 服部 天哉, Kuang-Chih Tso, 鐘堂 健三, 竹原 浩成, 須永 圭紀, 春田 牧人, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 太田 淳, 笹川 清隆, 人工視覚用 CMOS チップを用いた並列刺激システムの特性評価, 第85回応用物理学会秋季学術講演会, 2024年9月, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター.
- 服部 天哉, Wisaroot Sriitsaranusorn, 中西 優輝, Kuang-Chih Tso, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 須永 圭紀, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 多点並列刺激に

に向けた人工視覚チップ電圧補償システムの設計, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 2024 年 9 月, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター.

- 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 微弱偏光イメージングシステムを用いた 0.1 THz 電気光学イメージング, 第 85 回応用物理学会秋季学術講演会, 2024 年 9 月, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター.
- 須永 圭紀, Tso Kuang Chih, 中西 優輝, 春田 牧人, 高野 拓郎, 寺澤 靖雄, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳, In vivo 環境下におけるフレキシブル人工視覚デバイスの刺激能力評価, 2024 年 9 月, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター.
- 山片 翼, 岡田竜馬, 竹原 浩成, 須永 圭紀, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 生体埋植イメージングデバイスのソフトウェア的手法によるダイナミックレンジ向上, 映像情報メディア学会 2024 年冬季大会 2024 年 12 月, 東京理科大学.
- 陳 冠勳, 服部 天哉, Wisaroot Sriitsaranusorn, 中西 優輝, Tso KuangChih, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 須永 圭紀, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 多点並列刺激に向けた人工視覚チップ電圧補償の効率化, 第 72 回応用物理学会春季学術講演会, 2025 年 3 月, 東京理科大学.
- 中西 優輝, Wisaroot Sriitsaranusorn, 服部 天哉, 川邊 吉則, Kuang-Chih Tso, 鐘堂 健三, 竹原 浩成, 須永 圭紀, 春田 牧人, 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 太田 淳, 笹川 清隆, 高空間分解能の実現に向けた人工視覚用 CMOS チップの並列動作実証, 2025 年 3 月, 東京理科大学.
- 兵頭 克哉, 岡田 竜馬, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆, 電界撮像に向けたチップ内積算回路搭載 CMOS イメージセンサの設計, 電子情報通信学会総合大会, 2025 年 3 月, 東京都市大学.

○ 学会以外での講演, 発表

- 重藤寛史 てんかんから学ぶ〜キンドリング現象と記憶 4 月 11 日 お茶の水 Epilepsy シンポジウム TKP ガーデンシティお茶の水
- 重藤寛史 座長, 久保田有一 令和時代の高齢発症てんかん〜あなたならどう診断・治療する? ~6 月 10 日, 7 月 8 日 てんかん診療フォーラム
- 重藤寛史 ビデオ症例で学ぶてんかん発作「焦点発作」6 月 23 日 第 12 回サマーてんかんセミナー 赤坂インターシティコンファレンス the AIR
- 重藤寛史 座長 小原知之 高齢者のてんかん, 上原平 これだけは知っておきたいてんかん, けいれん診療 2024 8 月 22 日 第 21 回西日本てんかんよろづ相談セミナー
- 重藤寛史 座長 藤本礼尚 新規 SV2A 作用薬ブリエビアクトの臨床的な意義 11 月 10 日 ブリエビアクト発売記念講演会 ザ・プリンス パークタワー東京
- 重藤寛史 座長 てんかんトランジションを考える会 11 月 18 日 リファレンス駅東ビル
- 重藤寛史 てんかんと睡眠 11 月 21 日 第 13 回 エピネット栃木 Plus
- 外園栄作: 生化学アカデミー 九州義塾, 2024 年 4 月, 福岡朝日ビル.

## 著作

### 1. 単行本

- ・Hiroyuki Tashiro, Hugh Herr, Marko B. Popovic, Keiji Iramina, Yasuo Terasawa, Jun Ohta, Marko B. Popovic (ed.), Biomechatronics –Second Edition, Chapter 6 – Direct neural interface, Elsevier/Academic Press 2024 年 9 月.
- ・Hiroyuki Tashiro, Marko B. Popovic, Ivo Dobrev, Yasuo Terasawa, Marko B. Popovic (ed.), Biomechatronics –Second Edition, Chapter 7 – Artificial organs, tissues, and support systems, Elsevier/Academic Press 2024 年 9 月.
- ・Marko B. Popovic, Kathleen A. Lamkin-Kennard, Hiroyuki Tashiro, Philipp Beckerle, Steffen Willwacher, Minas Liarokapis, Michelle J. Johnson, Adam D. Goodworth, Pinar Boyraz, Ivo Dobrev, Marko B. Popovic (ed.), Biomechatronics –Second Edition, Chapter 21 – Practice problems, Elsevier/Academic Press 2024 年 9 月.
- ・田代洋行, 寺澤靖雄, 太田淳 著, 三林浩二, 影近弘之, 岸田晶夫 編, 医療工学研究の最前線～近未来のバイオ医用機器, 生体材料, 創薬科学～, シーエムシー出版 2024 年 11 月.

### 2. 総説

- ・重藤 寛史 てんかんの内科的治療の最近の動向 脳神経内科(2434-3285)100 巻 2 号 Page154-160(2024.02)

### 3. 解説,書評など

- ・外園栄作:(共著) 極端値・パニック値 対応マニュアル Ver.2 III章極端値と考慮する病態・疾患・変動要因 『Ca』, 2024 年 05 月, 日本医療検査科学会誌, 東京.
- ・上田 沙央理:(単著) 臨床検査を取り巻く最近のトピックス ミトコンドリア脳筋症の遺伝子変異を抑制する新規一塩基多型の解析,2024 年 8 月, 日本臨床検査医学会誌, 東京.

## 受賞

田代, IOP Trusted Reviewer Status, Institute of PHYSICS (IOP), 2025 年 1 月.

田代, SPRINGER NATURE REVIEWER CERIFICATE, SPRINGER NATURE, 2025 年 1 月

## 報道

重藤寛史 福岡県てんかん支援拠点病院・てんかん協会共催 公開市民講座 「増える高齢者てんかん」  
8 月 4 日 RKB

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

田代, 次世代人工視覚の研究, 2024 年 04 月～2025 年 03 月.

### 2. 受託研究

内海, クロレラとミトコンドリア機能解析, 2024 年 06 月～2025 年 04 月.

3. 取得特許 なし

4. 兼業

田代, ニプロ(株), 新規事業部, 技術顧問

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- Hiroshi Shigeto. American Epilepsy Society Annual Meeting 2024 Dec. 6-10. THE LOS ANGELES CONVENTION CENTER, 12月6日～(9日)10日

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 重藤, 大学院入試(修士課程) 専攻問題作成委員.
- 田代, 支線 LAN 管理者.

2. 部局委員

- 田代, 大学院入試(修士課程, 博士課程) 専攻問題作成委員.
- 田代, 部局化学物質管理責任者.

3. 部門・コース内委員

- 重藤, 検査技術科学分野分野長.
- 内海, 入試実施委員会
- 内海, 大学院委員会
- 外園, 教務委員
- 田代, KITE 連絡員.
- 八木, 学生委員会

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 内海, 純真学園大学 検査科学科, 非常勤講師.
- 外園, 博多学園高等学校, 看護科および看護学専攻科, 非常勤講師.
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 田代, 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域, 客員准教授, 委託教員.
- 塩津, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 八木, 純真学園大学 検査科学科, 非常勤講師.

### 2. 学協会

- 重藤, 日本てんかん学会, 理事, 国内.
- 重藤, 日本神経学会, 評議員, 国内.
- 重藤, 日本臨床神経生理学会, 評議員, 国内.
- 重藤, 日本てんかん学会九州地方会代表.
- 重藤, commission member of older people commission, International League Against Epilepsy, 国際.
- 内海, 日本ミトコンドリア学会, 評議員.
- 内海, 日本臨床化学会, 評議員.
- 内海, 日本臨床検査学会, 評議員.
- 内海, 日本医療検査科学会, 評議員.
- 外園, 日本医療検査科学会 科学技術委員会, 幹事, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 編集委員会, 編集委員, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 常任理事, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会誌, 査読委員, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会誌, 査読委員, 国内.
- 田代, IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers), Senior member, 国際.
- 田代, IEEE BioCAS 2024, Review Committee Member, 国際.
- 田代, Institute of PHYSICS (英国物理学会) 誌 The Journal of Engineering, Association Editor, 国際.
- 田代, 日本生体医工学会, 評議員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 支部世話人, 国内.
- 田代, 2025 年 日本生体医工学会九州支部学術講演会, 研究奨励賞審査員, 国内.
- 塩津, 福岡県臨床検査技師会 遺伝子・染色体部門, 部門長.
- 八木, 九州大学農学部同窓会総会, 評議員, 国内.

### 3. 官界 なし

#### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

重藤, 福岡県てんかん治療医療協議会委員長.

#### 5. 公開講座・公開講演会

- 重藤 寛史 福岡県てんかん支援拠点病院のご紹介 7月16日 福岡県精神科病院協会理事会.
- 重藤 寛史 成人のてんかんについて 8月5日 第35回 てんかん総合講座 福岡市市民福祉プラザ 1階ふくふくホール.
- 重藤 寛史 てんかん診療～基礎知識、思春期～成人発症てんかん、医療連携 9月3日 福岡県てんかん支援拠点病院 地域病院勉強会 行橋記念病院.
- 重藤 寛史 「認知症と高齢者てんかん」 2025年 3月1日 重藤寛史, 福岡県てんかん支援拠点病院, JR博多シティ会議場, 講演会・公開討論.
- 重藤 寛史 てんかんの基礎知識 3月5日 精神障がいへの理解を深める講演会 福岡県職員 WEB 講義.

#### 6. 初等中等教育への貢献 なし

# 検査技術科学分野

## 病態情報学

教授	水野 晋一
教授	勝田 仁
講師	栗崎 宏憲
講師	立石 悠基
講師	相原 正宗
助教	安田 洋子
助教	木村 朋子

## 1. 教育活動

### 1. 大学院講義

病態情報解析学 I	水野	前期
国際社会とチーム医療	水野	前期
International Society and Multidisciplinary Care	水野	前期
Medical Science and Technology I	勝田	前期
分子情報解析検査学	勝田	後期
病態情報機能検査学	勝田	後期
ヘルスサイエンス論	勝田	前期
病態情報解析学 I	勝田	前期
Health Science	勝田	前期
病態情報解析検査学	立石	後期

### 2. 大学院実験・実習 なし

### 3. 大学院演習

検査技術科学特別研究(水野教授)	水野	通年
保健学特別研究	水野	通年
国際プレゼンテーション(水野教授)	水野	通年
病態情報解析検査学演習	水野	前期
Medical Science and Technology II	勝田	後期
病態情報解析学 II	勝田	後期
国際プレゼンテーション(勝田教授)	勝田	通年
保健学特別研究(勝田教授)	勝田	通年
病態情報機能検査学演習	勝田	前期
分子情報解析検査学演習	勝田	前期
検査技術科学特別研究(勝田教授)	勝田	通年
病態情報解析検査学演習	立石	前期

### 4. 大学院修士課程修了者 なし

### 5. 大学院博士課程修了者 なし

## 6. 学部講義

医用工学・情報概論	水野	前期
人体の構造と機能Ⅰ	水野	前期
血液検査学	水野	後期
医学総論Ⅰ	水野	秋学期
医学総論Ⅱ	水野	冬学期
生化検査学	勝田	夏学期
生化学	勝田	春学期
遺伝子・細胞工学	勝田	春学期
人体の構造と機能Ⅱ	勝田	前期
生物化学分析検査学特論	勝田	後期
臨床検査医学総論	勝田	冬学期
病因・生体防御検査学特論	勝田	秋学期
一般検査学Ⅱ	栗崎	秋学期
輸血・移植検査学Ⅰ	栗崎	前期
病原体学	栗崎	前期
病理学	立石	秋学期
病理検査学概論	立石	冬学期
臨床検査学特論Ⅱ	立石	冬学期
病原体学	相原	前期

## 7. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	水野	後期
臨地実習	勝田	前期
遺伝子検査学および実習	勝田	前期
遺伝子検査学実験	勝田	夏学期
臨床検査統計学および演習	勝田	後期
輸血・移植検査学Ⅱおよび実習	栗崎	後期
一般検査学実習	栗崎	冬学期
免疫検査学および実習	栗崎	前期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	立石	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	立石	前期
医療安全・バイオリスク管理学および実習	立石	後期
臨床微生物学および実習	相原	前期
輸血・移植検査学Ⅱおよび実習	安田	後期
医療安全・バイオリスク管理学および実習	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	安田	前期
検査基礎技術および実習	木村	前期
血液検査学実習	木村	後期
医療安全・バイオリスク管理学および実習	木村	後期

## 8. 卒業論文作成者

伊東 優里	生成 AI によるプログラミング初心者へのコード作成支援と医療分野での有用性の検討
荘司 駿太郎	生成 AI の能力を活用した医療データ解析と応用可能性の検証
今泉 萌々佳	胎児マウス膵組織片の ex vivo 培養
重廣 尚称	マウス胎児膵組織培養法の確立
横山 実穂	マウス胎児膵組織発生過程の免疫染色解析
森永 蘭加	<i>Candida albicans</i> の酵母から菌糸への誘導条件の検討
光畑 幸輝	B 細胞応答に関わる遺伝子の発現について
越智 心愛	DFS 染色における背景への共染の原因とその抑制に関する研究
瀬戸 幸子	九州大学の剖検ブロックを用いた腎アミロイドーシスの研究
吉田 まつり	薬剤耐性遺伝子 bla <sub>CTX-M-14</sub> を搭載する DNA 領域のコピー数増加が第 3 世代セフトロスポリン系抗菌薬への感受性に与える影響の解析
初山 知愛	抗菌薬曝露下の <i>Escherichia coli</i> で誘導される薬剤耐性遺伝子増幅の再検証
佐々木 菜央	胃癌細胞における IFN- $\gamma$ 存在下での遊走能の検討
青木 日香里	TGF- $\beta$ 1 環境下における胃癌細胞の核形態の変化

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	ゲノム編集技術の基礎研究	水野
2	血液疾患診断への遺伝子解析の応用	水野
3	腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発	水野
4	膵島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
5	九州大学病院検査データを用いた新たな糖尿病病態分類の確立	勝田
6	自己免疫調節遺伝子(AIRE)の機能解析	栗崎
7	剖検検体における全身性沈着症と癌の臨床病理学的研究	立石
8	残留性有機汚染物質と癌の関連性の研究	立石
9	細胞診検体を用いた免疫染色に関する研究	立石
10	臨床微生物学	相原
11	サイトカイン依存的変動を示す膜タンパク質に着目した転移メカニズムの解明	安田
12	AXL 活性の制御による骨髄異形成症候群の病態解明及び新たな治療戦略	木村

### 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」クローン造血(CH)環境の腫瘍発生・進展への機序および CH 環境の免疫学的制御, 水野(代表), 900 千円.
- 「基盤研究(C)」膵組織幹細胞のインスリン産生細胞への分化機構とその分化を支持する微小環境の解明, 勝田(代表), 2,080 千円. (追記)

- 「若手研究」サイトカイン依存性発現変動を示す Vasorin に着目した胃がん転移メカニズムの解明, 安田(代表), 1800 千円.
- 「若手研究」AXL 活性の制御による骨髄異形成症候群の病態解明及び新たな治療戦略, 木村(代表), 500 千円.

### 3. 学内研究経費の受入れ

- 「国際学術論文掲載料支援」Generation and maintenance of the circularized multimeric IS26-associated translocatable unit encoding multidrug resistance, 相原(代表), 689 千円.

### 4. 奨学寄付金の受入れ

- 「マイクロアレイと次世代シーケンサーを用いた新規遺伝子発現解析のための解析技術開発」株式会社セルイノベーター(Cell Innovator Inc.), 水野, 4000 千円.
- 「多剤高度耐性細菌の新たな治療戦略構築に資する研究」公益財団法人 武田科学振興財団, 相原, 2000 千円.
- 「エピソーム・ダイナミクスが導く細菌の薬剤耐性強化機構解明に向けた研究」公益財団法人 MSD 生命科学財団, 相原, 2000 千円.

### 5. その他の外部研究資金の受入れ なし

### 6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

### 7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌
  - Sugio T, Uchida N, Miyawaki K, Ohno Y, Eto T, Mori Y, Yoshimoto G, Kikushige Y, Kunisaki Y, Mizuno S, Nagafuji K, Iwasaki H, Kamimura T, Ogawa R, Miyamoto T, Taniguchi S, Akashi K, Kato K, Prognostic impact of HLA supertype mismatch in single-unit cord blood transplantation., *Bone Marrow Transplantation*, 2024 Jan 18; 59, 466-472.
  - Takahiro Shima, Mariko Minami, Taro Tochigi, Yu Kochi, Fumiaki Jinnouchi, Takuji Yamauchi, Yasuo Mori, Goichi Yoshimoto, Shinichi Mizuno, Toshihiro Miyamoto, Koji Kato, Koichi Akashi, Procalcitonin elevation in febrile recipients during pre-transplant conditioning with anti-thymocyte globulin, *Blood Cell Therapy*, 2024 Apr 26;7(2):49-55.
  - Izumi R, Hashimoto T, Kisanuki H, Ikuta K, Otsuru W, Asakawa S, Yamamoto S, Misumi K, Fujino T, Shinohara K, Matsushima S, Hosokawa K, Katsuki S, Mori T, Hashisako M, Tateishi Y, Iwasaki T, Oda Y, Kinugawa S, Abe K., Clinical and pathological characteristics of immune checkpoint inhibitor-related fulminant myocarditis., *CARDIOONCOLOGY*, 2024 Nov 21;10 (1) 82.

- Aihara M, Gotoh Y, Shirahama S, Matsushima Y, Uchiyumi T, Kang D, Hayashi T, Generation and maintenance of the circularized multimeric IS26-associated translocatable unit encoding multidrug resistance., *Communications biology*, 2024 May 18; 7, 597.
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス
  - Yoko Yasuda, Tomoaki Koga, Yuki Tateishi, Shinichi Mizuno, Mitsuyoshi Nakao: Vasorin/slit-like 2 protein is induced by transforming growth factor-beta 1 through TRPV4 signaling and accelerates cellular migration in gastric cancer cells: 13th American Association for Cancer Research - Japanese Cancer Association Joint Conference, Poster Session A, 2 Feb 2025, US
- 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- 調査研究報告 なし
- 国内学会での講演, 発表
  - 勝田 仁, 平田 明恵, 古橋 寛子, 徳永 章二, 佐藤 直市, 瀬戸山 大樹, 國崎 祐哉, 赤司 浩一, 中島 直樹: 2型糖尿病における、糖尿病腎症発症・進展に対する貧血の影響, 日本糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会, 2024年8月17日, 東京大学伊藤国際学術研究センター.
  - 田中 雄志, 川崎 啓祐, 立石 悠基, 谷口 義章, 長末 智寛, 田中 健太郎, 梅野 淳嗣, 堀岡 宏平, 河内 修司, 鳥巢 剛弘: 術前診断が困難であった粘膜下腫瘍様の形態を呈した進行胃癌の1例, 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2024年11月.
  - 宮崎 貴大, 尾辻 亮介, 藤岡 寛, 三月田 祐平, 後藤 克弘, 空閑 太亮, 立石 悠基, 吉本 幸司: 高齢者大脳半球に生じた H3K27M 変異を伴う高悪性度神経膠腫の一例, *Brain Tumor Pathology*, 2024年5月.
  - 長友 寿朗, 近藤 雅浩, 松野 雄一, 長末 智寛, 藤岡 審, 川崎 啓祐, 梅野 淳嗣, 森山 智彦, 谷口 義章, 梅北 慎也, 立石 悠基, 萱島 孝二, 鳥巢 剛弘, 北園 孝成: 術前診断にて粘膜内癌と診断しESDにて一括切除しえた全周性食道胃接合部癌の一例, 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2024年6月.
  - 太田 佳奈美, 松野 雄一, 宮園 智至, 谷口 義章, 立石 悠基, 島 隆宏, 藤本 崇聡, 吉原 崇正, 鳥巢 剛弘, 北園 孝成: 経口ダブルバルーン内視鏡検査で診断し得た単形性上皮向性腸管 T 細胞リンパ腫の1例, 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2024年6月.
  - 相原: 抗菌薬剤感受性評価の有効活用, 日本感染症学会 感染症ベーシック・スクール 2024 抗菌薬適正使用編 九州・沖縄地区, 2024年11月, Web.
  - 相原 正宗: 呼吸器感染症における多項目核酸検査の有用性と注意点, 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025年1月, 横浜市.

- 相原 正宗:挿入配列 IS26 が関与する薬剤耐性遺伝子増幅機構の解析, 第 36 回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 2025 年 1 月, 横浜市.
- 安田 洋子、古賀 友紹、木村 朋子、水野 晋一、中尾 光善: Vasorin/slit-like 2 induced by TGF- $\beta$  signaling accelerates cellular migration in gastric cancer cells, 第 47 回日本分子生物学会, 2024 年 11 月, 福岡市.
- 学会以外での講演, 発表
  - 相原 正宗: 遺伝子検査の定性と定量～基礎から応用まで～, 福岡県臨床衛生検査技師会 2024 年度福岡県染色体・遺伝子部門研修会, 2025 年 2 月, 福岡市.

## 著作

1. 単行本 なし
2. 総説 なし
3. 解説, 書評など
  - ・ 藤原 美奈子, 谷口 義章, 立石 悠基: 増大号 炎症性腸疾患 2024 主題 炎症性腸疾患の診断 炎症性腸疾患の病理診断 胃と腸 59 (10) 1379-1389 2024 年 10 月.

受賞 なし

報道 なし

## 4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張
  - 立石, モンゴル日本病院、モンゴル国立医科学大学 (Mongolia), 2024 年 9 月～2024 年 9 月
  - 安田, Karolinska Institutet (Sweden), 大学・研究所訪問・学生引率, 2024 年 09 月～2024 年 09 月
2. 外国人研究者の受入れ
  - 訪問教授・研究員 なし
  - 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし

#### 4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 水野, 細胞免疫治療委員会, 委員.
- 勝田, 医療系統合教育研究センター・副センター長.
- 勝田, 九州大学病院 糖尿病診療支援センター・副センター長.
- 勝田, 教育企画委員会・委員. (追記)
- 勝田, 学生支援委員会・委員. (追記)
- 勝田, 基幹教育実施会議・委員. (追記)
- 勝田, 学生相談室相談員・委員. (追記)
- 相原, 九州大学研究用微生物安全管理委員会委員.

### 2. 部局委員

- 水野, 細胞免疫治療委員会, 委員.
- 勝田, 医学図書館運営委員会・委員.
- 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.
- 勝田, 医系地区部局ヒト ES 細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.

### 3. 部門・コース内委員

- 水野, 地域国際連携推進 FD 委員会.
- 水野, 広報委員会.
- 水野, 施設環境委員会.
- 勝田, 財務委員会・委員.
- 勝田, 教務委員会・委員長.
- 勝田, 学生委員会・副委員長.
- 勝田, 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・副分野長.
- 栗崎, 広報委員会.
- 立石, 地域国際連携推進 FD 委員会.
- 立石, 卒業研究委員.
- 相原, 地域国際連携推進 FD 委員会.
- 相原, 卒業研究委員.
- 安田, 将来計画・年報委員会.
- 木村, 施設環境委員会.

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 水野, 久留米大学医学部血液・腫瘍内科, 客員教授.
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.
- 安田, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 安田, 博多メディカル専門学校, 非常勤講師.
- 木村, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.

### 2. 学協会

- 水野, 日本血液疾患免疫療法学会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液学会, 評議員, 国内.
- 勝田, 日本糖尿病学会, 学術評議員.
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 理事.
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 学会運営委員会・委員長.
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 評議員.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会・理事長.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 将来問題検討ワーキンググループ・委員.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 役員校任期等見直しワーキンググループ・委員.
- 立石, 日本病理学会, 評議員.
- 立石, 日本病理学会, その他 (病理専門医部会会報編集委員会 委員), 国内.
- 相原, 日本医療検査科学会, 微生物検査・感染症委員会, 委員, 国内.
- 相原, 日本臨床微生物学会, 血液培養検査ガイド第二版作業部会, 委員, 国内.

### 3. 官界 なし

### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

### 5. 公開講座・公開講演会

相原 正宗, 感染症検査の最新技術と知識, 第20回九州大学医学部保健学科公開講座, 九州大学医学部  
キャンパス

### 6. 初等中等教育への貢献 なし

#### 4. 教員組織および委員会一覧



## ◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

令和6年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教	その他
<b>看護学</b>					
<b>統合基礎看護学</b>	後藤 健一 藤田 君支 橋口 暢子		丸山 マサ美 能登 裕子 青本 さとみ 松尾 和枝	道面 千恵子 <small>令和7年3月31日退職</small> 吉田 恵美 木原 深雪 松本 美晴 田中 さとみ 竹下 里美 <small>令和6年4月1日採用、 令和7年3月31日退職</small> 久保 葵 <small>令和6年4月1日採用</small> 甲斐 梓 <small>令和6年4月1日採用</small> 明野由里奈 <small>令和6年4月1日採用</small> 成 儒彬 <small>令和6年4月1日採用</small>	
<b>広域生涯看護学</b>	鳩野 洋子 <small>令和7年3月31日退職</small> 諸隈 誠一 寺岡 佐和 疋田 直子	前野 有佳里 植木 慎悟	宮田 潤子 末次 美子 岩木 三保	藤田 貴子 佐藤 洋子 長友 恵莉 松藤 尋幹 杉浦 圭子 <small>令和7年2月28日退職</small> 遠越 麻未 <small>令和6年4月1日採用、 令和7年3月31日退職</small> 酒井 久美子 田代 恵理 <small>令和5年10月1日採用、 令和7年4月1日退職</small> 池田 すばる <small>令和5年10月1日採用</small>	
<b>医用量子線科学</b>					
<b>基礎放射線科学</b>	有村 秀孝 藤淵 俊王	納富 昭弘 荒川 弘之 <small>令和6年4月1日採用</small>		河窪 正照 Han Donghee 小島 宰 <small>令和6年4月1日採用</small>	
<b>医用放射線科学</b>	藪内 英剛 馬場 眞吾 近藤 雅敏	渥美 和重 井手口 忠光		田中 延和	
<b>検査技術科学</b>					
<b>生体情報学</b>	重藤 寛史 内海 健	外園 栄作	田代 洋行	塩津 弘倫 八木 美佳子 上田 沙央理 <small>令和6年4月1日採用</small>	
<b>病態情報学</b>	水野 晋一 勝田 仁		栗崎 宏憲 立石 悠基 相原 正宗	安田 洋子 木村 朋子	

《保健学部門》 令和6年度部内委員一覧

No.	委員会 合併委員会 委員長 副委員長	1 総務委員会 部門長 委員長指名 【放】有村	2 将来計画・点検・評価委員会 年報委員会 部門長 委員長指名 【放】有村	3 人事委員会 教員活動評価委員会 部門長 委員長指名 【放】有村	4 財務委員会 部門長 施設・環境委員会委員長 【検】水野	5 入学試験実施委員会 総務委員会 【放】馬場 【看】寺岡	6 学生委員会 総務委員会 【看】橋口 【検】勝田
看護学	分野長 藤田君	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R5.4~R7.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3	教授 (1) R5.4~R7.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3
医用量子線科学	分野長 有村	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R6.4~R8.3	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3	教授 (1) R6.4~R8.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3
検査技術科学	分野長 重藤	教授 (1) R5.4~R7.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3	教授 (1) R5.4~R7.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3	教授 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R5.4~R7.3	教授 (1) R5.4~R7.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3	教授 (1) R5.4~R7.3 助教以上 (1) R6.4~R8.3
職指定の委員	部門長 副部門長 各分野長	(各分野長) (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長	(各分野長)	(各分野長) (部内)施設・環境委員会委員長 (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 (部内)広報委員会委員長	(副部門長) (各分野長) (部内) 地域・国際連携推進委員会委員長	部門長 (各分野長)	部門長 (各分野長)

分野から選出する委員

《保健学部門》 令和6年度部内委員一覧

No.	7	8	9	10	11	12
委員会	大学院委員会					
合併委員会	放射線安全委員会					
委員長	総務委員会で検討、部門会議で選出 【検】勝田	前年度副委員長 【放】藤淵	KITE連絡員・支線LAN管理者 部門長指名 【検】水野	地域・国際連携推進委員会 FD実行委員会 前年度副委員長 【看】疋田	広報委員会 総務委員会で検討、部門会議で選出 【看】後藤	医学研究院長 赤司
副委員長	総務委員会で検討、部門会議で選出 【看】疋田	総務委員会で検討、部門会議で選出 【看】後藤	委員長指名 【放】藪内	総務委員会検討、部門会議選出 【放】近藤	委員会で選出 【検】水野	X線取扱主任者 納富(H26.4~)
看護学	教授(1) 疋田	R5.4~R7.3 後藤	R6.4~R8.3 橋口	教授または准教授(1) 疋田	教授または准教授(1) 後藤	
	講師以上(1) 岩木	R6.4~R8.3 鳩野	R6.4~R8.3 松本	助教または講師(准教授)(3) 吉田	R5.4~R7.3 道面	
医用量子線科学	教授(1) 近藤	R5.4~R7.3 藤淵	R6.4~R8.3 藪内	教授または准教授(1) 近藤	R5.4~R7.3 藤淵	R5.4~R7.3 納富
	講師以上(1) 荒川	R5.4~R7.3 馬場	R5.4~R7.3 河窪	助教または講師(2) 井手口 納富	R5.4~R7.3 田中	助教以上(4) R6.4~R8.3 藤淵、近藤、河窪
検査技術科学	教授(1) 勝田	R5.4~R7.3 内海	R5.4~R7.3 水野	教授または准教授(1) 水野	R5.4~R7.3 水野	
	講師以上(1) 外園	R5.4~R7.3 重藤	R6.4~R8.3 木村	助教または講師(2) 立石 相原	R5.4~R7.3 栗崎	
職指定の委員	<b>支線LAN管理者</b> 【保健学科本館】 (看護)佐藤助教 【基礎研究B棟】 (主)(放射)荒川准教授 (副)(検査)田代講師 【総合研究棟1-4F】 (検査)田代講師 <b>KITE連絡員</b> (看護)薬師寺助教、佐藤助教 (検査)田代講師 (放射)納富准教授					

分野から選出する委員

## 【令和6年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R6.4.1～)委員	次期委員	任期	始 期	終 期	次期始期	次期終期	委員資格・条件等	備 考
1	病院地区協議会	【職指定】部門長	諸隈教授 (部門長)		-	R6.4.1	R8.3.31			部門長	医学・歯学・薬学 研究院長、生体防 御医学研究所長、 病院長、保健学部 門長、医系学部等 事務部長、病院事 務部長、医療系統 合教育研究セン ター長及び(オブ ザパーとして)副 病院長(歯科部 門)
		【職指定】 医療系統合教育 研究センター長	(歯)	(保)		R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	医療系統合 教育研究セ ンター長	
1-1	九州大学病院地区学生感染対策 委員会		【検査】水野 教授		2 年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	九州大学病院 地区学生感染 対策委員会内 規第3条1項 「学部(学科)、 学府の学生の 教育または感 染対策に責任 を持つ組織に 所属する教員 のうちから選出 された者 1名」	
2	アイトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】馬場教授		2 年	R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	講師以上1名	医学研究院から5 名(内、保健学から 1名)
3	アイトープ総合センター 病院地区実験室放射線安全委員 会		【放射】納富准教授		2 年	R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	講師以上1名	
4	アイトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生 実習室放射線取扱副主任者		【放射】藤瀬 教授								R1センターから委 嘱依頼有 選出の必要なし
5	附属図書館医学図書館運営委員 会	部門内教務委員 会委員長、副委 員長	【検査】勝田教授		(2 年)	R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.3.31	教授2名	〔部門内〕図書委 員会は教務委員 会と統合 一教務委員会委 員長・副委員長が 兼ねる一実質的な 任期は1年
			【看護】疋田教授			R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.3.31		
6	医療系統合教育研究センター委員 会	部門内教務委員 長(実質的な任 期は1年)	(副センター長) 【検査】勝田教授		2 年	R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.4.1	保健学部門 教員から1名	※センター長は各 部局選出の副セン ター長4名から1名 が輪番で選出(原 則、副センター長 経験者から) ★センター長 R1-R2 薬 R3-R4 医 R5-R6 歯 R7-R8 保 ・副センター長 (医療系統合 教育研究セ ンター兼任教 員)
			【検査】内海教授			R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.4.1	保健学部門 教員から1名	
			【放射】近藤教授			R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	保健学部門 の教員から1 名	
6-1	医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会		【放射】高橋 准教授	(選出の必要があ れば、改めて依頼 がある予定)	-	-	-	-	-		H26.6～
7	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	諸隈教授 (部門長)		-	-	-			部門長	部局長・保健学 部門長・各倫理 審査委員会委員 長・人文・社会科 学の有識者・そ の他協議会が必 要と認めた者
8	医系地区部局観察研究倫理審査 委員会		【看護】寺岡教授		2 年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	保健学部門 講師以上	
8-1	医系地区部局観察研究倫理審 査委員会 書面審査員		【放射】渥美准教授		2 年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	保健学部門 講師以上	
9	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及 び使用に関する倫理審査委員会		【検査】勝田教授		2 年	R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	保健学部門 の教授1名 (医学に関す る専門家)	

## 【令和6年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R6.4.1～)委員	次期委員	任期	始 期	終 期	次期始期	次期終期	委員資格・条件等	備 考
10	九州大学大学院医学研究院等動物実験委員会		【検査】勝田教授		2年	R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	九州大学大学院医学研究院等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必要と認める者 若干人」	委嘱依頼あり 選出不要
11	安全・衛生委員会		【放射】河窪助教 【検査】上田助教		2年	R6.4.1 R6.4.1	R8.3.31 R8.3.31	R8.4.1 R8.4.1	R10.3.31 R10.3.31		職位の指定はなし 毎月1回開催
13	KITE連絡員 ※令和5年4月以降、施設・環境委員会にて決定する。		【看護】木村助教 藤井助教 【放射】納富准教授 【検査】田代講師		-	R4.4					施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定)
14	アジア・オセアニア研究教育機構 医療健康クラスター 遠隔医療モジュール	【職指定】部門長	諸隈教授 (部門長)			R6.4.1	R8.3.31				
15	医学研究院教員活動評価専門委員会	部門長 各分野長	部門長 各分野長		-	-	-			部門長 各分野長	申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
16	医学研究院情報公開・個人情報保護委員会				-	-	-			・医学研究院長 ・研究院長が指名する副研究院長 ・基礎系/臨床系の教授各2名 ・医学部事務長 ・委員会が必要と認めた者	
17	九州大学特定臨床研究監査委員会		【看護】諸隈教授		2年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	委員会規程第4条第1項第3号、その他委員会が必要と認めた者、として参画	前任者は樗木教授(～2020.3.31) 諸隈教授は2020.4.1～就任

# 【令和6年度全学委員会】

番号	委員会	職指定等	現(R6.4.1~)委員	次期委員	任期	始期	終期	次期始期	次期終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会 (オブザーバー)	【職指定】医学部門長または保健学部門長で、医学研究院長で無い方	諸隈教授 (学科長)		-	-	-	-	-	九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学部長の推薦に基づき総長が必要と認める者)	医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申合せ(H22.11.10教授会決定)
1-1	キャンパス計画及び施設管理委員会	【職指定】病院地区協議会議長	(病)	(病)							地区協議会議事長(医・歯・薬・病・生・保の輪番)
1-2	ハラスメント委員会		(医)		2年	R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	医、歯、薬、生医研及び病院の教授、准教授及び講師のうちから選ばれた者1人	
1-2-1	ハラスメント調査部会委員		(病)† (歯)		2年	R6.4.1	R8.3.31	R8.4.1	R10.3.31	医、歯、薬、生医研及び病院の教授、准教授及び講師のうちから選ばれた者2人(うち1人は女性)	
1-3	入学試験実施委員会	【職指定】部内入試実施委員会委員長	【放射】馬場教授		1年	R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.3.31	九州大学入学試験実施委員会等規程第3条第1項第9号(総長が必要と認めた者若干人)(任期1年)	〔部門内〕入学試験実施委員会委員長
1-4	教育企画委員会	【職指定】部内教務委員会委員長	【検査】勝田教授		(2年)	R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
1-4-1	教育における安全管理専門委員会		【看護】寺岡教授		2年	R5.6.1	R7.5.31	-	-		R5.3.14新設
1-5	学生支援委員会	【職指定】部内学生委員会委員長 【職指定】部内学生委員会副委員長	【看護】橋口教授 【検査】勝田教授		(2年)	R6.4.1 R6.4.1	R7.3.31 R7.3.31	R7.4.1 R7.4.1	R8.3.31 R8.3.31	学生支援委員会が必要と認めた者 若干人	〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
1-6	研究用微生物安全管理委員会		【検査】相原講師		2年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師のうちから選ばれた者 各1名	※医学とは別枠
1-7	放射線障害防止委員会		【放射】藤淵 教授		2年	R4.9.1	R6.8.31			その他委員会が必要と認める者	
1-7-1	放射線障害防止委員会オブザーバー		【放射】納富 准教授		-	H26.4.1~	-	-	-		放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
2	基幹教育実施会議	【職指定】部内教務委員会委員長	【検査】勝田教授		(2年)	R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
2-1	基幹教育科日実施班員 ※理系デザイン科日班 生物専門チーム				1年	R4.7.1	R5.6.30			各学部の教員のうちから実施会議が必要と認めた者 会議から指名あり(選出必要なし)	H26新設
3	大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設)	【職指定】部内大学院委員会委員長	【放射】藤淵教授		(2年)	R6.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R8.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
4	情報統括本部運営会議		(歯)	(薬)	2年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	馬出地区(医/歯/薬/病/生)に勤務する准教授以上1人	医・歯・薬・病・生の輪番
5	加速器・ビーム応用科学センター複担教員		【放射】納富 准教授		なし	H26.4.1~	-	-	-		
5-1	加速器・ビーム応用科学センターガンマ線照射施設運営委員会		(医)	(歯)	2年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	医学研究院、薬学研究院、総合理工学研究院及び比較社会文化研究院の専任の教授、准教授、講師のうちから選ばれた者 各1名 ※医学として ※R1.4.1~保から選出依頼(北園研究院長より)	
6	学生相談室相談員	【職指定】部内学生委員会委員長 【職指定】部内学生委員会副委員長	【看護】橋口教授 【検査】勝田教授		(2年)	R6.4.1 R6.4.1	R7.3.31 R7.3.31	R7.4.1 R7.4.1	R8.3.31 R8.3.31	学府・学部の教員(教授、准教授、講師)	〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
7	アイトープ統合安全管理センター委員会		【放射】納富 准教授 【放射】藤淵 教授		2年	R5.4.1	R7.3.31	R7.4.1	R9.3.31	別表2(2)センターの教授及び准教授	R1センター複担教員(放射線科学部)
8	支線LAN管理者 ※令和6年4月以降、施設・環境委員会において決定する。		保健学科本館 ⇒【看護】木村助教 藤井助教 基礎研究B棟 ⇒主【放射】荒川准教授 副【検査】田代講師		-					施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定)	133.5.216.0.24(保健学科本館)ならびに133.5.213.0.24(基礎研究B棟)の管理



令和6年度  
年 報

作 成 : 令和7年12月

発行者 : 保健学部門 令和7年度 年報委員会  
勝田 仁  
諸隈 誠一・藤田 君支・藤淵 俊王  
水野 晋一・末次 美子・井手口 忠光  
安田 洋子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門  
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1



